2026年度

シ　ラ　バ　ス

ぐんま未来大学短期大学部

アート・デザイン学科

講義コード	40010001
講義名	英会話
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0201
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高校で「英文法」、英会話学校で「英会話」の講師として、また実用英語検定面接委員 としての経験を活かし、実践的な英語教授法をもとに学生の英語能力の 向上を計っている。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	野中 博雄	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、英語コミュニケーション力の向上のため、大学生の生活に関連するトピックの英会話表現の習得を図る。英会話表現においては、単語レベルでは発音、アクセントの正確さが重要であり、文レベルではイントネーションやセンテンス・ストレス（文強勢）を正確に付けることが会話での重要な要素となるので、それらの観点からも学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーの１つである「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している」ことを目指し、状況による英会話表現の学習を通して、コミュニケーション力の向上と英語使用者の生活文化の理解を深める。

到達目標

"1. ＣＤやインターネットによる発音・ヒアリング練習に慣れる。
2. インターネットの辞書・翻訳機能を利用できるようにする。
3. Exerciseの解答や課題の作成はワードやエクセルで出来るようにする。
4. 英語を使って日常生活に関するコミュニケーションがストレスなくできるようになる。
5. 発音、アクセント、イントネーション、センテンス・ストレスなどの重要性を理解する。"

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	野中博雄	Orientation 1. 評価方法、授業の進め方等の説明。 2. 課題：英語に対する自己の印象、自己紹介、ある語の連想語などの質問に対する答えを作成す		予習90分：英語に対する自己の印象、自己紹介、ある語の連想語などの質問に対する答えを作成するための準備。

		る。		
第2回	野中博雄	Campus Life	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第3回	野中博雄	Weekends	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第4回	野中博雄	Japanese Culture	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第5回	野中博雄	Healthy Living	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第6回	野中博雄	Fashion	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第7回	野中博雄	Lifestyle	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。

第8回	野中博雄	Celebrations	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第9回	野中博雄	Travel	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第10回	野中博雄	Food	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第11回	野中博雄	The Environment	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第12回	野中博雄	Business	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第13回	野中博雄	"The Internet and Social Media"	Vocabulary, Reading, Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
			Vocabulary, Reading,	

第14回	野中博雄	Sports	Speaking 会話文はペアで練習する。課題： 毎回提出する。	予習90分：教科書該当範囲の単語、表現等を調べる。復習90分：既習内容の確認。
第15回	野中博雄	Review	Course Reviewing	復習270分：コース全体の既習内容の復習をするので、配布資料を確認し、まとめておくこと。

教科書

Diane H. Nagatomo, Chat and Share! Topic Starters for Today's Students (金星堂)

参考書

副教材: Internet Materials (毎回 英語の歌などの聞き取りをする)

成績評価の方法・基準

単位認定: 60点以上 筆記試験：50%、課題20%、授業参加度30%

課題等に対するフィードバックの方法

課題は次週に返却し、共通する間違い等について説明するので、以後間違いの無いようにすること。

履修のポイント

ペアワークでの課題や授業での積極性（授業参加度）が最終評価に影響するので積極的に授業に臨むことが必要。

オフィス・アワー

授業の前後の時間が可能。

科目区分

基礎科目

講義コード	40020001
講義名	文章と表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0101
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

実社会では1000字程度の文章を書く機会は多くある。この授業ではものごとをイメージし、具体例を交えて文字やイラストで表現するためのトレーニングを行う。文章を読み、また短めの文章を書くことから着手し、小論文へと進めていく。他の人の書いた文章を添削することを通じて、互いに切磋琢磨しながら文章力を向上させる活動も行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自らの考え、意見を伝えたり、反対に他人の意見や考えを聞くことは社会人として求められている能力のひとつである。社会に出たあとでも役立つ技術を身につける。以下、２項目の達成を目標とする。
１．文章の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解する。
２．分かりやすい表現方法、明瞭かつ論理的な文章を作成する力をつける。

到達目標

1)さまざまな文章表現の形式に触れ、自ら実践できるようになる。
2)自らの考えや意見を適切な文章で伝えられるようになる。
3)論理的文章を書く手順を身につけ、文章にできるようにする。
4)私信や実用文を書けるようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	オリエンテーション	文章を作成し、発表する。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第2回	橋爪博	「常体」と「敬体」との文体の特徴を理解し、書き分けられる方法を知る		復習180分 配布されたプリント等を用いて

	幸			復習する
第3回	橋爪博幸	「くだけた表現」と「ととのった表現」の特徴をつかみ、書き分ける技術について学ぶ		復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第4回	橋爪博幸	文章の内容を捉えて伝える(1)	箇条書きの文から長い文章を作成する	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第5回	橋爪博幸	文章の内容を捉えて伝える(2)	文章を箇条書きの形で要約する	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第6回	橋爪博幸	ことばや漢字によく見られる誤用に気づく。クリティカル・リーディングを学ぶ		復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第7回	橋爪博幸	紹介文を書く	主観・客観の表現に留意しつつ、紹介記事を書いてみる。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第8回	橋爪博幸	紹介文を書く 紹介記事を自身で添削し、評価する		復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第9回	橋爪博幸	アイデアをもとに、段落間のつながりを考慮して文章を書く方法を学ぶ	イメージや構想を文章化する道筋を理解し、目的に沿った文章を作成する	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第10回	橋爪博幸	伝わりやすい文章の工夫についてみていく	指示語や接続詞の役割を理解し、各自の文章表現で役立てる。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第11回	橋爪博幸	実社会の出来事や事件をテーマとした文章の書き方 （１）概略をつかむ		復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第12回	橋爪博幸	実社会の出来事や事件をテーマとした文章の書き方 （２）課題を発見し文章化する		復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第13回	橋爪博幸	エッセイや論文といった長文の種類を知る	身近な話題でエッセイを書いてみる	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第14回	橋爪博幸	雑誌や新聞記事を報告し、発表する	身近な話題で新聞に投稿する記事を書く	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する
第15回	橋爪博幸	授業のまとめとディスカッション	共通のテーマをもとに意見交換を行う。ディスカッションの結果を発表する。	復習180分 配布されたプリント等を用いて復習する

教科書
授業時にプリントを配布する。
参考書
石黒圭編著『日本語文章チェック事典』東京堂出版、2021年 ノートルダム清心女子大学人間生活学科編『よくわかる 大学生のための研究スキル』大学教育出版、2023年 銅直信子・坂東実子『大学生のための文章表現＆口頭発表練習帳 （改訂第２版）』国書刊行会、2021年
成績評価の方法・基準
○評価の方法 単位認定60点以上 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への取り組み（発言、討議への参加） 総合点の30 % 2 課題 総合点の70 %
課題等に対する フィードバックの方法
必要に応じて授業中に適宜、学生にフィードバックし、学生の理解が進むようにする。
履修のポイント
課題に対応できるようになるためにもいろいろな書籍に触れるようにする。
オフィス・アワー
水曜日の昼休みをオフィスアワーとします。９号館３階の第６研究室にきてください。
科目区分
基礎科目

講義コード	40030001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0102
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大澤　靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見ること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしないとにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。心理学は、そのような私たちの心のはたらきを明らかにすることを目的としているが、そのはたらきはさまざまである。本講義では、人の心の多様なはたらきについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。なお、人の心のはたらきについての基礎知識を習得し、人に対する理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、人間について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、多様な人間の特性のうち、心的特性も加味したデザイナーやアーティストとして活躍できるような基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．心理学で使われる専門用語（知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求など）の意味を理解する。
２．心理学における心の考え方・捉え方（理論）について理解する。
３．日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
４．人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
1	心理	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など）	予習90分：教科書第1章を読む。

第 回	学と環境	心理学の系譜を概観しながら、日常生活から社会の動きまでのトピックスをワークシートを使いながら理解を深める。	復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議について、教科書のワークをしながら知覚の不思議を体験する。（DVDの視聴あり）	予習90分：教科書pp.20-34を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。日常生活で我々が知らず知らず身に着けている行動の例について考える。（DVD視聴あり）	予習90分：教科書pp.34-43を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考についてのワークをしながら理解を深める。	予習90分：教科書pp.43-54を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	いくつかの心理検査を行い、自分自身についての理解を深めながら、パーソナリティについての理解を深める。	予習90分：教科書pp.56-70を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。発達を促進する遺伝的要因と環境要因について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.71-83を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。心理検査等により自分のアイデンティティについての理解を深めながら、青年期の発達課題について理解する。	予習90分：教科書pp.84-101を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第8回	社会心理学①	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.102-118を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第9回	社会心理学②	人を動かす心理学について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.119-135を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について、メンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp136-148を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	心の健康、適応についてメンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.149-158を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第12回	健康心理学②	ストレスについてメンバーの考えを聴きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.158-163を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第13回	健康心理学③	心の健康の維持のために自分のコミュニケーションのクセについて理解する。さらに、回復について取り上げるが、まず正常と異常の違いについて多面的に考える。 ※小論文試験	予習90分：教科書pp.164-171を読む。 小論文の設題について事前に構想を練っておくこと。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。

第14回	臨床心理学	心へのアプローチについて「無意識」「行動」「認知」「成長する力」に焦点を当てて理解する。	予習90分：14回目の授業資料を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	社会現象と心理学 確認テスト	社会・集団から知らず知らずのうちに影響を受けることを理解する。特に、コロナ禍における心理学から見た社会現象について考究する。	予習90分：教科書pp.172-182を読む。確認テストを行うのでこれまでの小テストの理解と暗記をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書
藤本忠明他　『ワークショップ心理学』　ナカニシヤ出版
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 ・確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40% ・小論文試験（13回目の授業で実施予定）　30% ・授業への積極性・態度30% で、総合的に評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
小論文は、返却するので学習の参考にすること。 小テストの答えは、授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習では、主に授業内容の復習として配布資料・ノートのまとめを勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
基礎科目

講義コード	40040001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0103
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	松原　直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

　社会保障費の増大と国民負担率の上昇、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。

　憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、私たちの生活を身近な問題からグローバルなテーマまで多角的に理解できるようにする。憲法に関わる社会におけるさまざまな現象を科学的に理解し、「人間の生活空間」についての多面的な理解を深め、そうした学修成果を社会で実践的に活用できるよう学修する。

到達目標

１．憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
２．憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
３．国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。		予習90分：シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウト第1回に記載してある内容を読んで、復習する。

第2回	日本国憲法の制定過程について、第二次大戦後からＧＨＱによる憲法案の提示、国会での審議等について、ＶＴＲに沿って学習する。		予習90分： ハンドアウト第2回を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第3回を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。平和主義に関する裁判についてのVTRを使って学習する。	憲法第9条が争点となった裁判についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分： ハンドアウト第4回を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	憲法が保障している法の下の平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。		予習90分： ハンドアウト第5回を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。		予習60分： ハンドアウト第6回を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。	表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。 中間確認テスト(40分間)を実施する。		予習90分： ハンドアウト第8回を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について		予習90分：ハンドアウト第9回を読む。

第9回	理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習し、特に死刑制度について、その現状とそれに対する議論を検討する。		復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第10回	社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」についての規定について学習した後、医療保健福祉行政にどのように関わっているかを中心に、その概要を学習する。また、「労働者に関わる人権」について学習し、理解する。		予習120分：ハンドアウト第10回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	前回に引き続き、「労働者の人権」について、学習して、理解する。また、「教育を受ける権利」について学習し、理解する。		予習120分：ハンドアウト第11回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第12回	国会のさまざまの権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」Ａ４用紙１枚以上を条件とする。		予習120分：ハンドアウト第12回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第13回	裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、ＶＴＲに沿って学習する。		予習60分： ハンドアウト第13回を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第14回	内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国務大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。次いで、憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。	裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	予習60分： ハンドアウト第14回を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
	地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手続、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考		予習90分：ハンドアウト第15回を読む。ハンドアウト8～14を確認する。

第15回	え方について理解する。これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。 最終確認テスト(記述式・40分間)を実施する。		復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書
無
参考書
『目で見る憲法』初宿正典・大沢秀介・他　編著（有斐閣） 『ポケット六法』山下友信・山口厚　編集代表　（有斐閣）
成績評価の方法・基準
平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［20%］、レポート［30%］、確認テスト［50%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。
課題等に対する フィードバックの方法
第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第9回以降の授業時に行う予定である。採点した答案は、第9回以降の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説をWeb上(「Teams」のフォルダー等)にPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室5に取りに来ること。
履修のポイント
教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。
オフィス・アワー
月・火・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室５
科目区分
基礎科目

講義コード	40050001
講義名	マーケティング
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0202
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校、高等学校　美術科の講師経験、および芸術関連任意団体代表の経験を活かし、アートマネジメント全般に対応できる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	奥西　麻由子	指定なし

授業の概要と教育目標

（授業概要）

授業ではアートマーケティングに関する、アートマネジメントの基礎を学んだ後、作品発表等実践の場において必要な知識を修得できるよう、今日の様々なアートの現場における実例を参照に学んでいきます。

アーティストやデザイナーとして活動することを想定し、自身で具体的な方法論を見出すことが出来るよう、授業内では、マインドマップ、レポートを作成し、自身の考えをプレゼンテーションしてもらいます。

この授業は講義形式で行いますが、ディスカッションやワークシート等の演習も含みます。

（教育目標）

実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得し、自身の考えをプレゼンテーションする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連では、「３．実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」という項目に関連しています。本講義を通して、芸術、文化と社会に関する多様な知識を修得していくことを目指します。

到達目標

１．芸術・文化関連の仕組みや制度についての基礎知識を修得できるようになる。

２.アートマーケティングに関する知識を深め、自身でその構想を練ることができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニング	予習・復習と そのために必要な時間

			の内容	
第1回	奥西麻由子	ガイダンス：オリエンテーション（授業の内容、進め方、成績評価等） 5年後の自身の活動を考えるマインドマップ作成を行います。		予習90分：シラバスをよく読んでおくこと。復習90分：授業概要の理解とマインドマップの作成
第2回	奥西麻由子	アーティスト、デザイナーになるには？：事例を参照に、ディスカッションやワークシートを用いて具体的に「なるには？」を検討します。	グループでのディスカッション	予習90分：授業概要を把握しておくこと、マインドマップの作成　復習90分：活躍するアーティスト、デザイナーについて調べる。
第3回	奥西麻由子	芸術文化関連の仕事とアートマーケティング：様々な芸術文化関連の職業を紹介すると共に、芸術作品やアーティスト、あるいはアートが持つ魅力を、戦略的な手法を用いてターゲット層に届け、共感や購買意欲を高める活動について考えます。	ディスカッション	予習90分：授業概要を把握しておくこと、活躍するアーティスト、デザイナーについて調べる。 復習90分：ワークシート
第4回	奥西麻由子	アートマネジメントの基礎知識①（文化政策）：文化庁の取り組みや地方自治体の取り組みを紹介し、今日の日本の文化政策について理解を深めます。		予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：ワークシート
第5回	奥西麻由子	アートマネジメントの基礎知識②（芸術文化関連の法と制度）：芸術文化関連の法や制度を紹介し、理解を深めます。		予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：ワークシート
第6回	奥西麻由子	アートマネジメントの基礎知識③（芸術文化の組織、団体、支援）：芸術文化関連の組織や団体、支援について紹介し、理解を深めます。		予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：ワークシート
第7回	奥西麻由子	アートマネジメントの基礎知識④（データから見る芸術文化）：芸術文化関連のデータついて紹介し、理解を深めます。取り上げたキーワードに関するレポートを作成します。	ディスカッション	予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：レポート作成
第8回	奥西麻由子	実践のための事例①公募展、コンペ：作品発表の1つの手法として公募展とコンペの概要を紹介し、その仕組みを学びます。		予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：公募展、コンペ調査
第9回	奥西麻由子	実践のための事例②グループ展、個展：作品発表の1つの手法として個展、グループ展の開催方法を紹介し、ギャラリー等の仕組みを学びます。		予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：展覧会来訪
第10回	奥西麻由子	実践のための事例③広報：作品発表のための広報に関する方法を紹介し、SNSやHP仕組み及びそのリスクについても学びます。		予習90分：配布資料をよく読んでおくこと。復習90分：活躍するアーティスト、デザイナーの広報媒体調査
第11回	奥西麻由子	実践のための事例④地域イベント：作品発表のための地域イベント、アートプロジェクト、アーティストインレジデンスについて紹介します。		予習90分：マインドマップの追加作成　復習90分：地域イベント調査、レポート作成
第12回	奥西	実践のための事例⑤資金：作品発表のための資		予習90分：マインドマップの追加作成　復

第　回	麻由子	金について学び、ケーススタディを行います。		習90分：ケーススタディのワークシート
第13回	奥西麻由子	アーティスト、デザイナーになるには？：これまで学んできたことを踏まえ、ディスカッションやマインドマップを用いて具体的に「なるには？」を更に検討します。プレゼンテーションの準備。		予習90分：マインドマップの追加作成　復習90分：プレゼンテーション作成
第14回	奥西麻由子	プレゼンテーション①：授業内で検討してきたことをまとめ、自身の活動の具体的イメージをパワーポイントを用いて発表します。		予習90分：プレゼンテーション作成　復習90分：プレゼンテーション作成
第15回	奥西麻由子	プレゼンテーション②、授業のまとめ：授業内で検討してきたことをまとめ、自身の活動の具体的イメージをパワーポイントを用いて発表します。		予習90分：プレゼンテーション作成　復習90分：授業のまとめ、マインドマップの完成

教科書
無。必要に応じて資料を配布する。
参考書
必要に応じて紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 レポート発表20%、レポート作成40%、ワークシート等の提出物30%、ディスカッション等の状況10%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で提出したワークシート等は、次週以降返却します。
履修のポイント
様々な芸術、文化関連の切り口を提示し、多様な手法が存在することを知ることで、自身がデザイナーやアーティストとしてどのように活動することが出来るか、構想すると共に、実践に繋げてください。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室で質問に応じます。
科目区分
基礎科目

講義コード	40060001
講義名	メディアと情報
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0104
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

コンピュータやインターネットの発展により、我々の生活は大きく様変わりし始めた。特にコミュニケーション方法や表現方法の進展は、我々人間の感覚にも大きな影響を与え、誰もが持っている「表現したい」という意識を大きく揺さぶり始めている。この講義では、コンピュータグラフィックスなどの情報処理技術、インターネットなどの通信技術の発展によってもたらされた人間の表現能力・コミュニケーション能力の拡大及び我々の生活やビジネスなどについて取り上げる。そして表現手段の基礎として、コンピュータグラフィックスを中心に様々なメディアを扱うための知識を修得し、自分自身の作品制作で選択・利用できるようになることを目標とする。また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業とアート・デザイン学科のDPとの関連は、「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」にある。我々の生活空間について、「環境」「コミュニケーション」をICT （情報通信技術）という側面から検討することで、多面的に理解する力を養い、専門科目での「対象の理解と多様な表現」を行うための基礎力となっている。

到達目標

・CGを始めとして、画像、映像など様々なメディアによるコミュニケーションや表現方法、システムについて理解し、説明できる
・ディジタルメディアが人間の生活に与える影響、芸術やデザインに与える影響を敏感に感じ取り、自身の作品制作における表現に利用できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	コミュニケーション、コミュニケーションデザイン		予習60分：シラバスの確認 復習120分：配布資料の復習とシステムの確認、授業の振り返り

第2回	視覚の現象性と視覚化表現		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第3回	形と色、色の知覚、色の表現		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第4回	タイポグラフィ、ピクトグラムとダイヤグラム		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第5回	知的財産権、セキュリティ	知的財産権に関する問題について話し合う	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第6回	ハードウェア 課題：PCについて		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第7回	ソフトウエア	グループディスカッション：魅力的なコンピュータについて話し合う	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第8回	アナログとディジタル、画像のディジタル化		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第9回	2次元グラフィックスの基礎		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第10回	写真撮影と2次元画像処理		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第11回	映像制作の流れと表現技術について		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第12回	CG作成、空間・位置の表現、立体の作成		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第13回	コンピュータアニメーション技法と映像表現技術		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第14回	3次元CGとコンピュータアニメーション（レンダリング、シェーディングなど）		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
	授業のまとめと確認の		予習90分：授業全体の疑問点整理

第15回	ための試験		復習90分：授業全体を通しての振り返り

教科書

「入門CGデザイン -CG制作の基礎- 改訂新版」（財団法人 画像情報教育振興協会）

参考書

「ディジタル映像表現」「ビジュアル情報処理」「入門マルチメディア」「実践マルチメディア」（財団法人 画像情報教育振興協会）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中に課す振り返り課題など40%、確認のための試験60%。

課題等に対するフィードバックの方法

毎回の授業を振り返りとして、重要ポイントをMoodleの掲示板に記載してもらい、フィードバックは全体へのコメントとしておこなう。
それ以外の課題も個別もしくは全体へのコメントととしておこなうので、参考にしてください。

履修のポイント

コンピュータやインターネットに興味を持ち、積極的に関わっていくことが必要です。なお、この科目は「教職科目」「商業施設士補」の科目であるため、履修には注意をすること。
日々の評価点を積み重ねて評価しますので、公欠を含め、欠席した場合は資料や課題の確認をしてください。

オフィス・アワー

火曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。

科目区分

基礎科目

講義コード	40070001
講義名	生活と環境
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0203
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪　博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

地球環境問題は多岐にわたると同時に、私たちのすぐ身近に存在している。大気や水質の変化、土壌の汚染と劣化、生態系の危機など、日々の新聞にいずれかの環境問題の記事が、かならずみられる。この講義では、私たちの生活のなかで生じている環境問題を、大気や水、土壌の汚染、私たちの社会がかかえる廃棄物・エネルギー問題、自然環境の変化など、個々の話題に着目して論じる。同時に、大気汚染、生態系の危機、エネルギー問題などについて、問題点を明確にし、解決策を探る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

今日、世界規模で生じている地球環境問題について興味を持ち、廃棄物の削減や省エネルギーを意識した行動ができるなど、社会に出たあとでも環境問題を考えた生き方ができる人材を育てる。アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、人間の生活空間について多面的に理解する能力を養う。

到達目標

今後、ますますクローズアップされてくる地球環境問題について、すこしでも地球環境の現状への興味をかきたて、社会に出たあとでも環境に配慮した生活ができるようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	環境問題と公害問題について違いを理解する。過去に起こった大気汚染による公害問題を知る。また、これに関連して、大気汚染についてどんな法律があるのかを見ていく。		復習としてテキストを見ておく（180分）。
第2回	橋爪博幸	廃棄物量の現状や循環型社会を目指す法整備が進められていることを知る。包装容器の再利用の道を探る。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んで

				おく。
第3回	橋爪博幸	地球規模で気候変動が生じていることや、CO_2が増加している事実をデータで知り、今後に予想される災害や海洋の変化などについて知る。	温暖化が加速する時代にあって、どのような対策が急務であるか、意見を出し合う。	予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第4回	橋爪博幸	生態系という概念を理解し、日本列島の自然環境の多様性に触れる。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第5回	橋爪博幸	中国から日本へ渡ってくるの大気汚染物質について知る。大気汚染の原因となる物質について理解する。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第6回	橋爪博幸	枯渇性エネルギー、再生可能エネルギーにはどのようなものがあるかを知る。電気やガス、ガソリンといったエネルギー源の消費推移等を知る。	大気汚染物質にはどのようなものがあるか意見を出し合い、まとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第7回	橋爪博幸	原子力発電のメリット、デメリットを知る。	原子力発電の活用をめぐって各自で考えをまとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第8回	橋爪博幸	ＷＷＦが発行するレポートに載る「エコロジカルフットプリントの世界地図」をもとに、これから社会をつくる私たちが、目指すべき人間社会はどのようなものであるかを考える。		予習の時間90分、復習90分。テキストを読んでおく。
第9回	橋爪博幸	地球上における淡水の割合を知り、淡水や海水がひどく汚染されている現実を知る。水質汚染を防ぐ方法について考える。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第10回	橋爪博幸	水処理の技術、CO_2回収の技術、発電や蓄電の技術がいま、どれくらい進んでいるかを見ていく。１００年後、地球環境が良好に保たれているかどうか、考える。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第11回	橋爪博幸	江戸時代と現代の暮らしを比較し、持続可能な社会を実現する政策を考える。	江戸時代の暮らしで見習うべき点をレポートにまとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第12回	橋爪博幸	環境問題に関する国際社会の動きを追う。「汚染者負担の原則」「拡大生産者責任」など、環境問題を自分のこととして考える取り組みに触れる。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第13回	橋爪博幸	土壌の汚染、乾燥化にともなう森林火災や陸上生態系の喪失など、さまざまな要因で変化する陸地の環境問題を扱う。		予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。
第14回	橋爪博幸	都市生活のリスクを考える。田舎といわれる地域に豊かな自然や住みやすい街があることを知る。	自分自身の将来設計で、田舎に住むことを想像しレポートにまとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。テキストを読んでおく。

第15回	橋爪博幸	現代のモノと情報があふれる人間社会が抱える環境問題をふり返り、人間らしく生きるために必要な事物は何であるかを考える。	ガラス素材の魅力について知る。商品等を包むパッケージについて、さまざまな機能、デザイン、素材について学ぶ。	これまで15回の講義を振り返り、大気汚染や気候変動など項目ごとにノートにまとめる（180分）。

教科書
鈴木孝弘『新しい環境科学』改訂２版（駿河台出版）
参考書
講義のなかで必要なときに紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定　60　点以上。　　課題の提出（20%）、期末試験（80%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
提出された課題は、こちらでチェックし、記述レポート等は添削し返却する。
履修のポイント
求められた配布プリントの提出や、レポート課題はかならず提出すること。環境問題に関するニュースや新聞記事等を読み理解しておく。配布プリントは記入漏れがないようにしておく。
オフィス・アワー
水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーとする。９号館３階の第６研究室に来ること。
科目区分
基礎科目

講義コード	40080001
講義名	健康とスポーツ
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0204
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	武井　英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

現代社会は科学技術の進歩発展に伴い人々の生活が変化し、生活水準の向上や自由時間の増大など便利で住みよい生活をもたらしているが、一方では運動不足やストレス過剰が問題視されている。このような中、心身の健康を自ら維持管理するために運動・スポーツを積極的に行うことは必要不可欠なことと考える。そこで本授業では健康とスポーツをテーマに多様なレクリエーション種目やメジャースポーツはもちろんマイナースポーツも数多く題材として取り上げる。その際、運動・スポーツの楽しさを理解しながら、基本スキルの習得、コミュニケーション、スポーツの爽快感、達成感等が図れるように授業を進めていく予定である。なお本科目は体力の維持増進と、将来にわたって健康的な生活を送ることのできる能力の育成を目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、運動・スポーツを幅広く行い、コミュニケーションや体力の維持増進を図ることで「コミュニケーションの側面から、人間の生活空間について多面的に理解することを」目指す。そして将来的な展望として、「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得」を目指す。

到達目標

１．自己の体力レベルや健康状態を把握することができる。
２．運動・スポーツの基礎知識、歴史と現状を理解し基本スキルを習得することができる。
３．スポーツの楽しさを理解し、自らコミュニケーションをとって活動することができる。
４．生涯にわたって運動・スポーツに取り組もうとする資質を身につけることができる。
５．得意・不得意にとらわれず、積極的に授業に取り組むことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		オリエンテーション		予習90分：シラバスを読む。摂食障害について調

第1回	武井英夫	（授業の概要、成績評価、諸注意など） 体育概論（ダイエットと健康）		べ疑問点を明らかにする。 復習90分：配布資料を見直し、重要事項を整理する。
第2回	武井英夫	バドミントン①（バドミントンの歴史、ルールの確認とシングルス）		予習90分：バドミントンの歴史とシングルスのルールを調べ疑問点明らかにする。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン②（基本スキルの習得とダブルスのゲーム）	ダブルスのゲームでは、自分の得意な打ち方や球種を確認し、組んでいるペアと戦術の意見を交換しながら積極的にスキルを身に付ける。	予習90分：ダブルスのルールについて調べ疑問点を明らかにする。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	ソフトバレーボール①（ソフトバレーボールの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習90分：ソフトバレーボールの歴史や特性を調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	ソフトバレーボール②（基本スキルの習得とルール把握、ゲーム）		予習90分：バレーボールの基本スキルとルールを調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	バレーボール（バレーボールの歴史、フォーメーションの理解、ゲーム）	各チームごとに意見を出し合い、チームの特色を出したポジションの決定や作戦を練ってゲームに取り組む	予習90分：バレーボールの歴史、フォーメーションについて調べ疑問点を明らかにする。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	フットサル①（フットサルの歴史とルール把握、簡易ゲーム）		予習90分：フットサルの歴史や特性を調べ、疑問点を明らかにする。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	フットサル②（基本スキルの習得とゲーム）	お互いの考えを深めるようにグループワークを行い、ポジションやフォーメーションを決め、戦術を立ててゲームに取り組む。	予習90分：フットサルの戦術について調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英夫	ドッジボール（ドッジボールの歴史と基本戦術の把握、ゲーム）		予習90分：ドッジボールの歴史と国際大会について調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英夫	ネットボール（ネットボールの歴史とルール把握、ゲーム）		予習90分：ネットボールの歴史と特性、海外で盛んに行われている国について調べる。 復習90分：配布資料を見直し、重要事項を整理する。

第11回	武井英夫	バスケットボール（バスケットボールの歴史、基本スキルの習得、ゲーム）		予習　分：バスケットボールの歴史、バイオレーションとパーソナル・ファウルについて調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第12回	武井英夫	アルティメット①（フライングディスクの歴史、基本スキルの習得、簡易ゲーム）		予習90分：フライングディスクの歴史と基本スキルについて調べる。 復習90分：配布資料を見直し、重要事項を整理する。
第13回	武井英夫	アルティメット②（アルティメットの歴史、基本戦術、ゲーム）		予習90分：アルティメットの歴史とルールについて調べる。 復習90分：配布資料を見直し、重要事項を整理する。
第14回	武井英夫	ネオホッケー①（ネオホッケーの歴史、基本スキルの習得、ルール理解、ゲーム）		予習90分：ネオホッケーの歴史とフィールドホッケーとアイスホッケーが盛んに行われている国を調べる。 復習90分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	ネオホッケー②（トーナメント戦）	チーム内でグループワークを行い、チームの個性にあった作戦を立ててからゲームに取り組み、プレー中は積極的・協力的にチームの一員として関わる。	予習90分：ネオホッケーのルールと基本スキルについて調べ、疑問点を明らかにする。 復習90分：本日行った運動について確認する。

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。スキル達成度20%、課題・レポート20%、授業への参加度60%を総合して評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがあるが原則として返却しない。全般的な講評と重要項目について解説を記述したプリントを配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

運動・スポーツの得意・不得意よりも、授業に対する積極的な取り組みや学ぶ姿勢を大きく評価します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ）を準備してください。また、ピアスや指輪などの相手を傷つける危険性のあるものは避けてください。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に体育館等で質問に応じます。

科目区分

基礎科目

講義コード	40090001
講義名	コンピュータ基礎演習I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0105
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪　博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

私たちの日常生活では、スマートフォンをはじめとするさまざまな情報操作機器に触れる機会が多い。そのなかでもコンピュータは情報検索や文書作成、データ管理など多岐にわたる機能が備わっている。このコンピュータ基礎演習I（演習科目）では、「ワード」のソフトを使い、文書作成の基礎操作を中心に演習形式で操作を身につける。また「パワーポイント」ソフトをつかって、口頭発表データを作成したり、インターネット機能を活用して情報検索をおこなう。アート・デザイン学科の教育目標にある「創意溢れる表現力」を育成する。本講座は商業施設士（補）資格の指定科目となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

コンピュータ基礎演習の授業を通して、コンピュータ操作の基本ソフトを使いこなせるようにする。ワードや、パワーポイントなどのソフトを使い、データ作成、基礎的な表計算処理等ができるようにする。

到達目標

ワードとパワーポイントの基礎的な操作方法を、実際の社会の現場で発揮できるレベルまで引き上げる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	コンピュータの基本構成について学ぶ。ワードソフトで図形作成の方法を学ぶ。	ワードソフトで各自データを作成する。	復習の時間180分。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第2回	橋爪博幸	ワードソフトで使われる編集記号について理解する。また、記号の入力方法を学ぶ。	実技として、簡単な文章入力にチャレン	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使

			ジする。	い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第3回	橋爪博幸	ワードソフトでは段落設定の理解がひとつのポイントである。字下げ、ぶら下げの意味を知る。またインデントと行間幅について理解する。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第4回	橋爪博幸	テキストにある「例題１『タベルベカード』の御案内」文書を作成する。	各自でデータ入力を行い文書を完成させる。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第5回	橋爪博幸	表作成の方法、表作成で罫線の太さや色を変えるやり方を学ぶ。テキストにある「大地の農業体験研修」の文書をＡ４用紙一枚で作成する。	自分自身の趣味や特技についてパワーポイントデータにまとめる。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、データ作成課題を仕上げる。
第6回	橋爪博幸	ワードアートや写真その他のコンテンツの入れ込み方法を学ぶ。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、データ作成課題を仕上げる。
第7回	橋爪博幸	会社にあてて履歴書などを出すときに添付するかがみ文書を作成する。文書の書式、敬語表現を確認する。インターネットに接続して、地図や電車の時刻表などを調べる。自分にとって必要な情報を見極める方法を学ぶ。	Ａ４用紙一枚で、見栄えの良い履歴書送付のかがみ文書などを作成する。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、データ作成課題を仕上げる。
第8回	橋爪博幸	ワードの実技問題（Ａ４文書１枚作成）にチャレンジする。	ワードソフトを使った実技問題にチャレンジする。（１回目）	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第9回	橋爪博幸	文書印刷の方法を学ぶ。用紙を無駄にしないなど、印刷する際の注意点を押さえる。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第10回	橋爪博幸	パワーポイントの基本操作を知る。パワーポイントをつかった授業１回目。	パワーポイントで口頭発表用のデータを作成する。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第11回	橋爪博幸	パワーポイントを使い、各自で発表資料を作成する。パワーポイントを使った授業２回目。	パワーポイントで口頭発表用のデータを作成する。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成

				課題を仕上げる。
第12回	橋爪博幸	パワーポイントを使い、各自で発表資料を作成する。パワーポイントを使った授業３回目。	パワーポイントで口頭発表用のデータを印刷して提出する。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第13回	橋爪博幸	実技問題を完成させ、印刷して提出する。	ワードソフトを使った実技問題にチャレンジする。（２回目）	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第14回	橋爪博幸	実技試験としてワードデータ作成問題にチャレンジする。ワードソフトを使い、実技試験課題を仕上げ印刷して提出する。	ワードソフトを使った実技問題にチャレンジする。（３回目）	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキストを見ておく。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。
第15回	橋爪博幸	ワードソフト、パワーポイントの使い方を総復習する。ワードを使い、同じ文書の一部だけを、差し替えて印刷する方法を学ぶ。	ワードソフトの知識問題にチャレンジする。	復習の時間180分。習った技術を使い、復習はデータ作成課題を仕上げる。

教科書
配布プリントを使う。
参考書
30時間でマスター　Word2021　実教出版編集部など。
成績評価の方法・基準
単位認定　60　点以上　　提出された課題（50%）、実技問題の試験（30%）と知識問題の試験（20%）をもとに評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
配布プリントや、作成データを印刷し提出する。こちらで確認後、返却し授業内で課題への回答について解説する。記入漏れ、データ作成の不備があるときは再提出をもとめる。
履修のポイント
提出を求められた課題は、かならず提出すること。
オフィス・アワー
水曜日の昼休みをオフィス・アワーとする。９号館３階の第６研究室に来ること。
科目区分
専門科目

講義コード	40100001
講義名	コンピュータ基礎演習II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC0205
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅にかわりました。現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になってきました。ここでは、Excel表計算処理をできるよう、知識と実技問題を通じて学ぶ実習を行う。
この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。表計算ソフト（Excel)に関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーを向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、表計算ソフトに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

アプリケーションソフト（Excel)の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
①データを入力し、計算機能を使える能力
②表やグラフを作成できる能力
③データ分析ができる能力

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Excelの基礎知識		予習90分：教科書1章、2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
	合計と平均の計算（SUM・AVERAGE関数）		予習90分：教科書3章を読む。

第2回	最大・最小（MAX・MIN関数）		復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第3回	データのカウント（COUNT・COUNTA関数） データの四捨五入・切り上げ・切捨て（ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数）		予習90分：教科書4章(例題8以外）を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	棒グラフ、積上げグラフ、折れ線グラフ、円グラフ		予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	3Dグラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ		予習90分：教科書6章(p.124-136)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	レーダーチャートグラフ、XYグラフ、絵グラフ		予習90分：教科書6章(p.138-144)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	条件の判定（IF関数）とネスト		予習90分：教科書4章、例題８（p.94-96)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	データの並べ替え、検索と置換、抽出		予習90分：教科書7章、(p.146-168)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	条件の書き方、データの集計		予習90分：教科書7章、(p.169-179)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	データベース関数		予習90分：教科書8章、(p.202-210)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	関数（RANK,LARGE,SMALL,VLOOKUP,HLOOKUP)		予習90分：教科書8章、(p.180-185)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認

			する。
第12回	①インフォグラフィックとは ② 関心のあるテーマを考えて、オープン・データを用いて、EXCELでインフォグラフィックを作成。	アクティーブラーニング：「Think」考え・「Search」検索・「Do」作成・実行）	予習90分：インフォグラフィックについてインターネットで調べる。
第13回	Excelを用いて、インフォグラフィックの作成		予習90分：収集したデータを分析し、ストーリーを考える
第14回	1 回目～11 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（実技テスト）を実施する。		予習90分：教科書3-8章を見直す。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第15回	プレゼンテーション(予定) （作成したインフォグラフィックを紹介・説明する）		予習90分：第13回の授業で学習した内容を再確認する。

教科書

30時間でマスター Excel2021（Windows11対応） 実教出版 ISBN:978-4-407-35940-4
実教出版編集部

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 10%, 実技試験 50%（必修）, 応用課題 40% （必修）で評価する。

*定期試験は実施しない。 再試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「コンピュータ基礎演習1」を履修済みであることが望ましい。
③配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
④欠席した場合、授業内容、課題等の確認をすること。
⑤他学生の課題をコピーし、提出した場合、不正行為になり、注意すること。

オフィス・アワー

オフィスアワー：オフィスアワーの詳細については、第1回目の授業時に改めてご案内いたします。
場所：9号館3階 第12研究室（情報環境研究室）
連絡方法：Microsoft Teams

科目区分

基礎科目

講義コード	40110001
講義名	データサイエンス
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR0201
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	マチャコン　ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、現代社会におけるデータサイエンスとAIの役割を理解し、基本的なデータ分析の手法やAI技術の活用について学ぶ。生成AIを含む最新の技術が社会に与える影響を考察し、データの可視化や分析を通じて情報デザインの視点を養う。また、オープンデータやテキストマイニングの基礎を学び、実際にデータを扱う体験を通じて、データサイエンスの実践的なスキルを身につける。

教育目標
1.データサイエンスの基礎知識を習得する
2. AI技術の社会的意義と限界を理解する
3.データの情報デザインと視覚化のスキルを身につける
4.社会におけるデータ活用の実例を学び、応用力を高める

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のDP（「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。）との関連として、本授業では、AIとデータサイエンスの基礎知識を習得し、情報の収集・分析・活用を通じて、アートやデザインの分野に貢献できる力を養う。これにより、創造的な表現や課題解決の可能性を広げ、社会におけるアートとデザインの発展に寄与することを目指す。

到達目標

①データサインス・AIとはなにかを説明できる
②データサインス・AIの基本的な用語について説明できる
③統計手法の基本を習得する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	クラスガイダンス、社会で起きている変化 生成AIと社会		予習90分：教科書1,2章を読む。 復習90分：教科書1,2章を見直す。
第2回	データの情報デザイン 社会で活用されているデータ		予習90分：教科書3,4章を読む。 復習110分：教科書3,4章を見直す。
第3回	データの分析の基礎		予習90分：教科書5章を読む。 復習110分：教科書5章を見直す。
第4回	データを比較する データ間の関係を分析する		予習90分：教科書6,7章を読む。 復習110分：教科書6,7章を見直す。
第5回	オープンデータとは何か テキストマイニングとは		予習90分：配布資料、教科書９章を読む。 復習110分：配布資料、教科書９章を読む。
第6回	AIのできること、できないこと AI・データサイエンスの社会利用		予習90分：教科書10,11章を読む。 復習110分：教科書10,11章を見直す。
第7回	視覚的解釈課題作成１	データサイエンスをテーマにしたオリジナルのアート作品を制作する。	予習90分：Society 5.0の内容を復習し、「Society 5.0とは何か」というコンセプトを立案し、作品の草案（スケッチ）を作成する。
第8回	視覚的解釈課題作成２	データサイエンスをテーマにしたオリジナルのアート作品を制作する。	予習90分：第7回で作成した作品を振り返り、必要に応じて修正・ブラッシュアップを行う。

教科書

データサイエンスリテラシー
浅井 宗海(ほか) (著)
近代科学社
ISBN-13 ： 978-4764907089

参考書

適宜紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：
課題・クイズ (50%)、最終課題(50%) で評価する。
定期試験は実施しない。*再試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法
課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 または、Moodleで課題・クイズを解いて、回答を確認する。
履修のポイント
①授業への積極な取り組みを期待する。 ②上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。 ③欠席した場合、授業内容、課題等の確認をすること。 ④Moodleで課題提出・クイズ受験期間の延長はない。
オフィス・アワー
オフィスアワー：オフィスアワーの詳細については、第1回目の授業時に改めてご案内いたします。 場所：9号館3階 第12研究室（情報環境研究室） 連絡方法：Microsoft Teams
科目区分
基礎科目

講義コード	40120001
講義名	デザイン基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3101
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点，線，面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、2種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

学生は、構成力、色彩感覚、イメージの表現力を習得することができる 。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。エスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導		予習25分：必要な画材・素材の準備
第2回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。エスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する

第3回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第4回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第5回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第6回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第7回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第8回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第9回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 講評会、課題提出	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第10回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 講評会、課題提出	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第11回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。演習準備（サンプル採取、色、画材、水張りと平塗りの説明）、制作、個別指導		予習25分：必要な画材・素材の準備
第12回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。演習準備（サンプル採取、色、画材、水張りと平塗りの説明）、制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
	大			復習25分：授

第13回	日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第14回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第15回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第16回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第17回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第18回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第19回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		予習25分：必要な画材・素材の準備
第20回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第21回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第22回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第23回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する

第24回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第25回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第26回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第27回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第28回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第29回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 講評会、課題提出	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第30回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 講評会、課題提出	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する

教科書

無

参考書

白尾隆太郎監修『graphic elements グラフィックデザインの基礎課題』武蔵野美術大学出版局
白尾隆太郎『構成―高橋正人の残した造形教育』武蔵野美術大学出版局
パウル・クレー著，土方定一・菊森英夫・坂崎乙郎訳『造形思考（上・下）』筑摩書房
ヴァシリー・カンディンスキー著，宮島久雄訳『点と線から面へ』筑摩書房
ブルーノ・ムナーリ著，須賀敦子訳『木をかこう』至光社
色彩文化研究会著，城一夫監修『配色の教科書』パイ インターナショナル
三井秀樹『美の構成学』中央公論新社

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 平面構成30% 色彩構成70%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

個別指導や講評会での意見・感想をフィードバックとして、授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
学生は、主体的に制作をおこない、構成力や発想力を高めることができる。
オフィス・アワー
火曜日 12:45-13:30 123研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40120002
講義名	デザイン基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3101
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点，線，面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

学生は、構成力とイメージの表現力を習得することができる 。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。エスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導		予習25分：必要な画材・素材の準備
第2回	大日向基子	前提講義 課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。エスキース等を含む演		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する

		習の準備、制作、個別指導		
第3回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第4回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第5回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第6回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第7回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第8回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 点・線・面のみを用いて、テーマに沿った心地よいかたちを作り出す。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第9回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 講評会、課題提出	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第10回	大日向基子	課題1 「平面構成」※鉛筆使用 講評会、課題提出	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第11回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。演習準備（サンプル採取、色、画材、水張りと平塗りの説明）、制作、個別指導		予習25分：必要な画材・素材の準備
第12回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。演習準備（サンプル採取、色、画材、水張りと平塗りの説明）、制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する

第13回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第14回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第15回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第16回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第17回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第18回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第19回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		予習25分：必要な画材・素材の準備
第20回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第21回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第22回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第23回	大日向基	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証

	子			する
第24回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第25回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第26回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第27回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第28回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 身近な色の再現と色彩構成。制作、個別指導		復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第29回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 講評会、課題提出	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第30回	大日向基子	課題2「色彩構成」※アクリルガッシュ使用 講評会、課題提出	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。意見交換を通して、作品に対する客観的な視点や、言語化する能力を養う。	復習25分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第31回				

教科書

無

参考書

白尾隆太郎監修『graphic elements グラフィックデザインの基礎課題』武蔵野美術大学出版局
白尾隆太郎『構成—高橋正人の残した造形教育』武蔵野美術大学出版局
パウル・クレー著，土方定一・菊森英夫・坂崎乙郎訳『造形思考（上・下）』筑摩書房
ヴァシリー・カンディンスキー著，宮島久雄訳『点と線から面へ』筑摩書房
ブルーノ・ムナーリ著，須賀敦子訳『木をかこう』至光社
色彩文化研究会著，城一夫監修『配色の教科書』パイ インターナショナル
三井秀樹『美の構成学』中央公論新社

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 平面構成30% 色彩構成70%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法
個別指導や講評会での意見・感想をフィードバックとして、授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
学生は、主体的に制作をおこない、構成力や発想力を高めることができる。
オフィス・アワー
火曜日 12:45-13:30 123研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40130001
講義名	絵画基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3102
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、人物画・静物画・風景画の制作を通して、絵画表現の基礎を学習する。静物画では、器物やレンガ、植物、果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着彩する「鉛筆淡彩」の技法を習得する。また、人物クロッキーや風景画の制作では、人体の捉え方や遠近法を学び、表現力の向上を図る。
これらの学習を通して、描くための基礎的な力を身につけ、将来のデザイナーやアーティストに求められる表現力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーに示されるように、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するためには、絵を描く基礎を学習することが不可欠である。描く力の基礎を身につけることは、作品制作や創作活動の根幹を支える重要な要素である。また、本授業は教職課程の必修科目でもあり、絵を描く学習を通して、心豊かな人間を育てる資質の形成を目指す。

到達目標

○対象を正確に捉えるために、形・比率・明暗・質感などを丁寧に観察し、描写に反映できるようになる。
○鉛筆によるデッサン、鉛筆淡彩、アクリル系水彩による着彩など、絵画表現の基礎となる技法を適切に使い分けられるようになる。
○人物・静物・風景といった異なるモチーフに取り組み、それぞれの特徴に応じた表現方法を選択しながら制作できるようになる。
○遠近法や構図の考え方を理解し、画面全体の空間を意識した表現ができるようになる。
○制作や講評を通して、自分の表現を見つめ直し、他者の視点も取り入れながら、豊かな感性と創造的な姿勢を育てることができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	柳	人物の動きやプロポー		予習45分：クロッキー帳などに身近

第1回	澤顕	ションを短時間で把握し、素早く描写する。		なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	柳澤顕	物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写する。	描写した作品をディスカッション、意見交換する。	復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第3回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・B3パネルに水張りを行う。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第4回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第5回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第7回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習 45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習 45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第9回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着彩する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着彩する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第11回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着彩する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	柳澤顕	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着彩する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。

第13回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・クロッキー帳にエスキース、構図を決める。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第14回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・B3ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第15回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第17回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・アクリル絵具で着彩する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・アクリル絵具で着彩する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第19回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・アクリル絵具で着彩する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	柳澤顕	遠近法を理解するための風景画制作 ・アクリル絵具で着彩する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第21回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B3パネル水張りを行う。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第23回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第25回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする
第26回	柳澤	植物や果物などをモチーフにした静物画制作		復習45分 : 指導を参考に素描の練習

	顕	・鉛筆で描写する。		をする。
第27回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作・アクリル絵具で着彩する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第28回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作・アクリル絵具で着彩する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第29回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作・アクリル絵具で着彩する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	柳澤顕	植物や果物などをモチーフにした静物画制作・アクリル絵具で着彩する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
課題80%、授業への参加度20%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

実技授業で制作された作品については、講評会を行い、ディスカッションや意見交換を通してフィードバックを行った後、作品を返却する。講評では、構図・描写・色彩・観察力などの観点から改善点や優れた点を具体的に示し、次の制作に活かせるよう助言する。

履修のポイント

絵を描く基礎力を身につけるためには、日頃から対象をよく観察し、授業で学んだ内容を繰り返し実践する姿勢が重要である。静物・人物・風景といった多様なモチーフに取り組む際には、それぞれの特徴を理解し、自分なりに工夫しながら制作に向き合うことが求められる。また、講評会での意見交換を通して他者の視点を学び、自身の表現に活かしていく姿勢を持つことが望まれる。

オフィス・アワー

金曜日１２時３０分～１３時２０分 １１１研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40130002
講義名	絵画基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3102
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、風景画および静物画の制作を通して、絵画表現の基礎を習得する。風景画の制作では、観察に基づいて描く表現の基礎として、構図、形の理解、遠近法、光と影、色彩などを実践的に学び、絵画表現の基本的な考え方と技術を身につける。また、静物画の制作では、器物やレンガ、植物、果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で淡く着色する「鉛筆淡彩」の技法を学ぶとともに、素材の特徴を的確に捉える力を養う。これらの学習を通して、描写に必要な基礎的な造形力と観察力を身につけ、将来のデザイナーやアーティストに求められる表現力の育成を本授業の教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーに示されるように、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するためには、絵を描く基礎を学習することが不可欠である。描く力の基礎を見につけることは、作品制作や創作活動の根幹を支える重要な要素である。また、本授業は教職課程の必修科目でもあり、絵を描く学習を通して、心豊かな人間を育てる資質の形成を目指す。

到達目標

優れたデザイナーやアーティストとして活躍するために必要な、描くことの基礎的な力を身につけるとともに、表現活動を通して心を豊かに育てることができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐野広章	観察して描く作品の基礎を学ぶ（構図、形の理解、遠近法、光と影、色彩）		予習45分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	佐野	屋外スケッチ ・B3パネル水張りを行	描写した作品をディスカッション、意見	復習45分：指導を参考に素描の練

	広章	う。	交換する。	習をする。
第3回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・クロッキー帳にエスキース、構図を決める。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第4回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・B3ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第5回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第7回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・アクリル絵具または水彩絵具で着色する。		予習 45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・アクリル絵具または水彩絵具で着色する。		復習 45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第9回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・アクリル絵具または水彩絵具で着色する。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	佐野広章	遠近法を理解するための屋外風景画制作 ・アクリル絵具または水彩絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第11回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・B3パネルに水張りを行う。		予習45分 : クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
第13回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分 : 身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第14回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分 : 指導を参考に素描の練習をする。
	佐			

第15回	野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第17回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	佐野広章	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B3パネル水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする
第26回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。

第28回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	佐野広章	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
課題80%、授業への参加度20%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

実技授業で制作された作品については、講評会を行い、ディスカッションや意見交換を行った後、作品を返却する。

履修のポイント

絵を描く基礎力を身につけるためには、日頃から対象をよく鑑賞し、授業で学んだ内容を繰り返し実践する姿勢が重要となる。静物・人物・風景といった多様なモチーフに取り組む際には、それぞれの特徴を理解し、自分なりに工夫しながら制作に向き合うことが求められる。また、講評会での意見交換を通して他者の視点を学び、自身の表現に活かしていく姿勢を持つことが望まれる。

オフィス・アワー

金曜日１２時３０分～１３時２０分 121研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40140001
講義名	工芸基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3103
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での工芸素材に関わる調査の実務経験を生かして，ものづくりに対する学生の豊かな発想力と表現力を育てる
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村　サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は，「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である．生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない，素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する．制作過程では，生活空間で使用する箸やカラトリーを題材に，機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり，理想とする造形を想像して，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養なう．作品の考察と教員の講評からは，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解，対象の理解のために，生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている．また，ディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，本講座では，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う．および，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ，変化に対応できる知識・技術の修得のために，本講座では，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す．

到達目標

学生が電動鋸や卓上ボール盤などの機械、彫刻刀や小刀などの道具を目的に応じて使い分けることができる
また、自身の作品に対し設定したテーマや使用した素材、技法について説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
				予習：45分

第1回	寺村サチコ	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）		授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	寺村サチコ	箸の制作 （デザイン作成、制作プランを立てる）		上記参照
第3回	寺村サチコ	箸の制作 （糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	寺村サチコ	箸の制作 （削り出し）		上記参照
第5回	寺村サチコ	箸の制作 （削り出し）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	寺村サチコ	箸の制作 （研磨、塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	寺村サチコ	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	箸の制作　講評会	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう

第10回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作　ガイダンス、デザイン作成		上記参照
第11回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作（デザイン作成）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	寺村サチコ	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作（デザイン作成、削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	寺村サチコ	研磨		上記参照
第15回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作（削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	寺村サチコ	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
	寺			予習：45分 授業で講義するセクションの予習を

第19回	村 サチコ	同上		おこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第21回	寺村 サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第23回	寺村 サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第25回	寺村 サチコ	カトラリー／プレートの制作（研磨）		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第27回	寺村 サチコ	カトラリー／プレートの制作（塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
	寺			

第28回	村 サチコ	同上		上記参照
第29回	寺 村 サチコ	カトラリー／プレートの制作　講評会、作品撮影	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	寺 村 サチコ		同上	上記参照

教科書
無、適宜プリントを配布する
参考書
無
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 １．学習態度・授業への参加度 ３０％ ２．作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／７０％ ※課題提出が評価対象 上記１および２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する ※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする．講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする.
履修のポイント
欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする. ※材料費が￥1,500程度かかります
オフィス・アワー
寺村：月・火・水・木　9：00-17：30（112研究室）
科目区分
専門科目

講義コード	40140002
講義名	工芸基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3103
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での工芸素材に関わる調査の実務経験を生かして，ものづくりに対する学生の豊かな発想力と表現力を育てる
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村　サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は，「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である．生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない，素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する．制作過程では，生活空間で使用する箸やカラトリーを題材に，機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり，理想とする造形を想像して，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養なう．作品の考察と教員の講評からは，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る．

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では，アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解，対象の理解のために，生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている．また，ディプロマポリシー；表現するための知識や技能，および選択した専門分野の知識や技能を修得のために，本講座では，素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う．および，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ，変化に対応できる知識・技術の修得のために，本講座では，今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す．

到達目標

学生が電動鋸や卓上ボール盤などの機械、彫刻刀や小刀などの道具を目的に応じて使い分けることができる
また、自身の作品に対し設定したテーマや使用した素材、技法について説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
				予習：45分

第1回	寺村サチコ	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）		授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	寺村サチコ	箸の制作 （デザイン作成、制作プランを立てる）		上記参照
第3回	寺村サチコ	箸の制作 （糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	寺村サチコ	箸の制作 （削り出し）		上記参照
第5回	寺村サチコ	箸の制作 （削り出し）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	寺村サチコ	箸の制作 （研磨、塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	寺村サチコ	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	箸の制作　講評会	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう

第10回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作　ガイダンス、デザイン作成		上記参照
第11回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作（デザイン作成）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	寺村サチコ	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作（デザイン作成、削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	寺村サチコ	研磨		上記参照
第15回	寺村サチコ	カトラリー／プレートの制作（削り）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	寺村サチコ	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
	寺			予習：45分 授業で講義するセクションの予習を

第19回	村 サチコ	同上		おこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第21回	寺村 サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第23回	寺村 サチコ	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第25回	寺村 サチコ	カトラリー／プレートの制作（研磨）		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	寺村 サチコ	同上		上記参照
第27回	寺村 サチコ	カトラリー／プレートの制作（塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
	寺			

第28回	村 サチコ	同上		上記参照
第29回	寺 村 サチコ	カトラリー／プレートの制作　講評会、作品撮影	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	寺 村 サチコ		同上	上記参照

教科書
無、適宜プリントを配布する
参考書
無
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 １．学習態度・授業への参加度 ３０％ ２．作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／７０％ ※課題提出が評価対象 上記１および２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する ※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする．講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする.
履修のポイント
欠席しないこと．課題は提出期限を厳守すること．期限外は減点の対象とする. ※材料費が￥1,500程度かかります
オフィス・アワー
寺村：月・火・水・木　9：00-17：30（112研究室）
科目区分
専門科目

講義コード	40150001
講義名	立体造形基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3104
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を制作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。
教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態摸写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	森村均	オリエンテーション・スケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	森村均	"		"
				予習45分：レクチャー内容の

第3回	森村均	デッサンによる研究		予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	森村均	"		"
第5回	森村均	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	森村均	"		"
第7回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	森村均	"		"
第9回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	森村均	"		"
第11回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	森村均	"		"
第13回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	森村均	"		"
第15回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	森村均	"		"
第17回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
	森			

第18回	村 均	"		"
第19回	森 村 均	抽象作品制作のための のプランニング		予習45分：レクチャー内容の 予習 復習45分：レクチャー内容の 復習
第20回	森 村 均	"		"
第21回	森 村 均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の 予習 復習45分：レクチャー内容の 復習
第22回	森 村 均	"		"
第23回	森 村 均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の 予習 復習45分：レクチャー内容の 復習
第24回	森 村 均	"		"
第25回	森 村 均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の 予習 復習45分：レクチャー内容の 復習
第26回	森 村 均	"		"
第27回	森 村 均	完成・提出		予習45分：レクチャー内容の 予習 復習45分：レクチャー内容の 復習
第28回	森 村 均	"		"
第29回	森 村 均	講評	各自作品についてプレゼン テーションを行う。	予習45分：レクチャー内容の 予習 復習45分：レクチャー内容の 復習
第30回	森 村 均	"	"	"

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題評価70% 授業への参加度評価30%。
本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。
履修のポイント
積極的な姿勢で授業に臨んでください。
オフィス・アワー
金曜日 10:50～11:00 場所：5号館 503教室
科目区分
専門科目

講義コード	40150002
講義名	立体造形基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3104
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。

教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態摸写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	森村均	オリエンテーション・スケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	森村均	"		"

第3回	森村均	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	森村均	"		"
第5回	森村均	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	森村均	"		"
第7回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	森村均	"		"
第9回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	森村均	"		"
第11回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	森村均	"		"
第13回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	森村均	"		"
第15回	森村均	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	森村均	"		"
第17回	森村均	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第18回	森村均	"		"
第19回	森村均	抽象作品制作のためのプランニング		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	森村均	"	"	
第21回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	森村均	"		"
第23回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	森村均	"		"
第25回	森村均	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	森村均	"		"
第27回	森村均	完成・提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	森村均	"		"
第29回	森村均	講評	各自作品についてプレゼンテーションを行う。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	森村均	"	"	

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題評価70% 授業への参加度評価30%。

本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。
履修のポイント
積極的な姿勢で授業に臨んでください。
オフィス・アワー
金曜日 10:50～11:00 場所：5号館 503教室
科目区分
専門科目

講義コード	40160001
講義名	デッサン基礎（1限）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3105
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	１学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	小林 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描くことや、描かれたモノクロームの絵画を総称していいます。ですが、この授業では、「デッサン」を少し広くとらえ、シンプルな、描く、みる、感じる、つくる、という行為も「デッサン」とします。色々な課題を通して、あらゆる造形表現の基礎となるデッサン力、対象を観察し描写する力、アイデアやイメージを形にする力を養います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、選択した専門分野の知識や技能を習得し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するための、基盤となる技術を得ることを目的とする。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的かつ柔軟な視点で対象を観察する能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小林達也	導入 プロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習		予習３０分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習３０分：クロッキー練習
第2回	小林達也	線を引く（１） 逆さ模写。対象を見ることに集中して描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第3回	小林	線を引く（２） 手の線。対象を見ることに集中し		復習４５分：レクチャー内容

	達也	て描く。		の復習
第4回	小林達也	線を引く（３） 対象を描くのではなく、行為として線を引くことに集中して描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第5回	小林達也	明暗でとらえる（１） 鼻。モチーフの輪郭ではなく明暗をよく観察し、立体的に描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第6回	小林達也	明暗をとらえる（２） 顔。モチーフの輪郭ではなく明暗をよく観察し、立体的に描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第7回	小林達也	手でみる（１） 紙の塔。紙とのりのみで高い塔を作る。 ●カッター、カッターマット、定規、のりを用意。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第8回	小林達也	手でみる（２） 紙の塔。紙とのりのみで高い塔を作る。完成、実演。 ●カッター、カッターマット、定規、のりを用意。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第9回	小林達也	明暗と形態（1） 石膏像を描く。準備として形の計測をする。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第10回	小林達也	明暗と形態（２） 石膏像を描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習、制作。
第11回	小林達也	明暗と形態（３） 石膏像を描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習、制作。
第12回	小林達也	明暗と形態（４） 石膏像を描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習、制作。
第13回	小林達也	明暗と形態（５） 石膏像デッサン講評		復習４５分：レクチャー内容の復習
第14回	小林達也	色の関わり（１） 色紙を使い、選りすぐりの組み合わせ、関係を探る。 ●はさみ、のりを用意		復習４５分：レクチャー内容の復習
第15回	小林達也	色の関わり（２） 色紙を用いて、偶然性も含めた色の関わりからイメージを見つける ●はさみ、のりを用意		復習４５分：レクチャー内容の復習

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度７０%、授業への参加度３０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況に合わせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 （アクティブラーニング）
履修のポイント
授業は集中して取り組み、各課題の意図を理解、実践する。
オフィス・アワー
授業の開始前、もしくは終了後に教室等で質問を受け付けます。
科目区分
専門科目

講義コード	40160002
講義名	デッサン基礎（2限）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3105
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	１学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	小林 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描くことや、描かれたモノクロームの絵画を総称していいます。ですが、この授業では、「デッサン」を少し広くとらえ、シンプルな、描く、みる、感じる、つくる、という行為も「デッサン」とします。色々な課題を通して、あらゆる造形表現の基礎となるデッサン力、対象を観察し描写する力、アイデアやイメージを形にする力を養います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、選択した専門分野の知識や技能を習得し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するための、基盤となる技術を得ることを目的とする。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的かつ柔軟な視点で対象を観察する能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小林達也	導入 プロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習		予習３０分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習３０分：クロッキー練習
第2回	小林達也	線を引く（１） 逆さ模写。対象を見ることに集中して描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第3回	小林	線を引く（２） 手の線。対象を見ることに集中し		復習４５分：レクチャー内容

	達也	て描く。		の復習
第4回	小林達也	線を引く（３） 対象を描くのではなく、行為として線を引くことに集中して描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第5回	小林達也	明暗でとらえる（１） 鼻。モチーフの輪郭ではなく明暗をよく観察し、立体的に描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第6回	小林達也	明暗をとらえる（２） 顔。モチーフの輪郭ではなく明暗をよく観察し、立体的に描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第7回	小林達也	手でみる（１） 紙の塔。紙とのりのみで高い塔を作る。 ●カッター、カッターマット、定規、のりを用意。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第8回	小林達也	手でみる（２） 紙の塔。紙とのりのみで高い塔を作る。完成、実演。 ●カッター、カッターマット、定規、のりを用意。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第9回	小林達也	明暗と形態（1） 石膏像を描く。準備として形の計測をする。		復習４５分：レクチャー内容の復習
第10回	小林達也	明暗と形態（２） 石膏像を描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習、制作。
第11回	小林達也	明暗と形態（３） 石膏像を描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習、制作。
第12回	小林達也	明暗と形態（４） 石膏像を描く。		復習４５分：レクチャー内容の復習、制作。
第13回	小林達也	明暗と形態（５） 石膏像デッサン講評		復習４５分：レクチャー内容の復習
第14回	小林達也	色の関わり（１） 色紙を使い、選りすぐりの組み合わせ、関係を探る。 ●はさみ、のりを用意		復習４５分：レクチャー内容の復習
第15回	小林達也	色の関わり（２） 色紙を用いて、偶然性も含めた色の関わりからイメージを見つける ●はさみ、のりを用意		復習４５分：レクチャー内容の復習

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度７０%、授業への参加度３０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況に合わせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 （アクティブラーニング）
履修のポイント
授業は集中して取り組み、各課題の意図を理解、実践する。
オフィス・アワー
授業の開始前、もしくは終了後に教室等で質問を受け付けます。
科目区分
専門科目

講義コード	40170001
講義名	ＣＧ基礎（月曜日）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3106
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Illustrator、Photoshopの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木 優希	指定なし
教員	野村 亜希	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustrator、Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工、デザインを行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を行い、デザイン作品や多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。
また、本講座は商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustrator、Photoshopのオペーレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustrator、Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、クリエイター、デザイナーとして活躍するための基礎技術、基礎知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希 野村亜希	「Macの操作とアプリケーションの基本操作」 macOSの基本操作を学びつつ、Adobe IllustratorとPhotoshopの特徴について学ぶ。		予習45分：教科書Lesson01を読む。
	柏木	「図形や線を描く」[Illustrator]		

第2回	優希 野村 亜希	各種作図ツールの使い方を学び、ベジェ曲線の扱いを学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木 優希 野村 亜希	「オブジェクトの選択と基本的な変形」[Illustrator] 簡単なアイコンや図をパスで作成できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第4回	柏木 優希 野村 亜希	「色と透明度の設定」[Illustrator] グラデーションや不透明度を活用できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第5回	柏木 優希 野村 亜希	「オブジェクトの編集と合成」[Illustrator] オブジェクトを操作し、複合的な図形を作成できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木 優希 野村 亜希	「線と文字の設定」[Illustrator] 基本的な図形の線の設定や文字の書式設定について学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木 優希 野村 亜希	「覚えておきたい機能」[Illustrator] Illustratorの応用的な機能を学び、効率的に作業できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	野村 亜希 柏木 優希	「レイヤーの操作と色調補正」[Photoshop] レイヤーの基本操作と色調調整の方法を学ぶ		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	野村 亜希 柏木 優希	「選択範囲の作成」[Photoshop] 選択範囲を利用し、部分的な編集を行う		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	野村 亜希 柏木 優希	「色の設定とペイントの操作」[Photoshop] Photoshopの色設定と描画ツールの扱いについて学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	野村 亜希 柏木 優希	「レイヤーのマスク」[Photoshop] 各種レイヤーマスクの設定方法を学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	野村 亜希 柏木 優希	「文字、パス、シェイプ」[Photoshop] 文字の編集やパス・シェイプの扱いについて学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	野村 亜希 柏木 優希	「画像の修正」[Photoshop] 画像の補正や解像度の変更について学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	野村 亜希 柏木 優希	「フィルターとレイヤースタイル」[Photoshop] 各種フィルター機能の特徴について学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	野村 亜希 柏木	IllustratorとPhotoshopの連携		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。

	優希			

教科書

ピクセルハウス『世界一わかりやすいIllustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書 ［改訂4版］』技術評論社

参考書

授業内で適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題による評価とする。
※本授業では定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

Teamsのフィードバック機能による採点とコメントの返信を行う。

履修のポイント

アプリケーションの操作説明が多いため、遅刻欠席を行うと課題への取り組みに支障があるので、遅刻のないように留意し、欠席した場合、該当する教科書の内容を自習し次の授業に参加すること。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30～15：00、1号館122研究室（柏木）
月曜日・水曜日・木曜日・金曜日 13：30～16：30、 125研究室（野村）

科目区分

専門科目

講義コード	40170002
講義名	ＣＧ基礎（水曜日）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3106
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Illustrator、Photoshopの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木 優希	指定なし
教員	野村 亜希	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustrator、Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工、デザインを行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を行い、デザイン作品や多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。
また、本講座は商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustrator、Photoshopのオペーレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustrator、Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、クリエイター、デザイナーとして活躍するための基礎技術、基礎知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希 野村亜希	「Macの操作とアプリケーションの基本操作」 macOSの基本操作を学びつつ、Adobe IllustratorとPhotoshopの特徴について学ぶ。		予習45分：教科書Lesson01を読む。
	柏木	「図形や線を描く」[Illustrator]		

第2回	優希 野村 亜希	各種作図ツールの使い方を学び、ベジェ曲線の扱いを学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	柏木 優希 野村 亜希	「オブジェクトの選択と基本的な変形」[Illustrator] 簡単なアイコンや図をパスで作成できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第4回	柏木 優希 野村 亜希	「色と透明度の設定」[Illustrator] グラデーションや不透明度を活用できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第5回	柏木 優希 野村 亜希	「オブジェクトの編集と合成」[Illustrator] オブジェクトを操作し、複合的な図形を作成できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	柏木 優希 野村 亜希	「線と文字の設定」[Illustrator] 基本的な図形の線の設定や文字の書式設定について学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	柏木 優希 野村 亜希	「覚えておきたい機能」[Illustrator] Illustratorの応用的な機能を学び、効率的に作業できるようにする。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	野村 亜希 柏木 優希	「レイヤーの操作と色調補正」[Photoshop] レイヤーの基本操作と色調調整の方法を学ぶ		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	野村 亜希 柏木 優希	「選択範囲の作成」[Photoshop] 選択範囲を利用し、部分的な編集を行う		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	野村 亜希 柏木 優希	「色の設定とペイントの操作」[Photoshop] Photoshopの色設定と描画ツールの扱いについて学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	野村 亜希 柏木 優希	「レイヤーのマスク」[Photoshop] 各種レイヤーマスクの設定方法を学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	野村 亜希 柏木 優希	「文字、パス、シェイプ」[Photoshop] 文字の編集やパス・シェイプの扱いについて学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	野村 亜希 柏木 優希	「画像の修正」[Photoshop] 画像の補正や解像度の変更について学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	野村 亜希 柏木 優希	「フィルターとレイヤースタイル」[Photoshop] 各種フィルター機能の特徴について学ぶ。		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	野村 亜希 柏木	IllustratorとPhotoshopの連携		復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。

	優希			

教科書

ピクセルハウス『世界一わかりやすいIllustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書 ［改訂4版］』技術評論社

参考書

授業内で適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題による評価とする。
※本授業では定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

Teamsのフィードバック機能による採点とコメントの返信を行う。

履修のポイント

アプリケーションの操作説明が多いため、遅刻欠席を行うと課題への取り組みに支障があるので、遅刻のないように留意し、欠席した場合、該当する教科書の内容を自習し次の授業に参加すること。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30～15：00、1号館122研究室（柏木）
月曜日・水曜日・木曜日・金曜日 13：30～16：30、 125研究室（野村）

科目区分

専門科目

講義コード	40180001
講義名	ＷＥＢコーディング基礎（火曜日）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	Webデザイナーとしての実務経験に基づき、HTMLやCSSの基礎知識についての講義を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木　優希	指定なし

授業の概要と教育目標

Webサイト構築の根幹となるコーディング技術（HTML Living Standard / CSS）を基礎から学ぶ。 本講義では、単にコードを写すだけでなく、「なぜそのように表示されるのか」という論理的な構造理解と、エラーを自力で解決できる実践力の習得を重視する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。」の関連として、将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

1.構造理解: HTML Living Standardのコンテンツモデルを理解し、セマンティック（意味的）に正しいマークアップができる。
2.ファイル管理: ディレクトリ構造を理解し、絶対パス・相対パスを用いてリンクや画像を正しく機能させることができる。
3.レイアウト: CSSボックスモデル、Flexbox、Grid Layoutを使い分け、意図したデザインを実装できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木	Web制作デビュー：環境構築とHTMLの基本【内容】Webの仕組みと制作環境（コードエディター）の構築を行う。HTMLの基本構造（DOCTYPE, html, head, body）を理解し、見		[予習] Webサイトがどのようなファイルで構成されているか、実際にいくつかのサイトを見て確認しておく。 [　　]

	優希	出し・段落・画像を用いた簡単な自己紹介ページを作成する。 【課題】「好きなもの」を紹介するWebページを作成し、ブラウザで表示させる。		復習 授業で作成したHTMLファイルの拡張子を確認し、タグの閉じ忘れがないか見直す。 (45分)
第2回	柏木優希	文法構造の解剖：HTML/CSSの構文と装飾 【内容】「要素・属性・値」や「セレクタ・プロパティ」といった専門用語を定義し、文法構造を正確に理解する。CSSを用いて文字色やフォントを変更し、デザインの基礎を体験する。 【課題】自己紹介ページにCSSで装飾を施す。		[予習] 配布資料の「HTML/CSSの基本用語」に目を通しておく。 [復習] 授業で学んだ「セレクタ」「プロパティ」の関係を意識しながら、色やサイズを変更する実験を行う。 (45分)
第3回	柏木優希	パスとリンク：ディレクトリ構造の完全理解 【内容】Web制作で最も重要なファイルパス（絶対パス・相対パス）の概念を学ぶ。a要素を用いてページ間を移動するリンクを実装し、フォルダ階層の概念を習得する。 【課題】複雑な階層構造を持つフォルダ間で正しくリンクを繋ぐ演習を行う。		[予習] PC内のフォルダの中にフォルダを作るなど、ファイルの階層整理をしておく。 [復習]「../」などの相対パス記法を用いて、画像が表示されないエラーを自分で修正できるようにする。 (45分)
第4回	柏木優希	ボックスモデル：余白と配置の基礎 【内容】Webページの全ての要素が「箱」であることを理解する。マージン（外余白）、パディング（内余白）、ボーダー（枠線）の違いを学び、要素のサイズ計算を行う。 【課題】CSSでボタン風のデザインを作成し、意図した余白を持たせて配置する。		[予習] 身の回りのWebサイトを見て、要素同士の間隔（余白）がどのように取られているか観察する。 [復習]「幅(width) + 余白 + 枠線」の合計サイズを計算し、要素が横に並ぶか落ちるかを予測する練習を行う。 (45分)
第5回	柏木優希	HTMLのルール：Living Standardとセマンティクス 【内容】HTML Living Standardに基づく正しいマークアップ（セマンティクス）を学ぶ。divタグだけでなく、header, main, footerなどを適切に使い分ける。 【課題】過去に作成したコードを、コンテンツモデル（入れ子ルール）に従って正しいタグで書き換える。		[予習]「HTML Living Standard」という言葉を検索し、どのようなルールがあるか概略を知る。 [復習] 授業内で指摘された「誤ったタグの使い方（pの中にh1を入れる等）」を復習し、修正する。 (45分)
第6回	柏木優希	Flexboxレイアウト：横並びの実装 【内容】現在の主流であるFlexbox（フレキシブルボックス）レイアウトを学ぶ。要素の横並び、中央揃え、均等配置などのプロパティを習得する。 【課題】ナビゲーションメニューおよび、画像とテキストを組み合わせたカード型レイアウトを作成する。		[予習] Webサイトのナビゲーションメニューがどのように横並びになっているか想像してみる。 [復習] justify-content や align-items の値を変更し、要素の動きがどう変わるかを確認する。 (45分)
		CSS理論と詳細度：スタイルの優先順位 【内容】「CSSが効かない」原因となる詳細度（Specificity）の計算方法を学ぶ。ID、ク		[予習] 配布資料の「詳細度」の項目を読み、点数計算の仕組みを予習する。 [ ]

第7回	柏木優希	ラス、要素の優先順位や、複合セレクタの書き方を理解する。 【課題】意図的にスタイルが崩れたファイルを配布し、詳細度を計算して正しい表示に修正するデバッグ演習		復習 授業で行ったデバッグ演習を再度解き直し、なぜそのスタイルが優先されるのかを言語化できるようにする。 (45分)
第8回	柏木優希	Grid Layout：2次元レイアウトと使い分け 【内容】縦横を自由に配置できるGrid Layoutを学ぶ。Flexboxとの使い分けや、fr単位を用いた比率指定を習得する。 【課題】モンドリアンの抽象画を模した複雑なグリッドレイアウトを、CSS Gridを用いて再現する。		[予習] 新聞や雑誌のレイアウトを見て、格子状（グリッド）のデザインを探してみる。 [復習] FlexboxとGrid Layoutの違いを整理し、どのような場面でどちらを使うべきかまとめる。 (45分)
第9回	柏木優希	表（テーブル）の作成：複雑なデータ構造 【内容】table要素を用いた表組みの作成方法を学ぶ。行（tr）、セル（th/td）の構造および、セルの結合（rowspan/colspan）を理解する。 【課題】自身の時間割表や料金表など、結合を含む複雑な表をHTMLでコーディングする。		[予習] Excelなどで表を作り、セルが結合されている状態を確認しておく。 [復習] 作成した表の線（border）のデザインをCSSで変更し、見やすい表に整える。 (45分)
第10回	柏木優希	フォームの作成：ユーザー入力の仕組み 【内容】ユーザーからの入力を受け付けるフォームの作成方法を学ぶ。input要素のtype属性による部品の変化や、label要素によるユーザビリティ向上を理解する。 【課題】「お問い合わせフォーム」のUI（見た目）を作成し、ラジオボタンやチェックボックスを配置する。		[予習] 普段使っているWebサイトの入力フォームにはどんな部品（ボタン、入力欄）があるか確認する。 [復習] type属性（text, email, password等）を書き換え、スマホでのキーボード表示の変化などを確認する。 (45分)
第11回	柏木優希	JavaScript体験：動的なWebページ 【内容】JavaScriptを用いて、静的なHTMLに「動き」を加える体験をする。クリックイベントやクラスの付け替え（DOM操作）の基本を知る。 【課題】ボタンをクリックすると背景色や文字が変わるインタラクションを実装する。		[予習] Webサイトでボタンを押したときに起きる「変化（メニューが開く等）」を探してみる。 [復習] HTML（骨組み）、CSS（見た目）、JS（動き）の役割の違いを自分の言葉で説明できるようにする。 (45分)
第12回	柏木優希	総合演習(1) サイト構成とパス設計 【内容】最終課題「3ページの自己紹介サイト」の制作を開始する。複雑なデザインは行わず、ファイル構成（ディレクトリマップ）の設計に集中する。 【課題】トップページ、プロフィール、趣味のページの3枚構成を作成し、画像フォルダやCSSフォルダのパスを紙に書き出す。		[予習] 自己紹介に使う写真や文章を準備し、フォルダに整理しておく。 [復習] 書き出したパスの設計図を見て、リンク切れが起きない構造になっているか再確認する。 (45分)
	柏	総合演習(2) 構造の実装とリンク 【内容】HTMLコーディングを行う。各ページに共通のナビゲーション（メニュー）を設		[予習] 第3回で学んだ「相対パス」の復習をしておく。 [ ]

第13回	木 優希	置し、ページ間の移動が正しく機能することを最優先する。 【課題】3つのHTMLファイルを作成し、aタグで相互に行き来できるようにする（リンク切れゼロを目指す）。		復習 作成したページ全てのリンクをクリックし、正しく移動できるかテストする。 (45分)
第14回	柏 木 優希	総合演習(3) 基本装飾と仕上げ 【内容】CSSで見出しや文字の色、余白を整え、読みやすいサイトに仕上げる。凝ったレイアウトよりも、文字の可読性と画像の配置を重視する。 【課題】バリデーションツールでタグの閉じ忘れ等をチェックし、提出用にフォルダを整理する。		[予習] 読みやすい文字サイズや行間について、教科書やWebで確認しておく。 [復習] 提出用のフォルダが自分のPC以外でも表示できるか確認する。 (45分)
第15回	柏 木 優希	発表・講評 【内容】完成したWebサイトをブラウザで表示し発表する。教員による学生同士の相互レビューと総評を行う。 【課題】制作を通じて得られた知見と課題を振り返る。	相互鑑賞シートを用いた作品発表。	[予習] 発表に向けて、自分の作品を整理しておく。 [復習] フィードバックを元に、作品を修正・改善する。 (45分)

教科書
授業内で指定するオンライン資料と配布資料を使用する。
参考書
HTML Living Standard（https://html.spec.whatwg.org/）
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。授業内課題、小テストにて評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で指定した参考資料をもとに、学んだことの復習や、次回授業へ向けての予習を行うこと。
履修のポイント
各回で学ぶ内容は以降の回でも必須となる積み上げ式の授業でである。遅刻、欠席をしないように注意すること。欠席した場合は授業内資料を元に自習をし、次回内容に追いつけるようにすること。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30～15：00、1号館122研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40180002
講義名	ＷＥＢコーディング基礎（金曜日）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	Webデザイナーとしての実務経験に基づき、HTMLやCSSの基礎知識についての講義を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木　優希	指定なし

授業の概要と教育目標

Webサイト構築の根幹となるコーディング技術（HTML Living Standard / CSS）を基礎から学ぶ。 本講義では、単にコードを写すだけでなく、「なぜそのように表示されるのか」という論理的な構造理解と、エラーを自力で解決できる実践力の習得を重視する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。」の関連として、将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

1.構造理解: HTML Living Standardのコンテンツモデルを理解し、セマンティック（意味的）に正しいマークアップができる。
2.ファイル管理: ディレクトリ構造を理解し、絶対パス・相対パスを用いてリンクや画像を正しく機能させることができる。
3.レイアウト: CSSボックスモデル、Flexbox、Grid Layoutを使い分け、意図したデザインを実装できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木	Web制作デビュー：環境構築とHTMLの基本【内容】Webの仕組みと制作環境（コードエディター）の構築を行う。HTMLの基本構造（DOCTYPE, html, head, body）を理解し、見		[予習] Webサイトがどのようなファイルで構成されているか、実際にいくつかのサイトを見て確認しておく。 [　　]

	優希	出し・段落・画像を用いた簡単な自己紹介ページを作成する。 【課題】「好きなもの」を紹介するWebページを作成し、ブラウザで表示させる。		復習 授業で作成したHTMLファイルの拡張子を確認し、タグの閉じ忘れがないか見直す。 (45分)
第2回	柏木優希	文法構造の解剖：HTML/CSSの構文と装飾 【内容】「要素・属性・値」や「セレクタ・プロパティ」といった専門用語を定義し、文法構造を正確に理解する。CSSを用いて文字色やフォントを変更し、デザインの基礎を体験する。 【課題】自己紹介ページにCSSで装飾を施す。		[予習] 配布資料の「HTML/CSSの基本用語」に目を通しておく。 [復習] 授業で学んだ「セレクタ」「プロパティ」の関係を意識しながら、色やサイズを変更する実験を行う。 (45分)
第3回	柏木優希	パスとリンク：ディレクトリ構造の完全理解 【内容】Web制作で最も重要なファイルパス（絶対パス・相対パス）の概念を学ぶ。a要素を用いてページ間を移動するリンクを実装し、フォルダ階層の概念を習得する。 【課題】複雑な階層構造を持つフォルダ間で正しくリンクを繋ぐ演習を行う。		[予習] PC内のフォルダの中にフォルダを作るなど、ファイルの階層整理をしておく。 [復習]「../」などの相対パス記法を用いて、画像が表示されないエラーを自分で修正できるようにする。 (45分)
第4回	柏木優希	ボックスモデル：余白と配置の基礎 【内容】Webページの全ての要素が「箱」であることを理解する。マージン（外余白）、パディング（内余白）、ボーダー（枠線）の違いを学び、要素のサイズ計算を行う。 【課題】CSSでボタン風のデザインを作成し、意図した余白を持たせて配置する。		[予習] 身の回りのWebサイトを見て、要素同士の間隔（余白）がどのように取られているか観察する。 [復習]「幅(width) + 余白 + 枠線」の合計サイズを計算し、要素が横に並ぶか落ちるかを予測する練習を行う。 (45分)
第5回	柏木優希	HTMLのルール：Living Standardとセマンティクス 【内容】HTML Living Standardに基づく正しいマークアップ（セマンティクス）を学ぶ。divタグだけでなく、header, main, footerなどを適切に使い分ける。 【課題】過去に作成したコードを、コンテンツモデル（入れ子ルール）に従って正しいタグで書き換える。		[予習]「HTML Living Standard」という言葉を検索し、どのようなルールがあるか概略を知る。 [復習] 授業内で指摘された「誤ったタグの使い方（pの中にh1を入れる等）」を復習し、修正する。 (45分)
第6回	柏木優希	Flexboxレイアウト：横並びの実装 【内容】現在の主流であるFlexbox（フレキシブルボックス）レイアウトを学ぶ。要素の横並び、中央揃え、均等配置などのプロパティを習得する。 【課題】ナビゲーションメニューおよび、画像とテキストを組み合わせたカード型レイアウトを作成する。		[予習] Webサイトのナビゲーションメニューがどのように横並びになっているか想像してみる。 [復習] justify-content や align-items の値を変更し、要素の動きがどう変わるかを確認する。 (45分)
		CSS理論と詳細度：スタイルの優先順位 【内容】「CSSが効かない」原因となる詳細度（Specificity）の計算方法を学ぶ。ID、ク		[予習] 配布資料の「詳細度」の項目を読み、点数計算の仕組みを予習する。 [ ]

第7回	柏木優希	ラス、要素の優先順位や、複合セレクタの書き方を理解する。 【課題】意図的にスタイルが崩れたファイルを配布し、詳細度を計算して正しい表示に修正するデバッグ演習		復習 授業で行ったデバッグ演習を再度解き直し、なぜそのスタイルが優先されるのかを言語化できるようにする。 (45分)
第8回	柏木優希	Grid Layout：2次元レイアウトと使い分け 【内容】縦横を自由に配置できるGrid Layoutを学ぶ。Flexboxとの使い分けや、fr単位を用いた比率指定を習得する。 【課題】モンドリアンの抽象画を模した複雑なグリッドレイアウトを、CSS Gridを用いて再現する。		[予習] 新聞や雑誌のレイアウトを見て、格子状（グリッド）のデザインを探してみる。 [復習] FlexboxとGrid Layoutの違いを整理し、どのような場面でどちらを使うべきかまとめる。 (45分)
第9回	柏木優希	表（テーブル）の作成：複雑なデータ構造 【内容】table要素を用いた表組みの作成方法を学ぶ。行（tr）、セル（th/td）の構造および、セルの結合（rowspan/colspan）を理解する。 【課題】自身の時間割表や料金表など、結合を含む複雑な表をHTMLでコーディングする。		[予習] Excelなどで表を作り、セルが結合されている状態を確認しておく。 [復習] 作成した表の線（border）のデザインをCSSで変更し、見やすい表に整える。 (45分)
第10回	柏木優希	フォームの作成：ユーザー入力の仕組み 【内容】ユーザーからの入力を受け付けるフォームの作成方法を学ぶ。input要素のtype属性による部品の変化や、label要素によるユーザビリティ向上を理解する。 【課題】「お問い合わせフォーム」のUI（見た目）を作成し、ラジオボタンやチェックボックスを配置する。		[予習] 普段使っているWebサイトの入力フォームにはどんな部品（ボタン、入力欄）があるか確認する。 [復習] type属性（text, email, password等）を書き換え、スマホでのキーボード表示の変化などを確認する。 (45分)
第11回	柏木優希	JavaScript体験：動的なWebページ 【内容】JavaScriptを用いて、静的なHTMLに「動き」を加える体験をする。クリックイベントやクラスの付け替え（DOM操作）の基本を知る。 【課題】ボタンをクリックすると背景色や文字が変わるインタラクションを実装する。		[予習] Webサイトでボタンを押したときに起きる「変化（メニューが開く等）」を探してみる。 [復習] HTML（骨組み）、CSS（見た目）、JS（動き）の役割の違いを自分の言葉で説明できるようにする。 (45分)
第12回	柏木優希	総合演習(1) サイト構成とパス設計 【内容】最終課題「3ページの自己紹介サイト」の制作を開始する。複雑なデザインは行わず、ファイル構成（ディレクトリマップ）の設計に集中する。 【課題】トップページ、プロフィール、趣味のページの3枚構成を作成し、画像フォルダやCSSフォルダのパスを紙に書き出す。		[予習] 自己紹介に使う写真や文章を準備し、フォルダに整理しておく。 [復習] 書き出したパスの設計図を見て、リンク切れが起きない構造になっているか再確認する。 (45分)
	柏	総合演習(2) 構造の実装とリンク 【内容】HTMLコーディングを行う。各ページに共通のナビゲーション（メニュー）を設		[予習] 第3回で学んだ「相対パス」の復習をしておく。 [ ]

第13回	木 優希	置し、ページ間の移動が正しく機能することを最優先する。 【課題】3つのHTMLファイルを作成し、aタグで相互に行き来できるようにする（リンク切れゼロを目指す）。		復習 作成したページ全てのリンクをクリックし、正しく移動できるかテストする。 (45分)
第14回	柏 木 優希	総合演習(3) 基本装飾と仕上げ 【内容】CSSで見出しや文字の色、余白を整え、読みやすいサイトに仕上げる。凝ったレイアウトよりも、文字の可読性と画像の配置を重視する。 【課題】バリデーションツールでタグの閉じ忘れ等をチェックし、提出用にフォルダを整理する。		[予習] 読みやすい文字サイズや行間について、教科書やWebで確認しておく。 [復習] 提出用のフォルダが自分のPC以外でも表示できるか確認する。 (45分)
第15回	柏 木 優希	発表・講評 【内容】完成したWebサイトをブラウザで表示し発表する。教員による学生同士の相互レビューと総評を行う。 【課題】制作を通じて得られた知見と課題を振り返る。	相互鑑賞シートを用いた作品発表。	[予習] 発表に向けて、自分の作品を整理しておく。 [復習] フィードバックを元に、作品を修正・改善する。 (45分)

教科書
授業内で指定するオンライン資料と配布資料を使用する。
参考書
HTML Living Standard（https://html.spec.whatwg.org/）
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。授業内課題、小テストにて評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で指定した参考資料をもとに、学んだことの復習や、次回授業へ向けての予習を行うこと。
履修のポイント
各回で学ぶ内容は以降の回でも必須となる積み上げ式の授業でである。遅刻、欠席をしないように注意すること。欠席した場合は授業内資料を元に自習をし、次回内容に追いつけるようにすること。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30～15：00、1号館122研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40190001
講義名	アート・デザインI（柳澤/小松原）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3101
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	柳澤 顕	指定なし
教員	小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、絵画とイラストレーションの両分野に共通する基礎的な描画技法と画材の扱い方を学ぶ。前半では、鉛筆・透明水彩・油彩などの基本技法を習得し、画材の特性を理解することを重視する。後半では、これらの基礎技法を応用してオリジナル作品を制作し、自身の表現の方向性を探る力を養う。また、制作した作品をギャラリーで展示する方法を学び、プレゼンテーションや講評・意見交換を通して作品の意図を言語化し、多様な視点から表現を深める姿勢を育成することを教育目標とする。

授業担当 月曜日：柳澤、木曜日：小松原

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーに基づき、本授業では絵画やイラストレーションに関する基礎的な知識と技能を身につけ、対象理解に基づく表現力を養うことを重視する。また、社会のニーズや価値観の変化に対応できる柔軟な知識・技術を育成し、専門分野に応じた表現方法の深化につなげることを目的とする。さらに、作品展示やプレゼンテーション、講評・意見交換を通して表現の意図を言語化し、多様な視点を取り入れながら自己の表現を発展させる力を育む。

到達目標

○観察と自己理解に基づく表現ができるようになる。
○基礎的な描画技法と素材の扱いを適切に使い分けられるようになる。
○表現の幅を広げるための技法の応用ができるようになる。
○自分のテーマやイメージをもとに作品を企画・制作できるようになる。
○作品を展示し、意図を言語化して伝え、意見交換を通して表現を深められるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	柳澤顕	絵画・イラストレーション分野を学ぶうえでの心構えや姿勢、2年間の学びの進め方についての講義 オリエンテーション・シラバス説明 課題「Self-portrait」自分自身を見つめ、自己理解を深めるための作品を制作する アイデアスケッチの開始 ※クロッキー帳用意		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：指導内容の復習
第2回	柳澤顕	”		
第3回	小松原洋生	「Self-portrait」 講師によるアイデアスケッチのチェック イラストレーションボードへ下描き開始		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第4回	小松原洋生	”		
第5回	柳澤顕	「Self-portrait」 下書き終了後、着色開始 画材、技法は自由		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第6回	柳澤顕	”		
第7回	小松原洋生	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第8回	小松原洋生	”		
第9回	柳澤顕	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第10回	柳澤顕	”		
第11回	小松原洋生	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
	小			

第12回	松原洋生	”	”	
第13回	柳澤顕	「Self-portrait」制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第14回	柳澤顕	”		
第15回	小松原洋生	「Self-portrait」完成 プレゼンテーション、講評（アクティブラーニング） 作品の提出 ●次回からの制作についての説明	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第16回	小松原洋生	”		
第17回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（グリザイユ）静物画制作		予習45分：画材などの準備 復習45分：指導内容の復習
第18回	柳澤顕	”		
第19回	小松原洋生	「透明水彩技法」についての解説（プリント配布） 技法練習 静物画の下書き		予習45分：画材などの準備 復習45分：指導内容の復習
第20回	小松原洋生	”		
第21回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（グリザイユ）静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第22回	柳澤顕	”		
第23回	小松原洋生	「透明水彩技法」 静物画の下書きから着彩へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第24回	小松原	”		

	洋生			
第25回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（グリザイユ）静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第26回	柳澤顕	”		
第27回	小松原洋生	「透明水彩技法」 静物画の下書きから着彩へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第28回	小松原洋生	”		
第29回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（グリザイユ） 静物画完成、講評	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第30回	柳澤顕	”		
第31回	小松原洋生	静物画制作「透明水彩技法」 静物画制作、完成、講評	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第32回	小松原洋生	”		
第33回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（プリマ描き）静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第34回	柳澤顕	”		
第35回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」 アイデアスケッチの制作 ※クロッキー帳用		予習45分：画材などの準備 復習45分：指導内容の復習
第36回	小松原	”	”	

	洋生			
第37回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（プリマ描き）静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第38回	柳澤顕	”		
第39回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」制作 アイデアスケッチから下書き制作へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第40回	小松原洋生	”		
第41回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（プリマ描き）静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第42回	柳澤顕	”		
第43回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」制作 着色		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第44回	小松原洋生	”		
第45回	柳澤顕	「油彩基礎技法」（プリマ描き） 静物画完成、講評		予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第46回	柳澤顕	”		
第47回	小松原洋生	「透明水彩によるオリジナルイラスト」制作、完成 プレゼンテーション（アクティブラーニング）、講評		予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第48回	小松原	”		

	洋生			
第49回	柳澤顕	大学ギャラリーでの展示方法について学ぶ プレゼンテーション（アクティブラーニング）および講評	自身の作品についてのプレゼンテーションに加え、教員による講評や学生同士のディスカッションなども実施する	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第50回	柳澤顕	”		
第51回	小松原洋生	キャンバス張りの基礎（木枠へのキャンバス布の張り方、下地処理など）		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第52回	小松原洋生	”		
第53回	柳澤顕	キャンバス張りの基礎（木枠へのキャンバス布の張り方、下地処理など）		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第54回	柳澤顕	”		
第55回	小松原洋生	オリジナル作品の制作に向けて、授業内ではコンセプトの立案とエスキース（構想・下絵）の完成を行う 夏季休暇中には、油彩・水彩など各自が選択した技法で本制作に取り組む		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第56回	小松原洋生	”		
第57回	柳澤顕	オリジナル作品のコンセプトを立案し、エスキース（構想・下絵）を制作する		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第58回	柳澤顕	”		
第59回	小松原洋生	オリジナル作品のコンセプトを立案し、エスキース（構想・下絵）を制作する		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第60回	小松原洋	”	”	

	生			
第61回				

教科書

無

参考書

無
必要に応じて資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

各課題ごとにプレゼンテーションを行い、教員が個別に講評する。また、他者の作品を観察し、優れた点や工夫を共有することで、多様な視点を身につけ、今後の制作に活かす。

履修のポイント

作品制作に必要な画材やエスキースは授業時間外で計画的に準備し、制作に集中できる状態で授業に臨むことを求める。作品の完成度が基準に達していない場合には、改善のための再提出を求めることがある。また、制作への取り組み姿勢や学習プロセスも評価の対象とする。

オフィス・アワー

柳澤：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館１F 111研究室
小松原：木曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40190002
講義名	アート・デザインI（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3101
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業はマンガやコミックイラストレーションに関する基礎的な知識や技術について学習する。マンガ、イラストレーション表現における基本的なテクニックを始め、この分野に求められる表現力や描写力を養うと共に技法研究も行う。出版社への持ち込みや投稿に使用できるオリジナルストーリーマンガ作品の制作、デザイン、アニメーション会社への就職を手助けするCGイラスト制作技術の修得を教育目標として、今後のアート・デザインII・III等へ展開するための第一歩の授業となる。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、マンガ・CGイラストに関する基礎知識や技術を身につけるとともに、描画力・ストーリー制作の表現、CGイラストレーション技術について学んでいく。アート・デザインII以降の応用的な授業に対応するための準備段階として学習目的を設定している。

到達目標

以下に到達目標を記す
○ 基礎技法の修得
○ 様々な描画表現の理解
○ キャラクターデザインについての理解
○ ストーリー制作の基礎

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	自己紹介四コマ漫画／課題内容説明、アイデアスケッチ		予習：90分 自己紹介四コマ漫画で使いたいアイデアを準備する
第2回	自己紹介四コマ漫画／下描き		復習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第3回	自己紹介四コマ漫画／制作作業		予習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第4回	自己紹介四コマ漫画／講評会		復習：90分 講評会の振り返り
第5回	模写による技法表現／課題内容説明、アイデアスケッチ		予習：90分 模写の題材を考える
第6回	模写による技法表現／アイデアスケッチ		復習：90分 模写による技法表現制作
第7回	模写による技法表現／下絵作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第8回	模写による技法表現／下絵作業		復習：90分 模写による技法表現制作
第9回	模写による技法表現／下絵作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第10回	模写による技法表現／下絵作業		復習：90分 模写による技法表現制作
第11回	模写による技法表現／主線入れ		予習：90分 模写による技法表現制作
第12回	模写による技法表現／主線入れ		復習：90分 模写による技法表現制作
第13回	模写による技法表現／ベタ塗り、トーンワーク		予習：90分 模写による技法表現制作
第14回	模写による技法表現／ベタ塗り、トーンワーク		復習：90分 模写による技法表現制作
第15回	模写による技法表現／制作作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第16回	模写による技法表現／完成・提出・講評	講評会でお互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う	復習：90分 講評会の振り返り
第17回	基礎技法①／遠近法①		予習：90分 遠近法①のリサーチ
第18回	基礎技法①／遠近法①		復習：90分 遠近法①の振り返り
第19回	漫画表現技法①／人体のバランス・男女の描き分け①		予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①のリサーチ
第20回	漫画表現技法①／人体のバランス・男女の描き分け①		復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①の振り返り
第21回	基礎技法②／遠近法②		予習：90分 遠近法②のリサーチ
第22回	基礎技法②／遠近法②		復習：90分 遠近法②の振り返り
第23回	漫画表現技法②／人体のバランス・男女の描き分け②		予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け②のリサーチ

第24回	漫画表現技法②／人体のバランス・男女の描き分け②		復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け②の振り返り
第25回	基礎技法③／遠近法③		予習：90分 遠近法③のリサーチ
第26回	基礎技法③／遠近法③		復習：90分 遠近法③の振り返り
第27回	漫画技法表現③／漫画における基本技法①		予習：90分 漫画における基本技法①のリサーチ
第28回	漫画技法表現③／漫画における基本技法①		復習：90分 漫画における基本技法①の振り返り
第29回	基礎技法④／動きの表現①		予習：90分 動きの表現①のリサーチ
第30回	基礎技法④／動きの表現①		復習：90分 動きの表現①の振り返り
第31回	漫画表現技法④／漫画における基本技法②		予習：90分 漫画における基本技法②のリサーチ
第32回	漫画表現技法④／漫画における基本技法②		復習：90分 漫画における基本技法②の振り返り
第33回	基礎技法⑤／動きの表現②		予習：90分 動きの表現②のリサーチ
第34回	基礎技法⑤／動きの表現②		復習：90分 動きの表現②の振り返り
第35回	漫画表現技法⑤／漫画における基本技法③		予習：90分 漫画における基本技法③のリサーチ
第36回	漫画表現技法⑤／漫画における基本技法③		復習：90分 漫画における基本技法③の振り返り
第37回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／課題内容説明、ネーム作成		予習：90分 ５ページ漫画制作準備
第38回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		復習：90分 ５ページ漫画制作
第39回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		予習：90分 ５ページ漫画制作
第40回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		復習：90分 ５ページ漫画制作
第41回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		予習：90分 ５ページ漫画制作
第42回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		復習：90分 ５ページ漫画制作
第43回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		予習：90分 ５ページ漫画制作
第44回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／ネーム作成		復習：90分 ５ページ漫画制作

第45回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第46回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第47回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第48回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第49回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第50回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第51回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第52回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第53回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第54回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第55回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第56回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第57回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第58回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		復習：90分 ５ページ漫画制作
第59回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／制作作業		予習：90分 ５ページ漫画制作
第60回	５ページ漫画あるいはイラスト２枚（CGまたはアナログ）／講評会	講評会でお互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う	復習：90分 講評会の振り返り

教科書

無

参考書

無（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題提出80% 授業参加度20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。
「予習内容」アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる。
「復習内容」目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める。

オフィス・アワー

月曜日 10:50-11:00 １号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 １号館103教室（吉沢）

科目区分

専門科目

講義コード	40190003
講義名	アート・デザインI（小松原/三関/野村）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3101
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	小松原　洋生	指定なし
教員	野村　亜希	指定なし
教　員	三関　努	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの基礎となる知識と技術を作品の制作を通して学んでいく。更には、優れた作品を創り出す為のコンセプトの開発テクニック、発想・アイデアや表現計画、そして実際の印刷入稿などの全体像を学んでいく。また実際のDTPソフトの操作方法を学びながら、制作プロセスや制作の為の基本的テクニックを実際の作品制作を通して習得していく。

デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取ってもらいたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエーターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：小松原　　木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：

本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解する。
◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を深める。
◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に表現する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	三関努	初年次教育：グラフィックデザインを学習する上での心構えや姿勢など２年間の取り組みついてレクチャー グラフィックデザインの全体像など概要説明−１ プレゼンテーションテクニックについて、他		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	三関努	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 女性ファッション雑誌カバーデザインの概要説明 ビジュアル画像案データの配布 サムネイル制作について ●Macの基本操作説明 見出しタイトル案を考えておく		
第3回	小松原洋生	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 グラフィックデザインの概要説明-2 サムネイル制作からカンプへ　構成要素の作成　テキストデータの作成と保存　画像のトリミング　画像補正・台紙制作トンボ　(CMYK)の作成　●CMYKについての説明		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	小松原洋生	〃		
第5回	三関努	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 ●ペンツールでタイトルロゴを作る▶ペンツール練習　塗りと線　カラーの設定　台紙でのマージンとガイドの設定　●デザインロジックについてのレクチャー		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	三関努	〃		
第7回	小松原洋生	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 ●構成要素の配置・レイアウト　ビジュアル・文字データ・ロゴタイプ・パターンなどの主な構成要素を中心に台紙に配置してレイアウトする▶文字データの加工　配置〜リンクなどの説明		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の

				復習
第8回	小松原洋生	”		
第9回	三関努	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 カンプ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	三関努	”		
第11回	小松原洋生	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 カンプ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	小松原洋生	”		
第13回	三関努	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 画像データ、文字データを盛り込みレイアウトデータの制作 制作の継続・全体レイアウトへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	三関努	”		
第15回	小松原洋生	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 データの保存・プリントの仕方 MACによるレイアウトデータの制作・レイアウトの完成した人からプリントへ　次回提出物／サムネイル、コメントのポイント、レイアウト完成プリントの3種		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	小松原	”		

	洋生			
第17回	三関努	「グラフィックデザインの基本演習・雑誌カバーデザイン」 雑誌カバーデザインプリント作品及び作品データ、他提出物の提出 講評・プレゼンテーションなど。	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第18回	三関努	”	”	
第19回	小松原洋生	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 課題概要説明　ベジェ曲線演習（photoshopでの下絵の取り込み～Illustratorペンツールによる制作演習）動物園にどんな設備やサービスが必要か、そして色々な動物をモチーフに、誰でも理解できるピクトグラム（絵文字）をデザインする→アイデアスケッチ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	小松原洋生	”		
第21回	三関努	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 アイデアスケッチ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	三関努	”		
第23回	小松原洋生	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 アイデアスケッチ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	小松原洋生	”		
				予習45分：

第25回	三関努	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 手描きアイデアスケッチの中から12点を選び、イラストレーター・ペンツールを使いデータ化する　アイデアスケッチ→スキャニング→ペンツールでトレース		レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	三関努	”		
第27回	小松原洋生	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 イラストレーター・ペンツール（ベジェ曲線）を使い制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	小松原洋生	”		
第29回	三関努	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 イラストレーター・ペンツールを使い制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	三関努	”		
第31回	小松原洋生	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 イラストレーター・ペンツールを使い制作 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、計12点のデザインを提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	小松原洋生	”		
33	三	「動物園に必要なピクトグラムのデザイン」 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重	予習45分：プレゼンテーションの準備

第　回	関努	計12点のデザインとコンセプトシート、及び作品データを提出 ●次回課題の概要説明	視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	復習45分：講評内容について検証
第34回	三関努	”	”	
第35回	小松原洋生	「広告ツールデザイン」 ●新課題・テーマパークの交通広告（電車中吊りポスター）について概要説明 広告表現の発想法、コンセプトの導き出し方等についてのレクチャー、発想からサムネイルへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	小松原洋生	”		
第37回	三関努	「広告ツールデザイン」 発想からサムネイルへ　企画書、サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンプの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第38回	三関努	”		
第39回	小松原洋生	「広告ツールデザイン」 サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンプの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作→MACによるカンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	小松原洋生	”		
第41回	三関努	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：

				レクチャー内容の復習
第42回	三関努	”		
第43回	小松原洋生	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第44回	小松原洋生	”		
第45回	三関努	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第46回	三関努	”		
第47回	小松原洋生	「広告ツールデザイン」 カンプ制作の継続・作品が完成した人からプリント出力 プレゼンテーションの為の発表原稿作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第48回	小松原洋生	”		
第49回	三関努	「広告ツールデザイン」 講評会の実施。作品・コンセプトシート・作品データの提出 講評・プレゼンテーションなど ●グリーティングカードデザインの概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証

第50回	三関努	”	”	
第51回	小松原洋生	「グリーティングカードデザイン」 グリーティングカードデザインの概要説明　バースデーカード、暑中見舞い、クリスマスカードなど2種類以上のグリーティングカードを制作 テーマに沿ってデザインを考えアイデアスケッチへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	小松原洋生	”		
第53回	三関努	「グリーティングカードデザイン」 サムネイルデザインを決定 ビジュアルなど各構成要素の制作へ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	三関努	”		
第55回	小松原洋生	「グリーティングカードデザイン」 ビジュアルなど各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	小松原洋生	”		
第57回	三関努	「グリーティングカードデザイン」 ビジュアルなど各構成要素の制作 規定の仕様にて仕上げ→プリントへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第58回	三関努	”		

第59回	小松原洋生	「グリーティングカードデザイン」 仕上げ・規定の仕様にて仕上げ後、作品プリント・コンセプトシート及び作品データの提出・講評・プレゼンテーションなど。	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：講評内容について検証
第60回	小松原洋生	”	”	

教科書
無
参考書
無 必要に応じてプリントを配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10% 上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。
履修のポイント
授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行状況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。 デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持つことから始まります。街の中のサインボードやポスター、店舗に置かれたパンフレットや折込チラシ、スーパーやコンビニの新商品のパッケージ。それらの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見ること、そして、その良さを感じ取る訓練を日々の日常の中からすることが大切です。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問： 小松原：月曜日　12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室 三関：木曜日　10:50～11:00 場所：1号館３F 104教室
科目区分
専門科目

講義コード	40190004
講義名	アート・デザインI（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3101
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

ファッションの分野は洋服だけでなく帽子、鞄など現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となり、それらはブランドのコンセプトや世界観が製品のかたちに反映されている。多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得するために、ファッションの歴史、市場の動向やトレンドをふまえ自身の作品においてもブランディングを行う。
さらに、採寸を行い自身の体型にあわせた原型を基に製図や縫製の基礎技術および繊維素材や染織加工の方法に関する知識を取得し、スカート、レッグウエアを制作する。

染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの基礎を学ぶことで、身体と布との関係性を探りながらファッションとしての表現や、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

※本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウエアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が素材と被服に関する制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	寺村サチコ	初年時教育		予習 25分 身近にあるファッションアイテムにどんなものがあるか調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第2回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習-色、素材、浸染		予習 25分 繊維素材について調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第3回	石井智子	基礎縫い１（玉止め、玉結び、並縫い、ぐし縫い、本返し、半返し）		予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第4回	石井智子	同上		予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第5回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習-絞り染め		予習 45分 道具の確認、準備を行う。 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	石井智子	基礎縫い２（たてまつり、流しまつり、奥まつり、星止め）		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習-型染め、捺染、オパール加工、発泡プリント、箔プリント		予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第10回	寺村サ	同上		上記参照

	チコ			
第11回	石井智子	基礎縫い復習、スカートの素材のリサーチおよびレクチャー		予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第12回	石井智子	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	テキスタイルデザインについて知る-「繋がる模様」でファッションアイテムを染色する 1		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	製図基礎・採寸		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	テキスタイルデザインについて知る-「繋がる模様」でファッションアイテムを染色する 2		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	製図の基礎のレクチャー		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う

第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	テキスタイルデザインについて知る-「繋がる模様」でファッションアイテムを染色する 3		予習 45分 レッグウエアの市場調査を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
第23回	石井智子	製図の基礎のレクチャー		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	テキスタイルデザインについて知る-「繋がる模様」でファッションアイテムを染色する 4（講評会）	作品について学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、教員の示唆を得るとともに学生同士が意見交換を行う	予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第26回	寺村サチコ	ひとつの模様から-浸染・捺染によるテキスタイル作品の制作 1 (課題説明・デザイン)		上記参照
第27回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ	ひとつの模様から-浸染・捺染によるテキスタイル作品の制作 2		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う

第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	石井智子	同上		上記参照
第33回	寺村サチコ	ひとつの模様から-浸染・捺染によるテキスタイル作品の制作 3		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	寺村サチコ	同上		上記参照
第35回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第36回	石井智子	同上		上記参照
第37回	寺村サチコ	ひとつの模様から-浸染・捺染によるテキスタイル作品の制作 4		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	レッグウエアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	石井智子	同上		上記参照

第41回	寺村サチコ	ひとつの模様から-浸染・捺染によるテキスタイル作品の制作 5		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照
第43回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	ひとつの模様から-浸染・捺染によるテキスタイル作品の制作 6		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
第47回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	ひとつの模様から-テキスタイル作品の制作 7(仕上げ、講評会)	作品について学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、教員の示唆を得るとともに学生同士が意見交換を行う	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照
第51回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
	石			

第52回	井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習-草木染め		予習 45分 どのような草木染めがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子	スカートの制作		予習 45分 道具・材料の準備を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習-草木染め２		予習 45分 どのような草木染めがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	寺村サチコ	同上		上記参照
第59回	石井智子	バッグ・ブラウスのデザインおよび部分縫いのレクチャー		予習 45分 道具・材料の準備を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第60回	石井智子	同上		上記参照

教科書

無

参考書

文化服装学院「文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥」、文化出版局
閏間正雄「服地の基礎がわかるテキスタイル事典」、ナツメ社

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法
授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける
履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。
オフィス・アワー
寺村：月・火・水・木 9：00-17：30（112研究室） 石井：木 9：20-12：30 （105教室）
科目区分
専門科目

講義コード	40190005
講義名	アート・デザインI（及川/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3101
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	及川、新井共に「デザイン事務所」を経営し実務に従事。教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から、基礎となることを伝達する授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川 澄人	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、インテリア・空間デザイン領域での学びの導入として、学び方を知る「初年次教育」と、設計製図、透視図、模型、計測方法、などの専門の概要について学ぶ。デザイン課題では、ディスプレイ空間を題材に、人間の主観に関わるデザインに取り組む。
学びのプロセスは、まずデザインを表示するための設計製図や透視図の基礎技術を習得し、その技術を活用して、商業的空間を対象としたディスプレイデザインに取り組む。客観性ある表示を目標としながら、個性を重視した「イメージ」の表現、思考方法について体験的に学ぶ。
実在する商業施設空間を対象に、デザインのプロセスにおいて見えてくる課題を見つけ出し、その解決方法について学ぶ。状況に応じて学外の現場見学や外部講師を招いた講義などの機会をもうけている。
なお本講座は、インテリア・空間デザインに関わる「基礎知識と基礎技術」を身につけることを教育目標としている。また本講座は商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、基礎的な製図のルールの理解、透視図法の習得、建築空間に関わる基礎的な知識の習得を目指す。また、ディプロマポリシー；多様な社会のニーズと変化に対応できる実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するために、本講座ではインテリア・空間デザインの知識と技術の基礎を身につけることを目指す。

到達目標

学生は、以下の4項目を到達目標とする。
1．基礎的な製図のルールの理解
2．透視図の理解
3．建築空間に関わる基礎的な知識の習得
4．人間の主観に関わるデザインの理解

授業計画

	担			

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	及川澄人	初年次教育：インテリア・空間デザイン領域での学ぶ姿勢や学び方について解説 授業内容についてのガイダンス 空間デザインの領域と業務についての概要	<アクティブラーニング> 「日常生活における空間を対象としたデザイン」をテーマに意見交換	予習：20分 ショップやイベント会場などの周辺のインテリア・空間デザインの事例を見学しておく 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	及川澄人	製図用具についての解説 製図の練習		
第3回	新井絹世	製図の練習 インテリア計画 木造建築の構造の理解		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	新井絹世	同上		
第5回	及川澄人	製図の練習		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	及川澄人	同上		
第7回	新井絹世	製図の練習		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	新井絹世	同上		
第9回	及川澄人	製図の練習		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	及川澄	同上		

	人			
第11回	新井絹世	立体の把握 図面		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	新井絹世	同上		
第13回	及川澄人	立体の把握 模型		予習：20分 空間デザインの事例を見学しておく 復習：25分 空間デザインの事例を見学しておく
第14回	及川澄人	同上		
第15回	新井絹世	課題の説明：ディスプレイの計画 デザイニング		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	新井絹世	同上		
第17回	及川澄人	インテリア計画 実測実習	＜アクティブラーニング＞ サンプルとなる空間を設定し、グループワークで効率の良い実測をテーマに意見を出し合い実践する。	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	及川澄人	同上		
第19回	新井絹世	ディスプレイの計画 デザイニング		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	新井絹世	同上		
第21回	及川	ディスプレイの計画		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）

	澄人	デザイニング		復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	及川澄人	同上		
第23回	新井絹世	ディスプレイの計画 デザイニング		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	新井絹世	同上		
第25回	及川澄人	ディスプレイの計画 デザイニング		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	及川澄人	同上		
第27回	新井絹世	図面の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	新井絹世	同上		
第29回	及川澄人	図面の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	及川澄人	同上		
第31回	新井絹世	図面の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
	新			

第32回	井絹世	同上		
第33回	及川澄人	図面の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	及川澄人	同上		
第35回	新井絹世	完成予想図（パース画）の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第36回	新井絹世	同上		
第37回	及川澄人	完成予想図（パース画）の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	及川澄人	同上		
第39回	新井絹世	完成予想図（パース画）の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	新井絹世	同上		
第41回	及川澄人	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	及川澄人	同上		
				予習：20分

第43回	新井絹世	模型の制作		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	新井絹世	同上		
第45回	及川澄人	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	及川澄人	同上		
第47回	新井絹世	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	新井絹世	同上		
第49回	及川澄人	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	及川澄人	同上		
第51回	新井絹世	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	新井絹世	同上		
第53回	及川澄人	模型の制作		予習：20分 空間デザインの事例を見学しておく 復習：25分 空間デザインの事例を見学しておく

第54回	及川澄人	同上		
第55回	新井絹世	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	新井絹世	同上		
第57回	及川澄人	模型の制作		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	及川澄人	同上		
第59回	新井絹世及川澄人	講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	新井絹世及川澄人	同上		

教科書

無

参考書

編集委員会「新版・新しい建築製図」、学芸出版社 発行
（社）インテリア産業協会「インテリアコーディネータハンドブック総合版（上）（下）」、（社）インテリア産業協会発行

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※本授業は課題提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題ごとに授業内で講評会を開催して、学生全員がプレゼンテーションし、アクティブラーニング形式でフィードバックする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

オフィス・アワー

及川：月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131）
新井：木曜日，10:50-11:00，及川研究室（1号館131）、105教室等

科目区分

専門科目

講義コード	40200001
講義名	アート・デザインII（佐野/柳澤）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	佐野 広章	指定なし
教 員	柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、絵画・イラストレーションにおける基礎的な表現力を養いながら、平面表現と空間表現を同時に学ぶ。前半では、抽象表現を中心とした平面制作と、インスタレーションや立体表現の基礎を別曜日で学習し、素材理解・技法研究・身体性・空間構成など、多角的な造形思考を身につける。後半では、これらの学びを統合し、進級制作としてオリジナル作品の企画・制作・展示を行う。平面から空間へと表現領域を広げ、自身の表現の方向性を明確にし、創造的な制作力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーに基づき、本授業では「環境」や「コミュニケーション」の側面から人間の生活空間を多面的に理解する力を養うことを重視する。平面表現と空間表現の双方を学ぶ過程で、対象理解に基づく表現のための基礎的な知識や技能を修得し、あわせて選択した専門分野に応じた多様な表現方法を身につけることを目指す。

到達目標

○偶発性や身体性を活かした抽象表現に必要な技法と素材操作を習得し、それらを意図的に使い分けて表現できるようになる。
○抽象から具象への展開に関わる発想法とイメージ構築力を身につけ、自身のテーマに応じて表現を発展させることができるようになる。
○絵画的要素を空間や物体へ翻訳するための構成力と造形技術を習得し、平面と立体を往還しながら表現を組み立てられるようになる。
○観客の身体性や動線を踏まえた空間設計ができるようになり、素材・構造理解に基づいた立体表現を実践できるようになる。
○平面・空間で学んだ知識と技術を統合し、独自の表現として作品化するための企画力・制作力・展示力を身につけ、作品として提示できるようになる。

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時

	者			間
第1回	柳澤顕	モダンテクニックによる抽象絵画の制作		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと
第2回	柳澤顕	〃		
第3回	佐野広章	インスタレーション概論		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	〃		
第5回	柳澤顕	モダンテクニックによる抽象絵画の制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	柳澤顕	〃		
第7回	佐野広章	空間スケッチ		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	〃		
第9回	柳澤顕	ドローイングによる抽象絵画の制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	柳澤顕	〃		
第11回	佐野広章	空間スケッチ		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野広	〃		

	章			
第13回	柳澤顕	ドローイングによる抽象絵画の制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	柳澤顕	〃		
第15回	佐野広章	立体作品またはインスタレーション作品の企画		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第17回	柳澤顕	抽象表現から具象絵画への転換技術による絵画制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	柳澤顕	〃		
第19回	佐野広章	立体作品またはインスタレーション作品の試作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	〃		
第21回	柳澤顕	抽象表現から具象絵画への転換技術による絵画制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	柳澤顕	〃		
第23回	佐野広章	立体作品またはインスタレーション作品の試作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第24回	佐野広章	〃		
第25回	柳澤顕	抽象表現から具象絵画への転換技術による絵画制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	柳澤顕	〃		
第27回	佐野広章	立体作品またはインスタレーション作品の制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第29回	柳澤顕	抽象表現から具象絵画への転換技術による絵画制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	柳澤顕	〃		
第31回	佐野広章	立体作品またはインスタレーション作品の制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	佐野広章	〃		
第33回	柳澤顕	抽象表現から具象絵画への転換技術による絵画制作（作品提出）		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第34回	柳澤顕	〃		
第35回	佐野	立体作品またはインスタ		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集

	広章	レーション作品の展示		復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第36回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第37回	柳澤顕	進級制作（前提講義、アイデアスケッチ）		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	柳澤顕	〃		
第39回	佐野広章	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	佐野広章	〃		
第41回	柳澤顕	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第42回	柳澤顕	〃		
第43回	佐野広章	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第44回	佐野広章	〃		
第45回	柳澤顕	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第46回	柳澤顕	〃		

第47回	佐野広章	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第48回	佐野広章	〃		
第49回	柳澤顕	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第50回	柳澤顕	〃		
第51回	佐野広章	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第52回	佐野広章	〃		
第53回	柳澤顕	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	柳澤顕	〃		
第55回	佐野広章	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	佐野広章	〃		
第57回	柳澤顕	進級制作		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第58回	柳澤顕	〃		
第59回	佐野広章	進級制作（作品提出）		復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	佐野広章	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※課題評価は卒業制作展で開催される記念講演会および講評会の感想レポートを含む。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

課題ごとにプレゼンテーションを行い、教員が個別に講評する。制作状況に応じて指導や助言を行い、他者の作品との比較・対話を通して表現の深化を図る。

履修のポイント

アイデアの考案や情報収集は授業前に行い、授業では制作に集中できる状態を整えることを求める。授業では主体的に学習に取り組み、必要な技能の習得に努める。

オフィス・アワー

授業に関する質問：12:30～13:20
・佐野：121研究室（木曜日）
・柳澤：111研究室（月曜日）

科目区分

専門科目

講義コード	40200002
講義名	アート・デザインII（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	吉沢　正美	指定なし
教　員	門倉　貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインIを受けて、更に専門的に学んでいく。基礎技法の更なる修得及びマンガ制作の核とも言えるネーム作業のノウハウについて学び、プロットの立て方、ストーリー展開、ページ割り、コマ割りについて等様々なスキルを身につけていくこと、またはCGイラスト制作のための基本的な技術を学び修得することを教育目標とする。
共通テーマによる制作を通して個人の感性の違いについても理解を深める。
※シラバスの内容・実施順については状況により変更する場合がある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品・CGイラストを、やがてはプロとして活躍の場を持つことも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下を到達目標とする。
・基礎技法修得。
・キャラクターやストーリーについての理解。
・ネーム作業のノウハウの理解。
・与えられたテーマによるストーリー作品のクオリティーアップ。
・CGイラストの基礎技法習得。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習：90分　細密画

第1回	細密画（CGまたはアナログ）		（CGまたはアナログ）準備
第2回	細密画（CGまたはアナログ）		復習：90分　細密画（CGまたはアナログ）制作
第3回	細密画（CGまたはアナログ）		予習：90分　細密画（CGまたはアナログ）制作
第4回	細密画（CGまたはアナログ）		復習：90分　細密画（CGまたはアナログ）制作
第5回	細密画（CGまたはアナログ）		予習：90分　細密画（CGまたはアナログ）制作
第6回	細密画（CGまたはアナログ）		復習：90分　細密画（CGまたはアナログ）制作
第7回	細密画（CGまたはアナログ）		予習：90分　細密画（CGまたはアナログ）制作
第8回	細密画（CGまたはアナログ）／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分　細密画（CGまたはアナログ）振り返り
第9回	テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）準備
第10回	テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第11回	テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第12回	テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第13回	テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第14回	テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作

第15回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第16回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第17回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第18回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第19回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第20回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第21回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第22回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第23回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第24回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第25回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナ

			ログ）制作
第26回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第27回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）制作
第28回	テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分　テーマによる５ページ漫画 あるいはテーマによるイラスト２枚（CGまたはアナログ）振り返り
第29回	１０ページ以上のオリジナル漫画／プロット あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）準備
第30回	１０ページ以上のオリジナル漫画／プロット あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第31回	１０ページ以上のオリジナル漫画／プロット あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第32回	１０ページ以上のオリジナル漫画／プロット あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第33回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第34回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第35回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第36回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラス		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラ

	ト５枚（CGまたはアナログ）		スト５枚（CGまたはアナログ）制作
第37回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第38回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第39回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第40回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第41回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第42回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第43回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第44回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第45回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第46回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作

第47回	オリジナル１２ページマンガ／下描き またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚		予習：90分　オリジナル１２ページマンガ制作 またはカラーＣＧイラスト６枚とモノクロＣＧイラスト６枚制作
第48回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第49回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第50回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第51回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第52回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第53回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第54回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第55回	１０ページ以上のオリジナル漫画／仕上げ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第56回	１０ページ以上のオリジナル漫画／仕上げ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第57回	１０ページ以上のオリジナル漫画／仕上げ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナ

			ログ）制作
第58回	１０ページ以上のオリジナル漫画／仕上げ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第59回	１０ページ以上のオリジナル漫画／仕上げ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第60回	１０ページ以上のオリジナル漫画／完成・提出・講評 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）振り返り

教科書
無
参考書
無（必要に応じて資料配布）
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上　課題提出80%　授業参加度20% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。 必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。
オフィス・アワー
月曜日 10:50-11:00　１号館103教室（門倉）　木曜日 10:50-11:00　１号館103教室（吉沢）
科目区分
専門科目

講義コード	40200003
講義名	アート・デザインII（小松原/三関/野村）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	小松原　洋生	指定なし
教員	野村　亜希	指定なし
教　員	三関　努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインII(G)では、アート・デザインI(G)に続き、更に実践的技術と専門的知識を身につけるべく授業展開を図る。特に各ジャンル別のプレゼンテーションテクニック、DTP入稿の為の知識と技術を養い、実際のデザインの現場をシュミレーションすることで、プロへの意識を感じ取り、更にはグラフィックデザイナーとしての領域での実践力を身につける。

デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取らせたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエーターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：小松原　　木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：

本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を更に深める。
◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に美しく表現できるようになる。更に応用力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのため

				に必要な時間
第1回	三関努	ｾｰﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ(SP)デザイン パッケージデザイン[1] 広告とセールスプロモーション及びパッケージデザインに関するレクチャー。 パッケージデザインの概要説明 スナック菓子の新パッケージデザインを考える。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：配布資料の見直し
第2回	三関努	〃		
第3回	小松原洋生	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[2] 発想からサムネイルへ。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	小松原洋生	〃		
第5回	三関努	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[3] サムネイルから構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	三関努	〃		
第7回	小松原洋生	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[4] 構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	小松原	〃		

	洋生			
第9回	三関努	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[5] MACによるカンプ制作の継続。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	三関努	〃		
第11回	小松原洋生	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[6] MACによるカンプ制作の継続。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	小松原洋生	〃		
第13回	三関努	SPデザインPart-1 パッケージデザイン[7] 仕上げ・デザインを厚紙にプリント出力し、パッケージを立体に仕上げる。 ●パッケージデザインをした新製品のポスター等制作プロセスの概要説明。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	三関努	〃		
第15回	小松原洋生	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[1] 先に制作したパッケージをもとに、新発売のポスター及びアイキャッチャーとしてのスイングPOPを考え、デザインする。ポスターでのパッケージの表現方法、POP配置等を含めサムネイルを考える。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	小松原洋生	〃		
				予習45分：

第17回	三関努	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[2] サムネイルからビジュアルなど各構成要素の制作。		レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	三関努	〃		
第19回	小松原洋生	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[3] サムネイルからビジュアルなど各構成要素の制作。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	小松原洋生	〃		
第21回	三関努	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[4] カンプ制作。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	三関努	〃		
第23回	小松原洋生	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[5] カンプ制作。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	小松原洋生	〃		
25	三	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[6]		予習45分：レクチャー内容の予習

第　回	関努	カンプ制作。		復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	三関努	〃		
第27回	小松原洋生	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[7] カンプ制作の継続・仕上げ　ポスター＋POPのプリント。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	小松原洋生	〃		
第29回	三関努	SPデザインPart-2 ポスター＆POPデザイン[8] 作品提出（プリント+作品データ）・プレゼンテーション・講評 ●次の新課題の概要説明 ●次の新課題 化粧品雑誌広告についての概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第30回	三関努	〃		
第31回	小松原洋生	公共広告デザイン[1] 中吊りワイド広告をデザインする。●広告レクチャー　●交通広告の特長について 発想～テーマを決め、表現コンセプトを明確にしてから、アイデアスケッチ～サムネイル制作～カンプ制作へ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	小松原洋生	〃		
第33回	三関努	公共広告デザイン[2] 発想～テーマを決め、表現コンセプトを明確にしてから、アイデアスケッチ～サムネイル制作～カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：

				レクチャー内容の復習
第34回	三関努	〃		
第35回	小松原洋生	公共広告デザイン[3] MACによるカンプ制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	小松原洋生	〃		
第37回	三関努	公共広告デザイン[4] MACによるカンプ制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第38回	三関努	〃		
第39回	小松原洋生	公共広告デザイン[5] カンプ制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	小松原洋生	〃		
第41回	三関努	公共広告デザイン[6] 制作の継続		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第42回	三関努	〃		
第43回	小松原洋生	公共広告デザイン[7] 作品提出（プリント+作品データ）・プレゼンテーション・講評 ●次の新課題の概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第44回	小松原洋生	〃	〃	
第45回	三関努	広告ツールデザイン[1] 詳細説明 発想～テーマを決め、表現コンセプトを明確にしてから、アイデアスケッチ～サムネイル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第46回	三関努	〃		
第47回	小松原洋生	広告ツールデザイン[2] 発想～テーマを決め、表現コンセプトを明確にしてから、アイデアスケッチ～サムネイル制作～カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第48回	小松原洋生	〃		
第49回	三関努	広告ツールデザイン[3] サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第50回	三関努	〃		

第51回	小松原洋生	広告ツールデザイン[4] 制作に入る。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	小松原洋生	〃		
第53回	三関努	広告ツールデザイン[5] 制作の継続。表現コンセプトに基づき、ビジュアル、キャッチコピー、ボディコピーなど構成要素を制作する。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	三関努	〃		
第55回	小松原洋生	広告ツールデザイン[6] 制作の継続　構成要素の制作からレイアウトデザインへ。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	小松原洋生	〃		
第57回	三関努	広告ツールデザイン[7] 制作の継続　レイアウトデザインの仕上げ～プリント。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第58回	三関努	〃		
			自身の作品をプレゼンテーシ	予習45分：プレゼン

第59回	小松原洋生	広告ツールデザイン[8] 作品提出（プリント+作品データ）・プレゼンテーション・講評 学生による授業評価	ョンする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	テーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	小松原洋生	〃	〃	
第61回				

教科書

無

参考書

無
必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行業況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。
※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。
デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持ってください。それらメディアの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練を。また、ポートフォリオ（作品集）のため、これまでの課題作品のブラッシュアップと作品制作を始めてください。ポートフォリオのクオリティが就活を有利に導く重要な条件となります。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：
小松原：月曜日　12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室
三関：木曜日　10:50～11:00 場所：1号館３F 104教室

科目区分

専門科目

講義コード	40200004
講義名	アート・デザインII（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

ファッションの分野は洋服だけでなく小物や雑貨など現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となり、それらはブランドのコンセプトや世界観が製品のかたちに反映されている。多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得するために、ファッションの歴史、市場の動向やトレンドをふまえ自身の作品においてもブランディングを行う。
さらに、採寸を行い自身の体型にあわせた原型を基に製図や縫製の基礎技術および繊維素材や染織加工の方法、トレンドカラーに関する知識を取得し、ブラウス、ヘッドピース、などのテキスタイルアイテムを制作する。
染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの基礎を学ぶことで、身体と布との関係性を探りながらファッションとしての表現や、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

原則として月曜→寺村、木曜→石井、で行うが、内容に応じて変更する場合もあります。
※本授業は作品の提出及びまとめたノート等により成績評価を行い、定期試験は実施いたしません。

本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウエアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得し、ファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が素材と被服に関する制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	石井智子	ブラウスの制作		上記参照予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第2回	石井智子	同上		上記参照
第3回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習-転写プリント		予習 45分 転写プリントとは何か・どういうものに使われているのかを調べておく 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第4回	寺村サチコ	同上		上記参照
第5回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第6回	石井智子	同上		上記参照
第7回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-色について学ぶ・ドローイングを行う	ドローイングを行ったものを学生同士で見せ合い意見交換を行う	予習 45分 ドローイングについて調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照
第9回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第10回	石井智子	同上		上記参照

第11回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-ドローイングを転する・デザインする		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第12回	寺村サチコ	同上		上記参照
第13回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第14回	石井智子	同上		上記参照
第15回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-デザイン		予習 45分 作品のデザイン案をラフスケッチしておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	寺村サチコ	同上		上記参照
第17回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第18回	石井智子	同上		上記参照
第19回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-デザイン		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第20回	寺村サチコ	同上		上記参照
第21回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う

第22回	石井智子	同上		上記参照
第23回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-プリント		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	寺村サチコ	同上		上記参照
第25回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第26回	石井智子	同上		上記参照
第27回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-プリント2		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第28回	寺村サチコ	同上		上記参照
第29回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第30回	石井智子	同上		上記参照
第31回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-縫製・仕上げ		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	寺村サチコ	織技法の演習-糸の染色		上記参照
	石井			予習 45分 材料の準備を行う

第33回	智子	ブラウスの制作		復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	石井智子	同上		上記参照
第35回	寺村サチコ	距離と印象-転写プリントを用いた作品制作-講評会	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第36回	寺村サチコ	織技法の演習-糸巻き、織技法のレクチャー		上記参照
第37回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	石井智子	同上		上記参照
第39回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドアートの制作 1		予習 45分 ヘッドアートとは何か調べ、アイデアスケッチを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	寺村サチコ	同上		上記参照
第41回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第42回	石井智子	同上		上記参照
第43回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドアートの制作 2		予習 45分 デザインを精査する 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
	寺村			

第44回	サチコ	同上		上記参照
第45回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	石井智子	同上		上記参照
第47回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドアートの制作 3		予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行い、材料を準備する 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	寺村サチコ	同上		上記参照
第49回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	石井智子	同上		上記参照
第51回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドアートの制作４		予習 45分 材料を準備し、できる作業は進めておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第52回	寺村サチコ	同上		上記参照
第53回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第54回	石井智子	同上		上記参照
	寺村			予習 45分 材料を準備し、できる作業は進めて

第55回	サチコ	織技法を用いたヘッドアートの制作５		おく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第56回	寺村サチコ	同上		上記参照
第57回	石井智子	ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	石井智子	同上		上記参照
第59回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドアートの制作6（仕上げ・講評会）	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第60回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照

教科書

無

参考書

文化服装学院「文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥」、文化出版局
閏間正雄「服地の基本がわかるテキスタイル事典」、ナツメ社

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※課題評価は卒業制作展で開催される記念講演会および講評会の感想レポートを含む。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 9：00-17：30（112研究室）
石井：木 9：20-16：30（105教室）

科目区分

専門科目

講義コード	40200005
講義名	アート・デザインII（及川/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3201
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	及川、新井共に「デザイン事務所」を経営し実務に従事。教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から、基礎となることを伝達する授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川　澄人	指定なし
教　員	新井　絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

　インテリア・空間デザインの領域では、パーソナルなインテリア空間から社会を包括する都市空間まで、人々が関わる様々な空間を対象としている。本講座では、まず表示技術としての「スケッチソフト」を習得してデザイン課題に取り組む技術を習得する。デザイン課題の前半では「住まい」を題材に「思いをかたちにする力（主観的なイメージを客観化させる力）」、後半では「店舗」を題材に「かたちで第三者を共感させる力（共感性あるデザインを創出する力）」を養う。課題の対象を「自分」から「第三者」とし、床面積も大きくなり、販売という目的の増加など、徐々に与件が増していく課題設定で段階的な学びを得る。両課題では、与件に基づいて企画、計画、デザインをおこない、プレゼンテーションではパワーポイントにまとめ発表する。いわゆる社会での業務フローに沿ったプロセスを体験する。また、本領域に関わる安全や法規、経営にも触れ、実践的な空間デザインに向けた応用力を養っていく。

　本講座の教育目標は「共感性ある空間デザインを創出する力を身につけ、実践的な空間デザインに向けた応用力を育むこと」である。なお状況に応じて学外の現場見学や外部講師を招いた講義の機会をもうける。本講座は商業施設士（補）資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

　本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、調査からキーワードを抽出したイメージ表現と、機能や要求を考慮した共感性あるデザインに取り組む。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、本講座では「共感性ある空間デザインを創出する力」を身につけることを目指す。

到達目標

学生は、以下の4項目を到達目標とする。
1．スケッチソフト（SketchUp）の習得
2．調査からキーワードを抽出したイメージ表現力の習得
3．機能や要求を考慮した共感性あるデザイン力の習得
4．経営的な感覚の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	及川澄人	課題の説明 スケッチソフトの概念	＜アクティブラーニング＞ スケッチソフト使用の意義をテーマに意見交換する	予習：20分 スケッチアップについて調べておくこと 復習：25分 スケッチアップの使い方を覚える
第2回	及川澄人	マイルームの計画 デザイン	＜アクティブラーニング＞ 思いをかたちにするデザインをテーマに意見交換する	
第3回	新井絹世	マイルームの計画 躯体ホワイト模型の制作		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	新井絹世	同上		
第5回	及川澄人	マイルームの計画 躯体ホワイト模型の制作		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	及川澄人	同上		
第7回	新井絹世	マイルームの計画 躯体ホワイト模型の制作		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	新井絹世	同上		
第9回	及川澄人	マイルームの計画 躯体ホワイト模型の制作		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	及川澄人	同上		
第11回	新井絹世	マイルームの計画 躯体ホワイト模型の制作		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作

				はコンペ等も含む）
第12回	新井絹世	同上		
第13回	及川澄人	マイルームの計画デザイン	＜アクティブラーニング＞ 思いをかたちにするデザインをテーマに意見交換する	予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	及川澄人	同上		
第15回	新井絹世	マイルームの計画デザイン		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	新井絹世	同上		
第17回	及川澄人	マイルームの計画デザイン		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	及川澄人	同上		
第19回	新井絹世	マイルームの計画デザイン		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	新井絹世	同上		
第21回	及川澄人	マイルームの計画デザイン		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	及川澄人	同上		
第23回	新井絹世	マイルームの計画デザイン		予習：20分 スケッチアップの使い方を覚える 復習：25分 制作をすすめる（制作

				はコンペ等も含む）
第24回	新井絹世	同上		
第25回	及川澄人	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	及川澄人	同上		
第27回	新井絹世	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	新井絹世	同上		
第29回	及川澄人	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	及川澄人	同上		
第31回	新井絹世	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	新井絹世	同上		
第33回	及川澄人	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	及川澄人	同上		
第35回	新井絹世	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作

				はコンペ等も含む）
第36回	新井絹世	同上		
第37回	及川澄人	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	及川澄人	同上		
第39回	新井絹世	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	新井絹世	同上		
第41回	及川澄人	スケッチアップソフトを使った図面表現		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	及川澄人	同上		
第43回	新井絹世	スケッチアップソフトを使った図面表現		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	新井絹世	同上		
第45回	及川澄人	パワーポイントを使った企画書の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	及川澄人	同上		
第47回	新井絹世	パワーポイントを使った企画書の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作

				はコンペ等も含む）
第48回	新井絹世	同上		
第49回	及川澄人	プレゼンテーション 講評会	〈アクティブラーニング〉 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	及川澄人	同上		
第51回	新井絹世	ショップデザインの計画 デザイン	＜アクティブラーニング＞ 興味のあるデザインについて意見交換する	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	新井絹世	同上		
第53回	及川澄人	ショップデザインの計画 デザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第54回	及川澄人	同上		
第55回	新井絹世	ショップデザインの計画 デザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	新井絹世	同上		
第57回	及川澄人	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	及川澄人	同上		
第59回	新井絹世 及川	スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作

	澄人			はコンペ等も含む）
第60回	新井絹世 及川澄人	同上		

教科書
無
参考書
編集委員会「新版・新しい建築製図」、学芸出版社 発行 （社）インテリア産業協会「インテリアコーディネータハンドブック総合版（上）（下）」、 （社）インテリア産業協会発行
成績評価の方法・基準
単位認定基準: 60点以上 成績評価内訳: 課題評価:80%　授業への取り組み:20% ※課題評価は卒業制作展で開催される記念講演会および講評会の感想レポートを含む。 ※本授業は課題提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。
履修のポイント
欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。
オフィス・アワー
及川：月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131） 新井：木曜日，10:50-11:00，及川研究室（1号館131）、105教室等
科目区分
専門科目

講義コード	40210001
講義名	アート・デザインIII（柳澤/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3301
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	柳澤 顕	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、過去の美術作品を参照しながら、文化的・歴史的背景や美術史上の位置付けを理解し、作品分析力と独自の表現力を育成する。影響を受けた作家・作品の調査を通して、自身の表現の源泉を言語化し、参照・模倣・再構成といった多様な方法を用いて制作を行う。参照による学習を通じて知識を深化させ、独自の視点とオリジナリティを獲得することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーに基づき、「環境」や「コミュニケーション」の側面から人間の生活空間を多面的に理解する姿勢を養うとともに、対象理解に基づく表現のための知識や技能を修得することを重視する。また、参照・分析・再構成の学習過程を通して、選択した専門分野に応じた多様な表現方法を身につけることを目指す。

到達目標

○過去の美術作品の文化的・歴史的背景を理解するための基礎知識を身につける。
○影響を受けた作家・作品を分析し、自身の表現の源泉を言語化できる調査・分析力を身につける。
○コピー、サンプリング、オマージュなど、参照に基づく多様な表現技法を使い分けられるようになる。
○参照した要素を再構成し、独自の視点をもった作品へ発展させる創造的思考を身につける。
○研究・制作・発表を通して、作品意図を明確に伝えるための言語化能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柳澤顕	作家・作品研究（前提講義）		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこ

				と
第2回	柳澤顕	〃		
第3回	佐野広章	作家・作品研究（調査、資料の作成）		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	〃		
第5回	柳澤顕	作家・作品研究（調査、資料の作成）		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	柳澤顕	〃		
第7回	佐野広章	作家・作品研究（調査、資料の作成）		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	〃		
第9回	柳澤顕	作家・作品研究（調査、資料の作成）		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	柳澤顕	〃		
第11回	佐野広章	作家・作品研究（プレゼンテーション）	制作した資料をプレゼンテーションし意見交換する。（アクティブラーニング）	予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野広章	〃		
		参照絵画・イラストレーションの制作（前提講義、エスキー		予習20分：実習内

第13回	柳澤顕	ス） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	柳澤顕	〃		
第15回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（エスキース） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	〃		
第17回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（エスキース） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	柳澤顕	〃		
第19回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（エスキース） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	〃		
第21回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（エスキース） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	柳澤顕	〃		
第23回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（エスキース） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
	佐野			

第24回	広章	〃		
第25回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（エスキース） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	柳澤顕	〃		
第27回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（プレゼンテーション） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する。（アクティブラーニング）	予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃		
第29回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	柳澤顕	〃		
第31回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	佐野広章	〃		
第33回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第34回	柳澤顕	〃		
第35回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配

		いた表現		布資料の確認
第36回	佐野広章	〃		
第37回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	柳澤顕	〃		
第39回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	佐野広章	〃		
第41回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第42回	柳澤顕	〃		
第43回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第44回	佐野広章	〃		
第45回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第46回	柳澤顕	〃		
	佐	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作）		予習20分：実習内容に関連する情報

第47回	野広章	「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第48回	佐野広章	〃		
第49回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第50回	柳澤顕	〃		
第51回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第52回	佐野広章	〃		
第53回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	柳澤顕	〃		
第55回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	佐野広章	〃		
第57回	柳澤顕	参照絵画・イラストレーションの制作（実制作） 「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第58回	柳澤	〃		

	顕			
第59回	佐野広章	参照絵画・イラストレーションの制作（プレゼンテーション）「コピー」「サンプリング」「オマージュ」「パロディ」「パスティーシュ」の技法を用いた表現	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する。（アクティブラーニング）	復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	佐野広章	〃	〃	

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題ごとにプレゼンテーションを行い、教員が個別に講評を行う。各自の制作状況に応じて指導・助言・意見交換を適宜行い、表現の深化を図る。これらの活動を通して、主体的な学びを促すアクティブラーニングを実践する。

履修のポイント

授業準備として、美術館やギャラリー、図書館などで現地調査を行い、多様な作品や資料に触れることで、イラストレーションと絵画表現に関する知識を広げることを求める。

オフィス・アワー

授業に関する質問：12:30～13:20
・佐野：121研究室（木曜日）
・柳澤：111研究室（月曜日）

科目区分

専門科目

講義コード	40210002
講義名	アート・デザインIII（吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3301
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	吉沢　正美	指定なし
教　員	門倉　貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインIIを受けて、更に専門的に学んでいくことを教育目標としている。短編作品の構成・画面効果等について学習しながら、またCGイラスト制作技術を修得しながら、オリジナル作品の制作を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品・CGイラストを、やがてはプロとして活躍の場を持つことも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下に到達目標を記す。
・基礎技法修得の確認。
・様々な描法の確認。
・ネーム作業のノウハウの修得。
・様々なCGイラスト技術の修得。
・オリジナルストーリー作品、オリジナルCGイラストのクオリティーアップ。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	エッセイ漫画／プロット		予習：90分　エッセイ漫画準備
第2回	エッセイ漫画／プロット		復習：90分　エッセイ漫画制作

第3回	エッセイ漫画／ネーム		予習：90分　エッセイ漫画制作
第4回	エッセイ漫画／ネーム		復習：90分　エッセイ漫画制作
第5回	エッセイ漫画／ネーム		予習：90分　エッセイ漫画制作
第6回	エッセイ漫画／ネーム		復習：90分　エッセイ漫画制作
第7回	エッセイ漫画／下描き		予習：90分　エッセイ漫画制作
第8回	エッセイ漫画／下描き		復習：90分　エッセイ漫画制作
第9回	エッセイ漫画／下描き		予習：90分　エッセイ漫画制作
第10回	エッセイ漫画／下描き		復習：90分　エッセイ漫画制作
第11回	エッセイ漫画／ペン入れ		予習：90分　エッセイ漫画制作
第12回	エッセイ漫画／ペン入れ		復習：90分　エッセイ漫画制作
第13回	エッセイ漫画／ペン入れ・トーンワーク		予習：90分　エッセイ漫画制作
第14回	エッセイ漫画／ペン入れ・トーンワーク		復習：90分　エッセイ漫画制作
第15回	エッセイ漫画／ペン入れ・トーンワーク		予習：90分　エッセイ漫画制作
第16回	エッセイ漫画／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分　エッセイ漫画振り返り
第17回	縦スクロール漫画についての講義		予習：90分　縦スクロール漫画についての講義
第18回	縦スクロール漫画についての講義		復習：90分　縦スクロール漫画についての講義
第19回	１０ページ以上のオリジナル漫画／発想・プロット あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第20回	１０ページ以上のオリジナル漫画／発想・プロット あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第21回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第22回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラス CG		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナ

	ト５枚（　またはアナログ）		ログ）制作
第23回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第24回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第25回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第26回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第27回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第28回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネーム制作 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第29回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第30回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第31回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第32回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第33回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラ

	あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		スト５枚（CGまたはアナログ）制作
第34回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第35回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第36回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ネームチェック あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第37回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第38回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第39回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第40回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第41回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第42回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第43回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
	１０ページ以上のオリジナル		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画

第44回	漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第45回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第46回	１０ページ以上のオリジナル漫画／下描き あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第47回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第48回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第49回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第50回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第51回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第52回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第53回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第54回	１０ページ以上のオリジナル漫画／ペン入れ あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
			90

第55回	１０ページ以上のオリジナル漫画／トーンワーク あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：　分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第56回	１０ページ以上のオリジナル漫画／トーンワーク あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第57回	１０ページ以上のオリジナル漫画／トーンワーク あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第58回	１０ページ以上のオリジナル漫画／トーンワーク あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第59回	１０ページ以上のオリジナル漫画／トーンワーク あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）		予習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）制作
第60回	１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分　１０ページ以上のオリジナル漫画 あるいはテーマによるイラスト５枚（CGまたはアナログ）振り返り

教科書

無

参考書

無（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上　課題提出80%　授業参加度20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。
必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日　14:50-15:00　１号館103教室（門倉）　木曜日14:50-15:00　１号館103教室（吉沢）

科目区分

専門科目

講義コード	40210003
講義名	アート・デザインIII（小松原/三関/野村）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3301
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	小松原　洋生	指定なし
教員	野村　亜希	指定なし
教　員	三関　努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインIII(G)では、グラフィックデザインの今日における重要性にスポットを当てながら、視覚を媒体として情報を伝えるグラフィックデザインの可能性、視覚表現のコミュニケーションという視点をもとに、サインやロゴ、印刷メディア含む映像メディアなどの幅広いスタンスでの理解を深めるとともに、時代が必要とするグラフィックデザインの領域、特に広告メディアにとっての大きな要素であるコンセプトの発想や各構成要素の表現などについても幅広く学んでいく。

マーケティング戦略的スタンス～広告表現コンセプト～キャッチフレーズ・ビジュアルなど表現アイデアの幅広い視点からの発想法を身につけ、制作の為の一連のプロセスを理解し、自分のものとして実践できること、またグラフィックデザイン業界に向けてのスキルと理解をより深めることで、デザインの現場がより現実的な視野となり、グラフィックデザイン業界に進む学生にとって、その自信と力を育成する。

担当教員／月曜日：小松原　　木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：

本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。

◆業界グラフィックデザインの現場で難易度が高く、かつ大切な要素を授業テーマとした。理解することで現場での大きな自信に繋げる。

◆DTPソフトの操作テクニックを更に習得していくことで、グラフィックデザインの表現領域を広め、スキルを深める。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	三関努	Branding Design[1] Branding Design新課題について概要説明 各自テーマ（モチーフとなる企業や店舗）の決定→シンボルマーク・ロゴタイプのデザインを考える→シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークのアイデアスケッチ。Basic Designの基本要素へ		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：配布資料の見直し。
第2回	三関努	〃		
第3回	小松原洋生	Branding Design[2] Branding Designの基本レクチャー　シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークのアイデアスケッチ→Basic Design基本要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	小松原洋生	〃		
第5回	三関努	Branding Design[3] ベーシックデザイン（シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマーク）の制作 オリジナル及びフォントからのアレンジ等数点起こす→担当講師への確認→シンボルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークの決定		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	三関努	〃		
第7回	小松原洋生	Branding Design[4] ブランドマークの決定→コーポレートカラーの設定 （DICCOLOR＋CMYK+RGB）→ベーシックデザインの完成→アプリケーション		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：

		の制作へ　Mock Upの使い方等の指導		レクチャー内容の復習
第8回	小松原洋生	〃		
第9回	三関努	Branding Design[5] アプリケーションの制作内容は必要と思われるものを自由にチョイス　※なお、アプリケーションの一つとして、営業案内用A4両面三つ折りパンフレット（巻き三つ折り）を制作します。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	三関努	〃		
第11回	小松原洋生	Branding Design[6] アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	小松原洋生	〃		
第13回	三関努	Branding Design[7] アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	三関努	〃		
第15回	小松原洋生	Branding Design[8] アプリケーションの制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第16回	小松原洋生	〃		
第17回	三関努	Branding Design[9] SPツール・三つ折りパンフデザイン Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作 アプリケーションとしてプレゼンボードに加える。三つ折りパンフレット台紙制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	三関努	〃		
第19回	小松原洋生	Branding Design[10] SPツール・三つ折りパンフデザイン Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	小松原洋生	〃		
第21回	三関努	Branding Design[11] SPツール・三つ折りパンフデザイン Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	三関努	〃		
第23回	小松原洋生	Branding Design[12] アプリケーションの制作・仕上げ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	小松原洋生	〃		

第25回	三関努	Branding Design[13] アプリケーションの制作・仕上げ→A2版変形サイズへのレイアウトデザイン（プレゼンボードの作成）		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	三関努	〃		
第27回	小松原洋生	Branding Design[14] 作品提出（プリント+作品データ）・プレゼンテーション・講評 ●次の新課題　新聞広告デザインについての概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第28回	小松原洋生	〃	”	
第29回	三関努	新聞広告デザイン[1] ●新聞広告レクチャー新聞全10段・カラー広告デザインの概要説明 発想～サムネイル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	三関努	〃		
第31回	小松原洋生	新聞広告デザイン[2] 発想～サムネイル制作（担当講師に確認後）～カンプ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う 各構成要素の制作（ビジュアルの制作及びコピーライティング）		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	小松原洋生	〃		
				予習45分：レクチャ

第33回	三関努	新聞広告デザイン[3] 各構成要素の制作		一内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第34回	三関努	〃		
第35回	小松原洋生	新聞広告デザイン[4] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	小松原洋生	〃		
第37回	三関努	新聞広告デザイン[5] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第38回	三関努	〃		
第39回	小松原洋生	新聞広告デザイン[6] 各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	小松原洋生	〃		
第41回	三関	新聞広告デザイン[7] 全体レイアウト・仕上げ・プリント		予習45分：レクチャー内容の予習 復

	努			習45分：レクチャー内容の復習
第42回	三関努	〃		
第43回	小松原洋生	新聞広告デザイン[8] 作品提出（プリント+作品データ))・プレゼンテーション・講評 ●次の新課題　ブックデザインについての概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第44回	小松原洋生	〃	”	
第45回	三関努	Book Design[1] ●新課題 エディトリアルデザイン（ブックデザイン）についての概要説明 各自自由に本のテーマを決める。サイズの見本となる本を用意する。発想～サムネイル～ビジュアル・タイトルなど各構成要素についてアイデアを考える		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第46回	三関努	〃		
第47回	小松原洋生	Book Design[2] サムネイル～ビジュアル・タイトルなど各構成要素についてアイデアを考える		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第48回	小松原洋生	〃		
第49回	三関努	Book Design[3] 制作の継続 展開台紙（折りトンボ等）制作オペレーション・レクチャー→カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャ

				一内容の復習
第50回	三関努	〃		
第51回	小松原洋生	Book Design[4] カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	小松原洋生	〃		
第53回	三関努	Book Design[5] カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	三関努	〃		
第55回	小松原洋生	Book Design[6] カンプ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	小松原洋生	〃		
第57回	三関努	Book Design[7] 制作の継続・レイアウト仕上げ、及びカバー+帯をプリントしたものを実際に本に巻く。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
	三			

第58回	関努	〃		
第59回	小松原洋生	Book Design[8] 作品提出（プリント+作品データ）・プレゼンテーション・講評・学生による授業評価	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する場合もある。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	小松原洋生	〃	”	

教科書
無
参考書
無 必要に応じてプリントを配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10% 上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。
履修のポイント
実際のデザイン制作現場での応用的扱い方の習得も含めて授業を展開。幅広い視点での発想法や発想したデザインを、自在に制作できるよう指導していきます。その為にも、デザイン、DTP関連の資料にも積極的に目を通し、作品制作の方法論と実戦感覚を養う努力をすること。 デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常から積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練をしていきましょう。また、積極的にポートフォリオ（作品集）の制作を進め、早い時期から担当講師に相談し、助言を受けながらクオリティの高いポートフォリオ完成させましょう。ポートフォリオはデザイン業界では就活には欠かせない条件です。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問： 小松原：月曜日　12:30～13:20 場所：1号間2F124研究室 三関：木曜日　14:50～15:00 場所：1号館3F104教室
科目区分
専門科目

講義コード	40210004
講義名	アート・デザインIII（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3301
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインIIIでは、ワンピースまたはパンツの制作、デジタルテキスタイルによる制作、織技法によるアイテム制作によりアート・デザインI、IIで習得した基礎技術および繊維素材や染織加工について、さらに知識を深める。一枚の布がもつ可能性や体と布との関係性をさらに追及し、ファッションとしての表現やファッションに関する現場でのトータルな提案を行うことができる能力を養う。

※原則は、月曜→寺村 木曜→石井で行いますが内容に応じて変更する場合もあります
本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウエアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生がアート・デザインI、IIをふまえ、被服や繊維加工、染織の技法を応用した表現ができるようになる。
また、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法をわかりやすく明確に第三者に伝えることができるようになる。

授業計画

	担当	授業内容と方	アクティブラーニングの内容	予習・復習と

	者	法、課題		そのために必要な時間
第1回	寺村サチコ	テクスチャを知る・テクスチャの観察	集めたテクスチャについて学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、教員の示唆を得るとともに学生同士が意見交換を行う	予習：４５分 身近なテクスチャについてリサーチしておく 復習：４５分 作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第2回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照
第3回	石井智子	ワンピースまたはパンツのデザイン		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第4回	石井智子	同上		上記参照
第5回	寺村サチコ	織機による織技法のレクチャー		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	石井智子	ワンピースまたはパンツの4分の一作図		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	織機による織技法のレクチャー-糸の制作		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第10回	寺村サチコ	同上		上記参照
第11回	石井智	ワンピースまたはパンツの実物作図		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準

	子			備を行う
第12回	石井智子	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	装飾する-織技法によるテキスタイル作品の制作 1		予習：４５分 作品制作の計画を立てる 復習：４５分 制作をすすめる
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（仮縫い）		予習：４５分 道具の準備 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	装飾する-織技法によるテキスタイル作品の制作 2		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（試着 補正）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	装飾する-織技法によるテキスタイル作品の制作 3		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
	石			予習：４５分 道具の準備

第23回	井智子	ワンピースまたはパンツの制作（裁断 芯貼り）		復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	装飾する-織技法によるテキスタイル作品の制作 4		予習：４５分 織技法についてのリサーチ 復習：４５分作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第26回		同上		上記参照
第27回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ	装飾する-織技法によるテキスタイル作品の制作 5		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第32回	石井智子	同上		上記参照
第33回	寺村サチコ	装飾する-織技法によるテキスタイル作品の制作 6(講評会)	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	予習：４５分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：４５分 講評会で気づいたことのフィードバック
第34回	寺村サチコ	デジタルプリントによる作品制作 課題説明		上記参照
35	石井	ワンピースまた		予習：４５分 制作をすすめる

第　回	智子	はパンツの制作（本縫い）		復習：４５分 制作をすすめる
第36回	石井智子	同上		上記参照
第37回	寺村サチコ	色の対比-デジタルプリントによる作品制作 1		予習：４５分 作品制作の計画を立てる 復習：４５分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第40回	石井智子	同上		上記参照
第41回	寺村サチコ	色の対比-デジタルプリントによる作品制作 2		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照
第43回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	色の対比-デジタルプリントによる作品制作 3		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
	石	ワンピースまた		予習：４５分 制作をすすめる

第47回	井智子	はパンツの制作（本縫い）		復習：４５分 制作をすすめる
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	色の対比-デジタルプリントによる作品制作 4		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第50回	寺村サチコ	同上		上記参照
第51回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（本縫い）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第52回	石井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチコ	色の対比-デジタルプリントによる作品制作 5		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（仕上げ）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	色の対比-デジタルプリントによる作品制作 6 (講評会)	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	予習：４５分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：４５分 講評会で気づいたことのフィードバック
第58回	寺村サチ	同上	同上	上記参照

	コ			
第59回	石井智子	ワンピースまたはパンツの制作（仕上げ）		予習：４５分 制作をすすめる 復習：４５分 制作をすすめる
第60回	石井智子	同上		上記参照

教科書

無

参考書

文化服装学院「文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥」、文化出版局
閏間正雄「服地の基本がわかるテキスタイル事典」、ナツメ社

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内での各作業に関して個別にフィードバック 講評会で各作品について、個別に評価のポイント等を具体的に指摘する

履修のポイント

実技ですので,特段の理由が無い限り休まず出席して下さい

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 9：00-17：30（112研究室）
石井：木 9：20-12：30（105教室）

科目区分

専門科目

講義コード	40210005
講義名	アート・デザインIII（及川/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3301
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	及川、新井共に「デザイン事務所」を経営し実務に従事。教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から、基礎となることを伝達する授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川 澄人	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの業務では、施主や社会の要求に対して、産業の分野をクロスオーバーして「魅力的な環境」を提案することが求められる。「空間」は通常、建築やグラフィック、その他さまざまなデザイン分野が関連し合って成り立っており、空間をデザインする場合は他分野に関わる知識やそれらの監理能力なども要求される。
本講座では、アート・デザインIとIIおよびその他の授業で学んだ知識や技術をベースに、空間デザインの実践的な応用力を養う。デザインの対象は、公と私および商業的要素が混在する空間とし、学生各々が教員と協議のうえ、取り組む題材を設定する。題材に対する与件は教員が想定するが、学生は調査で発見したテーマや相応しいイメージを具現化して空間をデザインする。また、その空間を対象に建築や施工、監理についても知る。成果物は、プレゼンテーションのために企画書としてパワーポイントにまとめる。尚、対象とする施設の都合を考慮し、日程は協議しなければならないが、施設の現地調査（見学）と、外部講師を招いた特別授業をおこなう場合がある。
本講座は、与件を整理する力、調査を通じでキーワードを抽出する力、空間とそれに関わるアイテムをデザイン（企画）する力を習得し、インテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることが、当該講座の目標となる。本講座は商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、環境や生活空間を考慮した与件の整理と、環境や生活空間の調査を通じたデザインのためのキーワードの抽出に取り組む。また，ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、本講座ではインテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることを目指す。

到達目標

学生は、以下の3項目を到達目標とする。

1．与件を整理し順序付けできる力の習得
2．調査を通じでキーワードを抽出する力の習得
3．空間とそれに関わるアイテムを企画・デザインする力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	及川澄人	（ショップデザイン） スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	及川澄人	同上		
第3回	新井絹世	（ショップデザイン） 学生によるファーストプレゼンテーション	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	新井絹世	同上		
第5回	及川澄人	（ショップデザイン） デザイニング・イメージの醸成 ショップカードのデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	及川澄人	同上		
第7回	新井絹世	（ショップデザイン） スケッチアップソフトを使った図面の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	新井絹	同上		

	世			
第9回	及川澄人	（ショップデザイン） パワーポイントを使った企画書の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	及川澄人	同上		
第11回	新井絹世	（ショップデザイン） 講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	新井絹世	同上		
第13回	及川澄人	課題説明 商業施設の機能とデザインについて	＜アクティブラーニング＞ 商業施設の考え方について意見交換をおこなう	予習：20分 商業施設についての事例を研究しておく 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	及川澄人	机上調査		
第15回	新井絹世	現地調査（予定）	太田市美術館・図書館の視察 （企画展開催時には学芸員による解説を受ける場合がある）	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	新井絹世	同上		
第17回	及川澄人	商業施設の計画 企画・与件の整理		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる

				（制作はコンペ等も含む）
第18回	及川澄人	同上		
第19回	新井絹世	商業施設の計画 企画・与件の整理		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	新井絹世	同上		
第21回	及川澄人	商業施設の計画 デザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	及川澄人	同上		
第23回	新井絹世	商業施設の計画 デザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	新井絹世	同上		
第25回	及川澄人	商業施設の計画 デザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	及川澄人	同上		
				予習：20分

第27回	新井絹世	商業施設の計画 デザイン		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	新井絹世	同上		
第29回	及川澄人	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	及川澄人	同上		
第31回	新井絹世	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第32回	新井絹世	同上		
第33回	及川澄人	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第34回	及川澄人	同上		
第35回	新井絹世	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）

第36回	新井絹世	同上		
第37回	及川澄人	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第38回	及川澄人	同上		
第39回	新井絹世	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第40回	新井絹世	同上		
第41回	及川澄人	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第42回	及川澄人	同上		
第43回	新井絹世	商業施設の計画 スケッチソフトを使ったデザイン		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	新井絹世	同上		
	及			予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ

第45回	川澄人	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	及川澄人	同上		
第47回	新井絹世	空間デザインに関わるサイン等、グラフィックアイテムの計画		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	新井絹世	同上		
第49回	及川澄人	デザイニング・イメージの醸成 ファーストプレゼンテーションの準備		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	及川澄人	同上		
第51回	新井絹世	学生によるファーストプレゼンテーション	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	新井絹世	同上		
第53回	及川澄人	デザイニング・イメージの醸成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
	及			

第54回	川澄人	同上		
第55回	新井絹世	デザイニング・イメージの醸成 スケッチアップソフトを使った図面作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第56回	新井絹世	同上		
第57回	及川澄人	パワーポイントを使った企画書の作成		予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第58回	及川澄人	同上		
第59回	新井絹世及川澄人	講評会	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	予習：20分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：25分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第60回	新井絹世及川澄人	同上	＜アクティブラーニング＞ 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	

教科書

無

参考書

編集委員会「新版・新しい建築製図」、学芸出版社 発行
（社）インテリア産業協会「インテリアコーディネータハンドブック総合版（上）（下）」、（社）インテリア産業協会発行

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※本授業は課題提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。
履修のポイント
欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。
オフィス・アワー
及川：月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131） 新井：木曜日，10:50-11:00，及川研究室（1号館131）、105教室等
科目区分
専門科目

講義コード	40220001
講義名	スペースデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3301
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	担当教員の社会で゛のデ゛ザ゛イン活動と大学で゛の研究教育活動を背景とした授業。共感性をもったデ゛ザ゛イン、表現力を養う授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川　澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

　生活の場には、毎日の寝食や仕事のおこなわれる日常的な空間と、祭りやセレモニーなど゛か゛生みた゛す非日常的な空間か゛存在する。祭りなど゛の非日常空間は、地域や風土に根さ゛した独特の「しつらえ」によって場か゛つくられ、その意味や人々の感情など゛を共有させる装置となることが多い。

　また、セレモニーや舞台ステージで゛は、物語のテーマや登場人物の心の動きか゛、セットや照明、音響など゛によって空間表現され、観客に共感をもたらしている。日常的な商業施設におけるショップ空間においても、ブランドのアイデンティティがショップデザインによって表現・発信される。特にショップファサードは、顧客の興味をいざなう機能を担っている。

　本講座で゛は、空間をひとつの表現媒体(メデ゛ィア)として捉え、特定の題材について、第三者とイメージ゛を共有するためのエンターテイメントのステージデ゛ザ゛インをおこなう。五感を通し゛た「共感性」の創出について探求し、ステージをデザインする。作品の発表はステージ模型に映像を投影し、プレゼンテーション形式でおこなう。

　本講座は、人間の五感を考慮して共感性をもった表現か゛で゛きる能力を習得し、抽象的な題材や理念など゛を解釈して造形に置換で゛きること、および゛テーマにもとづ゛いた造形表現か゛で゛きるようになることを目標としている。

　本講座は商業施設士（補）資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座で゛は、アート・デ゛ザ゛イン学科のデ゛ィフ゜ロマホ゜リシー;「環境」や「コミュニケーショ
ン」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、人間の五
感について探り共感性を創出することに取り組む。また,デ゛ィフ゜ロマホ゜リシー;表現するための
知識や技能、および゛選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座で゛は共感性を創出
する能力、抽象的な題材や理念など゛を解釈して造形テーマに置換で゛きる力の習得を目指す。およ

び゛、デ゛ィフ゜ロマホ゜リシー;実践的なデ゛サ゛イナーやアーティストとして活躍で゛きるように、本講座
で゛はテーマにもとづ゛いた造形表現か゛で゛きるようになることを目指す.

到達目標

学生は、以下の3項目を到達目標とする。
1.人間の五感について探り共感性を創出で゛きる力の習得
2.抽象的な題材や理念など゛を解釈して造形テーマに置換で゛きる力の習得
3.テーマにもとづ゛いた造形表現か゛で゛きる力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	及川澄人	スペースデザイン講義：日常空間と非日常空間について（事例研究） 課題説明：情報「音」の共有	<アクティブ゛ラーニング゛> 非日常生活の空間 デ゛サ゛インをテーマに意見交換する	予習:20分 エンタテーメントの事例研究をする 復習:25分 制作をすすめる
第2回	及川澄人	B3ケント紙水張り／題材の読み取りと表現の手法解説 演出空間の計画(イメージ゛の醸成)、エスキス 課題説明：情報「音」の共有	<アクティブ゛ラーニング゛> 非日常生活の空間 デ゛サ゛インをテーマに意見交換する	
第3回	及川澄人	空間の二次元化(空間のイメージ゛)エスキス		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第4回	及川澄人	同上		
第5回	及川澄人	空間の二次元化(空間のイメージ゛)エスキス		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第6回	及川澄人	同上		
第7回	及川澄人	空間の二次元化(空間のイメージ゛)制作		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第8回	及川澄人	同上		
第9回	及川澄人	空間の二次元化(空間のイメージ゛)制作		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第10回	及川澄人	同上		
第11回	及川	制作（ステージ作り） パネルから作品を切り離しステ		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすす

	澄人	ージを制作		める
第12回	及川澄人	同上		
第13回	及川澄人	第１課題　講評会	<アクティブ ラーニング> 教員と学生同士が 意見交換する	予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第14回	及川澄人	同上	<アクティブ ラーニング> 学生各々が プレゼンテーションし,教員の講評と学生 同士が 意見交換する	
第15回	及川澄人	空間の三次元化(空間のイメージ)エスキス		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第16回	及川澄人	同上		
第17回	及川澄人	空間の三次元化(空間のイメージ)エスキス		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第18回	及川澄人	同上		
第19回	及川澄人	空間の三次元化(空間のイメージ)制作		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第20回	及川澄人	同上		
第21回	及川澄人	空間の三次元化(空間のイメージ)制作		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第22回	及川澄人	同上		
第23回	及川澄人	空間の三次元化(空間のイメージ)制作		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第24回	及川澄人	同上		
第25回	及川澄人	制作（ステージ作り） 第一課題のステージにドッキングする		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる

第26回	及川 澄人	同上		
第27回	及川 澄人	第２課題　講評会	<アクティブ ラーニング > 教員と学生同士が 意見交換する	予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 制作をすすめる
第28回	及川 澄人	同上	<アクティブ ラーニング > 学生各々が プレゼンテーションし,教員の講評と学生 同士が 意見交換する	
第29回	及川 澄人	第２課題　講評会予備日 撮影した作品をもとに各自ポートフォリオを作成する		予習:20分 制作をすすめる 復習:25分 課題の振り返り
第30回	及川 澄人	同上		

教科書

無

参考書

小石新八 監修「スペースデザイン論」、株式会社武蔵野美術大学出版局 発行
魚成祥一郎 監修「ディスプレイデザイン」、鹿島出版会 発行

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する
フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。やむを得ず欠席する場合は、次の授業までにその日の作業を進めておくこと。

オフィス・アワー

月曜日,16:30-18:10,及川研究室(1号館131)

科目区分

専門科目

講義コード	40230001
講義名	プロダクトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3202
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	住宅部材の商品開発や内装設計業務の経験に基づき、プロダクトデザインの担うべき社会的役割の解説、「ものづくり」のプロセス解説と制作指導を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

課題作品の制作演習を通じ、デザインワークにおける情報収集や活用、コンセプトに基づく造形、素材の特性や加工についての理解を深め、ものづくりにおける基礎的な「知識」や「技能」を学びます。
デザインするという行為は、ある目的を果たすために生産（プロダクト）される目に見える具体的な「もの」、あるいは目には見えない仕組みや意識や思考などの「こと」の形成に対して向けられる活動であることを理解し、制作に取り組む姿勢を育むことを目標とします。
また、本講座は商業施設士（補）の指定教科です。
「建築材料の特性や加工、光と照明計画に関連した商業施設の構成」についての基礎的な知識及び技能を習得します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

演習課題を通して、プロダクトデザインの担うべき社会的役割を理解すること。
社会における生活環境の改善と、生活文化の発展に貢献するための、目的に応じた多様な分析の手法や着眼、造形へのアプローチのプロセス、素材の知識や加工の技術、造形力を修得すること。

到達目標

「人間の生活空間」におけるプロダクトデザインの意義を多面的に理解し、「ものづくり」に取り組むことができること。
対象に向かい合い、社会の要望や課題の解決に向けて「もの」や「こと」を形成していくための基礎的な造形、素材や加工に関する「知識」や「技能」を修得することを目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
				予習としてシラバス確

第1回	峰岸康之	「ものづくりとプロダクトデザイン」		認と通読45分復習として関連事項の調査研究45分
第2回	峰岸康之	「紙を用いた造形演習」	基礎的な造形演習と、着想構成のためのプラクティスを行う。	同上
第3回	峰岸康之	課題１；－① 『限られた材料を生かしてつくる』 ／ 構想		予習としてシラバス確認と通読45分復習として関連事項の調査研究45分
第4回	峰岸康之	「素材の特性と加工 １ 」 木質系のインテリア素材と加工技術についての理解を深める。		同上
第5回	峰岸康之	課題１；－② 『限られた材料を生かしてつくる』 ／ 制作		予習としてシラバス確認と通読45分復習として関連事項の調査研究45分
第6回	峰岸康之	「ものづくりと人間工学／つかい易い形」 人体寸法と使い易さに配慮したものづくりについて理解を深める。	自身の身体を計測することにより、人体寸法への理解を深める。	同上
第7回	峰岸康之	課題１；－③ 『限られた材料を生かしてつくる』 ／ 制作		予習としてシラバス確認と通読45分復習として関連事項の調査研究45分
第8回	峰岸康之	「つくるプロセスと品質管理」 ものづくりのプロセスと品質管理について理解する。	提出作品の着想、計画、作成において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	同上
第9回	峰岸康之	課題２；－① 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 調査		予習としてシラバス確認と通読45分復習として関連事項の調査研究45分

第10回	峰岸康之	「デザイン・レビュー 1」 情報の調査収集、デザインリサーチの実践	自身の課題選定のために、多様な情報源に対して、調査活動を行う。	同上
第11回	峰岸康之	課題２；－② 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 分析		予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第12回	峰岸康之	「デザイン・レビュー 2」 情報の分類と分析 イメージスタイル セグメンテーション ライフステージ セグメンテーション グレードイメージ セグメンテーション		同上
第13回	峰岸康之	課題２；－③ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 構想・企画・設計	取集情報から多様な着眼点を見出すためのブレーンストーミングを行う。	予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第14回	峰岸康之	「デザイン・レビュー 2」 ターゲット、コンセプトを絞り込みコンセプトを設定する。		同上
第15回	峰岸康之	課題２；－④ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 構想・企画・設計		予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第16回	峰岸康之	「素材の特性と加工 2 」 金属系、樹脂系のインテリア素材と加工技術		同上
第17回	峰岸康之	課題２；－⑤ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作		予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第18回	峰岸康	「光と色彩・空間照明の計画 1 」 光と色彩、照明手法の基礎		同上

	之			
第19回	峰岸康之	課題２；－⑥ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作		予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第20回	峰岸康之	「光と色彩・空間照明の計画２」 光の空間演出、建築化照明		同上
第21回	峰岸康之	課題２；－⑦ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作	提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第22回	峰岸康之	「空間をデザインする １」 住環境空間の設備、内装、造作家具計画		同上
第23回	峰岸康之	課題２；－⑧ 『コンセプトに形を与えてつくる』 ／ 制作	提出作品の出来栄え、講評に基づく反省をレポート形式にまとめる。	予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第24回	峰岸康之	「空間をデザインする ２」 商環境施設空間の設備、内装、造作家具計画 展示計画と什器デザイン		同上
第25回	峰岸康之	課題３；－① 『材質感の探求による空間選出造形』		予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第26回	峰岸康之	「多様化社会と人間／ユニバーサルデザイン」		同上
第27回	峰岸康之	課題３；－② 『材質感の探求による空間選出造形』	選定素材に対して多様な着眼点を見出すためのブレーンストーミングを行う。	予習としてシラバス確認と通読45分 復習として関連事項の

				調査研究45分
第28回	峰岸康之	「問題解決のデザイン／環境共生のデザイン」		同上
第29回	峰岸康之	課題３；－③ 『材質感の探求による空間選出造形』	提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として配布資料確認と通読45分 復習として関連事項の調査研究45分
第30回	峰岸康之	講評／まとめ 「『もの』や『こと』のあるべき姿を考える」	提出作品の出来栄え、講評に基づく反省をレポート形式にまとめる。	同上

教科書

無。独自の資料を作成配布し、参考文献、情報等は随時紹介していきます。

参考書

インテリアの計画と設計 第二版 ： 小原二郎・加藤力・安藤正雄 編 （彰国社刊）
デザインの輪郭 ： 深澤直人 （ＴＯＴＯ出版）

成績評価の方法・基準

課題作品の提出／課題１（３５%）、課題２（４５%）課題３（２０%）より評価、
単位認定 ６０点以上 とします。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や造形に対する取り組みを、作品制作とプレゼンテーションという形で研鑽していきます。
課題の着眼において手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、素材の選定や造形への展開方法など、制作の過程で示唆していきます。又、関連する知識や技術についての情報提示により専門的な理解を深め、研究や制作への、造形的な課題解決力を修得向上できるようフィードバックを行っていきます。

履修のポイント

作品の構想や制作を通して、身の周りの生活環境に問題意識を持ち自らの興味・関心を広げ、積極的に関連事項を調べ、探求していきましょう。
生活空間における造形による解決策や改善提案を探ることを心がけ、社会に貢献できるデザインの思考とプロセスを修得していきましょう。

オフィス・アワー

非常勤）
後期 ： 水曜日
デザイン棟１号館 ３階 及川研究室
＊個別に質問や相談事項がある場合は、授業前又は後に申し出てください。

科目区分

専門科目

講義コード	40240001
講義名	ビジュアルデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3401
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの実務経験をもとに実技指導を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木　優希	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、文字や図版などの視覚要素を論理的に構成し、他者に「正しく、魅力的に伝える」ためのデザイン能力を養う。感性だけでなく「可読性（読みやすさ）」や「情報の構造化」といった機能面を重視する。 最終的には、自身のコンテンツを編集・製本し、一冊のアートブック（ZINE）としてアウトプットする能力の習得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、ターゲット層の研究・リサーチを行い、グラフィックデザインにおけるビジュアルの有効な役割を学び、戦略に合わせたデザインを実践する。

到達目標

タイポグラフィ（文字）： 書体の選び方、文字の強弱（ジャンプ率）、美しい組版のルールを理解し実践できる。
インフォグラフィックス（図）： 複雑な情報や構造を、図やイラストを用いて視覚的に解説できる。
エディトリアル（編集）： 複数のページにわたる情報を、一貫した世界観とルール（グリッドシステム）で構成・製本できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	●オリエンテーションと取材演習（課題1導入） 授業の全体像、評価基準、デザインの基本原則（近接・整列・反復・コントラスト）について解説する。 【課題1導入】ペアインタビューの実践。学	ペアワークによるインタビューの実践。	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：取材メモと録音データを

		生同士でペアを組み、趣味や特技について取材を行う。録音データやメモを基に、生成AI等のツールを活用してインタビュー原稿（テキストデータ）を作成する。		整理し、次回までにテキスト原稿を完成させる。
第2回	柏木 優希	〃		
第3回	柏木 優希	●情報の構造化とラフスケッチ 作成した原稿の優先順位付け（タイトル、リード、本文、小見出し）を行い、情報のヒエラルキーを整理する。 グリッドシステムを用いたレイアウトの基礎を学び、手書きのラフスケッチを作成して紙面の設計図を描く。	ラフスケッチの相互確認とフィードバック。	予習45分：雑誌やWeb記事などのレイアウト事例を収集する。 復習45分：ラフスケッチを清書し、制作方針を固める。
第4回	柏木 優希	〃		
第5回	柏木 優希	●タイポグラフィ実習（文字組版） Illustratorを用いた文字組版の実習。フォントの選定、文字サイズ、行間（行送り）、字間（カーニング）の調整方法を学ぶ。 写真は使用せず、文字の配置と余白のみで構成する制約の中で、インタビューの雰囲気を表現する。	制作プロセスにおける画面共有と技術共有。	予習45分：使用するフォントのイメージを固めておく。 復習45分：授業内で終わらなかったデータ作成を進める。
第6回	柏木 優希	〃		
第7回	柏木 優希	●【課題1】講評とブラッシュアップ 課題1「インタビュー記事」の提出と合評会を行う。 取材相手（ペア）に制作物を見せ、意図が正しく伝わっているか、可読性は確保されているかを確認・修正する。	成果物に対する相互講評（ピア・レビュー）。	予習45分：提出データの確認と調整。 復習45分：講評での指摘事項を修正し、最終データを保存する。
第8回	柏木 優希	〃		
第9回	柏木 優希	●情報の視覚化と抽象化（課題2導入） 【課題2導入】インフォグラフィックスの基礎講義。 自身の興味ある対象（キャラクター、道具、生物等）を選定し、その機能や特徴を解説するための観察と情報の分解を行う。	テーマ選定に関するグループディスカッション。	予習45分：解説したい対象物の資料や写真を用意する。 復習45分：どの部分を解説するか、情報を整理してラフを描く。
第10回	柏木 優希	〃		
第11回	柏木	●ベクター描画とデフォルメ技術 Illustratorのペンツール、シェイプ形成ツール、パスファインダー機能を活用し、対象物を図形的に描画（トレース・デフォルメ）する技術を学ぶ。		予習45分：描画の下絵となる画像を準備する。 復習45分：ベクタ

	優希	写真や複雑な絵を、シンプルな線と面で表現する「抽象化」のプロセスを実践する。		ーイラストの描画を進める。
第12回	柏木優希	〃		
第13回	柏木優希	●図解レイアウトと指示線のデザイン インビジュアルと解説テキストを配置し、それらを繋ぐ引き出し線（指示線）やキャプションのデザインを行う。 情報のグルーピング（色分けやアイコン化）を行い、視線の流れを整理する。	中間制作物の相互チェック（情報の分かりやすさ確認）。	予習45分：解説文のテキストデータを作成しておく。 復習45分：レイアウトの微調整を行い、完成度を高める。
第14回	柏木優希	〃		
第15回	柏木優希	●【課題2】講評とプレゼンテーション 課題2「ビジュアル図鑑」の提出と講評会。 制作した図解シートを用いて、対象物の魅力を短時間でプレゼンテーションする。	プレゼンテーションと質疑応答。	予習45分：発表の準備。 復習45分：他者の作品から優れた表現技法を分析する。
第16回	柏木優希	〃		
第17回	柏木優希	●ZINE（小冊子）の企画構成（課題3導入） 【課題3導入】最終課題「オリジナルZINE制作」の概要説明。 「誰に・何を・どう伝えるか」のコンセプト立案と、全体のページ構成を決める「台割（だいわり）」を作成する。		予習45分：参考となるZINEや冊子を持参する。 復習45分：台割表を完成させる。
第18回	柏木優希	〃		
第19回	柏木優希	●マテリアル収集とモックアップ作成 必要なテキスト原稿の準備と、画像素材（写真・イラスト）の収集・加工を行う。 実際に紙を折って白紙の冊子（モックアップ）を作成し、ページめくりの感覚や情報の流れを物理的に確認する。		予習45分：掲載するコンテンツの素材を集める。 復習45分：不足している素材を追加作成する。
第20回	柏木優希	〃		
第21回	柏木優希	●フォーマット設計 冊子全体に統一感を持たせるためのフォーマット（マージン、カラム、ノンブル、柱）を作成する。 Illustratorのアートボード設定と、見開きデータの管理方法を学ぶ。		予習45分：基本となるフォントや配色のルールを決めておく。 復習45分：全ページのベースデータを準備する。
第22回	柏木優希	〃		
		●		予習45分：各ペー

第23回	柏木優希	誌面のレイアウト 台割に基づき、各ページ（見開き）のレイアウト作業を進める。 課題1で学んだ文字組み、課題2で学んだ図解テクニックを応用し、情報の密度と余白のバランスを調整する。	進捗状況の共有と、教員による巡回指導。	ジに入れる文章と画像をフォルダ分けしておく。 復習45分：本文ページのレイアウトを進める。
第24回	柏木優希	〃		
第25回	柏木優希	●表紙デザイン ZINEの「顔」となる表紙（表1）と裏表紙（表4）のデザインを行う。タイトルロゴの作成や、キャッチコピーの配置を検討する。		予習45分：表紙のアイデアスケッチを描いておく。 復習45分：表紙データの完成。
第26回	柏木優希	〃		
第27回	柏木優希	●印刷・製本 データを完成させ、印刷・製本を目指す		予習45分：遅れているデータ作成を進める。 復習45分：印刷作業を行う。
第28回	柏木優希	〃		
第29回	柏木優希	●仕上げ、完成		予習45分：プレゼンテーションの練習 復習45分：作品の内容とポイントを確認
第30回	柏木優希	●【課題3】最終講評 完成したZINEを展示し、鑑賞講評会を行う。 自身の制作意図を発表し、相互講評を通じて半期の学習成果を総括する。	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
授業内課題の評価による。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、社会におけるデザインの役割を理解し実践例を情報収集する。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、13：30〜15：00、1号館122研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40250001
講義名	ＷＥＢデザインI
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3302
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、HTMLやCSSの基礎知識についての講義を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木　優希	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義では、1年次に修得したコーディング技術を基盤とし、Webサイト制作の「企画・設計・デザイン・実装・公開」という一連のワークフローを実践形式で学ぶ。 具体的には、3～4名のグループに分かれ、「架空のイベント（芸術祭、音楽フェス、地域のマルシェなど）」のプロモーションサイトを制作する。単に綺麗なサイトを作るのではなく、ターゲットユーザーへの訴求力、ユーザビリティ、そしてグループ制作におけるタスク管理やコミュニケーション能力の向上を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なWebデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

1.実務ワークフローの理解: 企画から公開までの工程を理解し、各フェーズで必要なドキュメント（ワイヤーフレーム、指示書等）を作成できる。
3.デザインと実装の連携: デザインツール（Figma等）で作成したカンプを、忠実にWebブラウザ上で再現（コーディング）できる。
3.協働スキル: グループ内での役割分担、進捗管理、ファイル管理（バージョン管理の基礎）を適切に行える。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	オリエンテーション、各種制作ツールの使い方		復習45分：HTML、CSSについて復習をする。
	柏	グループ分け、ワ	グループにてアイスブレイクワーク	復

第2回	木 優希	ークショップ	ショップ	習45分：HTML、CSSについて復習をする。
第3回	柏 木 優希	企画	グループディスカッションを行い、企画をまとめる。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第4回	柏 木 優希	企画	グループディスカッションを行い、企画をまとめる。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第5回	柏 木 優希	企画	グループディスカッションを行い、企画をまとめる。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第6回	柏 木 優希	企画	グループディスカッションを行い、企画をまとめる。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第7回	柏 木 優希	設計	グループごとに制作するWebサイトの必要タスクと担当、締め切りを設定する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第8回	柏 木 優希	企画	グループごとに制作するWebサイトの必要タスクと担当、締め切りを設定する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第9回	柏 木 優希	デザイン制作	グループで企画したWebサイトのデザインサムネイルを制作し、グループで共有・精査する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第10回	柏 木 優希	デザイン制作	グループで企画したWebサイトのデザインサムネイルを制作し、グループで共有・精査する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第11回	柏 木 優希	デザイン制作	グループごとにデザインからモックアップを制作する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第12回	柏 木 優希	デザイン制作	グループごとにデザインからモックアップを制作する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第13回	柏 木 優希	デザイン制作	グループごとにデザインからモックアップを制作する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第14回	柏 木 優希	デザイン制作	グループごとにデザインからモックアップを制作する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第15回	柏 木 優希	デザイン制作	グループごとにデザインからモックアップを制作する。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第16回	柏 木 優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第17回	柏 木 優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第18回	柏 木 優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第19回	柏 木	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行	復習45分：グループ内での活動の整理・準備

	優希		う。	
第20回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第21回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第22回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第23回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第24回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第25回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第26回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第27回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第28回	柏木優希	コーディング	モックアップを元にグループで分担し、Webサイトのコーディングを行う。	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第29回	柏木優希	講評	制作物のプレゼンテーションを行う	復習45分：グループ内での活動の整理・準備
第30回	柏木優希	講評	制作物のプレゼンテーションを行う	復習45分：講評のフィードバックをまとめる。

教科書
なし。配布資料および授業専用のリファレンスWebサイトを教科書代わりに使用する。
参考書
Mana『１冊ですべて身に付くHTML＆CSSとWebデザイン入門講座』SBクリエイティブ株式会社 Mana『ほんの一手間で劇的に変わるHTML＆CSSとWebデザイン実践講座』SBクリエイティブ株式会社
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上。授業内課題にて評価する。 ※本授業では定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
課題返却時のコメントによる。
履修のポイント
「WEBコーディング基礎」履修済み程度のHTML、CSSの知識を必要とする。
オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30～15：00、1号館122研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40260001
講義名	ＷＥＢデザインII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3402
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、WEBサイトを作成するに当たっての様々な技能を、実践を交えながら講義する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

近年のWebサイト利用者の割合はスマートフォンユーザーがPCユーザーを凌駕してきている。
そのような状況で企業のWebサイトも今やスマートフォンサイトは必須となってきている。
後期授業では、前期に学習した基礎を元に、より実践的にスマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンシブサイト構築のテクニックと知識を取得する。またJavaScript を使用した動的コンテンツの基礎知識を学び、ウェブデザインの現場で活躍するための基礎力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。
そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる応用知識・応用技術修得を目指すものとする。

到達目標

1、スマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンシブサイト作成が出来るようになる。
2、インタラクティブな機能を用いたWebサイトをデザイン・作成できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	オリエンテーション		復習45分：配布資料を読み直す。
第2回	柏木優希	レスポンシブデザインについて		

第3回	柏木優希	企画		復習45分：配布資料を読み直す。
第4回	柏木優希	企画		
第5回	柏木優希	企画		復習45分：配布資料を読み直す。
第6回	柏木優希	企画		
第7回	柏木優希	企画		復習45分：配布資料を読み直す。
第8回	柏木優希	企画		
第9回	柏木優希	デザイン制作		復習45分：配布資料を読み直す。
第10回	柏木優希	デザイン制作		
第11回	柏木優希	デザイン制作		復習45分：配布資料を読み直す。
第12回	柏木優希	デザイン制作		
第13回	柏木優希	デザイン制作		復習45分：配布資料を読み直す。
第14回	柏木優希	デザイン制作		
第15回	柏木優希	デザイン制作		復習45分：配布資料を読み直す。
	柏木		完成したデザイン案を元にプレゼンテ	

第16回	優希	デザイン制作	ーション(アクティブラーニング)を行う。	
第17回	柏木優希	コーディング		復習45分：配布資料を読み直す。
第18回	柏木優希	コーディング		
第19回	柏木優希	コーディング		復習45分：配布資料を読み直す。
第20回	柏木優希	コーディング		
第21回	柏木優希	コーディング		復習45分：配布資料を読み直す。
第22回	柏木優希	コーディング		
第23回	柏木優希	コーディング		復習45分：配布資料、学習範囲の教科書を読み直す。
第24回	柏木優希	コーディング		
第25回	柏木優希	コーディング		復習45分：WEBサイトに掲載する内容の収集。
第26回	柏木優希	コーディング		
第27回	柏木優希	コーディング		復習45分：WEBサイトに掲載する内容の収集。
第28回	柏木優希	コーディング		
第29回	柏木優	講評		復習45分：WEBサイトに掲載する内容の収集。

	希			
第30回	柏木優希	講評		

教科書

なし。授業内の配布資料、授業専用のリファレンスWebサイトを教科書代わりとする。

参考書

Mana『１冊ですべて身に付くHTML＆CSSとWebデザイン入門講座』SBクリエイティブ株式会社
Mana『ほんの一手間で劇的に変わるHTML＆CSSとWebデザイン実践講座』SBクリエイティブ株式会社

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題を評価。
※本授業では定期試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

作品作成に必要な素材集め、資料集めなどを事前に済ませておくこと。
また、授業内にて資料集めの進行具合の確認を行い、作成進行方針を協議することもある。

履修のポイント

講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。
授業態度及び、作品の完成度を重視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、13：30～15：00、1号館122研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40270001
講義名	イラストレーション技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3203
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザイン、パッケージデザインの制作実績をもとに広告業界で求められるイラストレーションの実技指導を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	野村 亜希	指定なし

授業の概要と教育目標

あらゆる日常生活の中にイラストレーションは多々存在し、役割に応じた効果を上げている。その中でも、広告分野で使用されるイラストレーションは、情報を消費者へ伝える目的に留まらず、感情へ訴える情緒を魅力としたブランド価値の向上が求められている。この授業では、広告分野で求められる様々なイラストレーション技法の中から、手描きアクリル絵具による表現、転写による素材を活かした表現を中心として学び、基礎力の幅を広げると共に独自の表現を試みる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、広告業界で求められるイラストレーションを描き、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を身につける。

到達目標

○ アクリルや水彩など絵の具によるマチエール技法
○ 転写技法による素材を活かした商品への展開
○ 「カッコいい、可愛い、オシャレ」をイラストレーション技法による手法で具現化する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業概要説明 ●課題１《パッケージデザイン制作》 水彩絵具を用いた技法研究と箔押しデザインの入ったパッケージを制作する		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと
第2回	アイデアスケッチ		

第3回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	制作		
第5回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	制作		
第7回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	制作		
第9回	制作、箔押し加工、組み立て		予習20分：プレゼンテーションの練習 復習25分：作品の内容とポイントを確認
第10回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第11回	●課題２《マグカップ制作》パターン模様を使ったデザインのアイデアスケッチ		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	制作		
第13回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	制作		
第15回	制作、スキャン、加工		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	制作、スキャン、加工		
第17回	マグカップ転写作業		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	マグカップ転写作業、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
	●課題３《オリジナル作品制作》		予習20分：実習内容に関連する情報収集

第19回	これまでに学んだ技法を使用しオリジナル作品を作成するアイデアスケッチ		復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	アイデアスケッチ		
第21回	アイデアスケッチ		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	アイデアスケッチ		
第23回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	制作		
第25回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	制作		
第27回	制作		予習20分：実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	制作		
第29回	制作		予習20分：プレゼンテーションの練習 復習25分：作品の内容とポイントを確認
第30回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度７０%、授業への参加度３０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、コンビニエンスストアやショッピングモールなど、身近な施設にある商品をデザイナー目線で観察し、感覚に訴えるデザインを情報収集する。
オフィス・アワー
水曜日、金曜日：13:20～16：30 125研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40280001
講義名	絵本制作
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3303
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	絵本挿絵などの経験を活かし、絵本における絵と言葉の関係性、制作手順や製本技術などを解説します。
学年	2学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教 員	大竹 紀美代	指定なし

授業の概要と教育目標

絵本の表現は多岐に渡ります。古今東西様々な絵本を紹介し、イラストレーション、ストーリー、デザイン、製本について広く学びながら、課題のテーマに基づいて一冊の絵本を製作します。主に画用紙を使用し、紙を切り貼り・構成し、パソコンや筆で絵を描くだけではない、もの作りの基本である「手作業」を通して表現方法を学びます。まず作品のラフ（ダミー）を製作し、本制作に入ります。最後は仕上がった作品をプレゼンテーションし、講評を行います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業では手作業を通して絵本への理解を深めるだけでなく、もの作りの基本となる考え方、作業の進め方としてのスケジューリングなども学びます。
アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、第三者とイメージを共有するための知識や技能を獲得し、また、他者の作品へ意見をすることで見る目を養い、もの作りについての考察を深めることを目指します。

到達目標

一人で一冊の絵本を製作するには、多くの知識と工程が必要です。それらを学び実践することで、絵本だけでなく様々な作品作りへも活かせる考え方を身につけることができます。また、クリエイティブを通してコミニュケーション能力を高めることができます。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大竹紀美代	オリエンテーション 古今東西の様々な絵本の紹介	作品のアイデア、参考になるもの・ことを随時記録し、翌週からの制作に役立てる	予習45分：最低10冊以上の絵本を読んでおくこと。
	大竹	オリエンテーション ①「絵本」についての講	作品のアイデア、参考になるもの・ことを随時記録	復習45分：講義内容につい

第2回	紀美代	義 ②課題説明 ③アンケート記入提出	し、翌週からの制作に役立てる	て振り返る
第3回	大竹紀美代	アイディア出し・アイデアチェックを受ける	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する	予習45分：作品のアイデアを練る
第4回	大竹紀美代	アイディア出し・ラフ製作① アイデアチェックを受ける/コピー用紙を使用し、１ページづつラフ画を製作	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する	復習45分：作品のアイデアを練る
第5回	大竹紀美代	ラフ製作② コピー用紙を使用し、１ページづつラフ画を製作	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する	予習45分：ラフ仕上げ
第6回	大竹紀美代	ラフ製作② コピー用紙を使用し、１ページづつラフ画を製作	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する	予習45分：ラフ仕上げ
第7回	大竹紀美代	ラフのチェックを受ける。OKならば本制作へ入る	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する	復習45分：ラフ仕上げ、本制作の準備
第8回	大竹紀美代	ラフのチェックを受ける。OKならば本制作へ入る	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する	復習45分：ラフ仕上げ、本制作の準備
第9回	大竹紀美代	ラフ仕上げ・本制作 ラフが完成していれば本制作へ	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する 完成までのスケジュールを立てる	復習45分：本制作の準備
第10回	大竹紀美代	ラフ仕上げ・本制作 ラフが完成していれば本制作へ	様々な絵本や表現を参考にしながら手を動かして制作する 完成までのスケジュールを立てる	復習45分：本制作の準備
第11回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第12回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する

第13回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第14回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第15回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第16回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第17回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第18回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第19回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第20回	大竹紀美代	本制作	完成までのスケジュールを立てる	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第21回	大竹紀美代	製本	完成までのスケジュールを立てる 製本準備	予習45分：製本についてのプリントを見直す
第22回	大竹紀美代	製本	完成までのスケジュールを立てる 製本準備	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第23回	大竹紀美代	製本 表紙と本文をつける	作品全体の見直し、確認	予習45分：制作に必要な道具を揃える

第24回	大竹紀美代	製本 製本した作品に重石をしてプレスする。	作品全体の見直し、確認	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第25回	大竹紀美代	装丁・仕上げ 製本した作品に重石をしてプレスする。	作品全体の見直し、確認	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第26回	大竹紀美代	装丁・仕上げ 表紙制作・細かい部分の仕上げ	製本した作品に重石をしてプレスする。	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第27回	大竹紀美代	プレゼンテーション・講評	他の学生の作品について意見を述べられるようにする	予習45分：プレゼンテーションの準備
第28回	大竹紀美代	プレゼンテーション・講評	他の学生の作品について意見を述べられるようにする	復習45分：発表、意見交換を振り返る
第29回	大竹紀美代	プレゼンテーション・講評	他の学生の作品について意見を述べられるようにする	予習45分：プレゼンテーションの準備
第30回	大竹紀美代	プレゼンテーション・講評	他の学生の作品について意見を述べられるようにする	復習45分：発表、意見交換を振り返る

教科書

無。制作に必要なプリント配布。

参考書

適宜紹介。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
授業への取り組み 20点 20%／中間講評・プレゼンテーション 30点 30%／提出作品 50点 50%
意見交換での発言を元に総合的に評価。授業最終日に提出された作品で評価を行う。後日提出は評価しません。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

個別対応や講評会での意見・感想をフィードバックとして各自授業内容の理解に役立てます。

履修のポイント

作業量の多い課題ですので、余裕を持って進めることが重要。取り組んだ時間と作業量が完成度に表れます。自分の手で一冊の絵本ができた時の感動を楽しみに頑張りましょう。

オフィス・アワー
火曜日 14:50-15:00 1号館103教室
科目区分
専門科目

講義コード	40290001
講義名	写真表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3304
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解する。基本的なカメラ操作やライティング、配置バランス等の知識や技術を学習する。写真という媒体への興味や関心を高め、表現の幅を広げることを教育目標とする。各自テーマを決めて積極的に作品制作に向き合い、作品を学内ギャラリーに展示した上で講評会を行う。授業では写真作家やフォトコンテストの紹介等も行う。調整が可能な場合は、写真に携わるアーティストやフォトグラファーのレクチャー、学外での撮影会も組み込む。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない
※天候によりシラバスの内容が前後する可能性あり

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、写真撮影の基礎知識を作品制作に役立てると共に、ひらめきや即興性を養い、表現の幅を広げる。また、卒業制作やポートフォリオ制作に、学習した写真撮影の技術を効果的に役立てることを目指す。

到達目標

学生は、デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解し、撮りたいイメージを作るにはどうしたら良いのかを、自主的に考えることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		予習：25分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチす

	子			る
第2回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第3回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第4回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第5回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第6回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第7回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第8回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第9回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第10回	大日向基子	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第11回	大日向基子	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第12回	大日向	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影		復習：25分 授業内でのアドバイスをも

	基子	する。		とに内容を検証する
第13回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第14回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第15回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第16回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第17回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第18回	大日向基子	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第19回	大日向基子	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第20回	大日向基子	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第21回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第22回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
	大日	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮		復習：25分 授業内でのア

第23回	向基子	影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		ドバイスをもとに内容を検証する
第24回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第25回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第26回	大日向基子	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第27回	大日向基子	自由制作 プレゼンテーション準備		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第28回	大日向基子	自由制作 プレゼンテーション準備		復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第29回	大日向基子	自由制作課題のプレゼンテーションを行う。	意見を交換する過程で効果的なプレゼンテーション方法を探る。他者の作品を通して表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第30回	大日向基子	自由制作課題のプレゼンテーションを行う。	意見を交換する過程で効果的なプレゼンテーション方法を探る。他者の作品を通して表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	復習：25分 授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第31回				

教科書

無（必要に応じて資料を配布）

参考書

シャーロット・コットン『現代写真論』、晶文社 飯沢耕太郎『世界写真史』、美術出版社 谷口泉『デジタル撮影の適正露出と色彩調整』、日本カメラ社他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 自由制作60% 授業への参加度40%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

カメラの基本操作を学ぶ過程での個別対応全般と、最終講評会における意見や感想をフィードバックとして、授業内容の理解や作品のクオリティ向上に役立てる。

履修のポイント
撮影した写真をコンピュータ上で確認し、適切に保存すること。データ保存用に、各自SDカードやUSBメモリを用意すること。データ紛失を防ぐためにバックアップを心掛けること。写真用紙の種類と特性を理解した上で印刷すること。積極的にフォトコンクール等に応募すること。
オフィス・アワー
金曜日 12:45-13:30 123研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40300001
講義名	クラフトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3305
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での製品づくりの実務経験から、ブランディングの重要性を演習の中で解説するとともに、素材への知識を深めていく授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村　サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

昨今、クラフトデザインと呼ばれる分野は、本来の「工芸」という意味から広がりをみせ、様々な素材や技法、道具が用いられ作品が作られている。また、それらの販売の手法、購買経路、消費者のニーズも多岐に渡っている。そこで、本講座では手仕事による雑貨やアクセサリーなどもクラフトととらえ、自身のブランドを設定し、そのデザイナーとして市場調査を行い、コンセプトやターゲットに応じた作品制作を行う。自身の造形的な表現を探るとともに、アイデアをかたちにする中で、雑貨ブランド運営に必要な基礎知識を習得する。社会の中でクラフトブランドを作り上げる力、取り扱う素材に応じた道具や技法を選択する力と、素材の特徴を捉える感覚と造形的な想像力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、市場調査を行いユーザーの視点に立ったデザインと自分の造形的な表現、コンセプトやターゲット、トレンドと造形の関わりについて学ぶ。

到達目標

学生が自身のブランドを設定し、雑貨やアクセサリーなどのアイテムを3点以上制作することができる。
また、自身の作品に対し設定したブランドの概要、作成したアイテムの概要、使用した素材や技法をプレゼンテーションすることができるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	実習内容についての説明、リサーチを行う		予習　25分　身の回りにどのような雑貨があるか調べる 復習　20分 授業をふまえ、身の回りにどのような雑貨があるか調べる

第2回	商品企画-リサーチ		予習　25分　身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる 復習　20分 授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる
第3回	商品企画-ペルソナの設定		予習　45分　身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる 復習　45分 授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる
第4回	同上		上記参照
第5回	商品企画-ブランドコンセプトの設定		予習　45分　身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる 復習　45分 授業をふまえ、市場にある雑貨と、自分の作りたいものについて確認する
第6回	同上		上記参照
第7回	商品企画-ブランド概要の設定・販売価格の決め方		予習　45分　小売店ごと（百貨店・ショッピングモール・ネットショップなど）の雑貨の価格を調べておく 復習　45分　自身のブランドの価格を設定する
第8回	同上		上記参照
第9回	商品企画-アイテムのデザイン１		予習　45分　アイデアスケッチに備え、リサーチした内容を確認しておく 復習　45分　授業をふまえ、アイデアスケッチにオリジナル性があるか確認する
第10回	同上		上記参照
第11回	商品企画-アイテムのデザイン２・試作		予習　45分　デザインに備え、アイデアスケッチとリサーチした内容を確認しておく 復習　45分　自分のデザインにどのような道具や技法、素材が必要か調べる
第12回	同上		上記参照
第13回	商品企画-アイテムのデザイン、試作		予習　45分　デザインに備え、アイデアスケッチとリサーチした内容を確認しておく 復習　45分　自分のデザインにどのような道具や技法、素材が必要か調べる
第14回	同上		上記参照
第15回	製品の制作		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習　45分　進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバック

			する
第16回	同上		上記参照
第17回	製品の制作		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習　45分　進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第18回	同上		上記参照
第19回	製品の制作		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習　45分　進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第20回	同上		上記参照
第21回	製品の制作、パッケージの企画		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習　45分　進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第22回	同上		上記参照
第23回	製品の制作、パッケージの制作		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習　45分　進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第24回	同上		上記参照
第25回	製品の制作、パッケージの制作		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく。身の回りにある雑貨のパッケージを調べておく 復習　45分　進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第26回	同上		上記参照
第27回	製品の制作、パッケージの制作		予習　45分　制作において必要な素材や道具を準備しておく。 復習　45分　進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第28回	同上		上記参照
第29回	作品の提出、撮影、講評会	学生が自身の作品をプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う。	予習　45分　講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習　45分　講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

無、適宜プリント等を配布します。

参考書
無 ※適宜プリントを配布します。
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 １．学習態度・授業への参加度 ３０％ ２．作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／７０％ ※課題提出が評価対象 上記１および２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する ※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しません。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける
履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。
オフィス・アワー
寺村：月・火・水・木　9：00-17：30（112研究室）
科目区分
専門科目

講義コード	40310001
講義名	テキスタイルデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3204
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	大竹 夏紀	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、生活空間に深く関わりのある工芸素材として「布」を題材とし染色の伝統技法である蝋けつ染めを習得することで、素材に親しみながらその特性をふまえ、模様や色のもつ効果について考えながら2つの課題の作品制作を行う。また、蝋、染料、布を使い様々な表現を試行することによって、素材の特徴を捉える感覚を養い、豊かな表現力を育てる。
さらに、テーマについてリサーチや思考を重ねて、新しい視点で自分にしかできない作品を制作する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するため盤基盤となる学習として、蝋けつ染めの知識や技能を修得し、染色技術を活かした表現の可能性を探る。

到達目標

学生が、蝋けつ染めの技法を習得し、蝋、染料、布の特徴を使い新しい表現ができる。
また、テーマと技法を結びつけたオリジナリティーのある作品を制作することができる。

授業計画

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上／1.平常点（取組みの姿勢）３０％ 2.作品点／７０％
上記1および2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける
履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。 ¥2,510程度材料費が発生します。
オフィス・アワー
水 9：20-12：20 501教室
科目区分
専門科目

講義コード	40320001
講義名	ファッションアート
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3306
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

自分自身を表現する手段として、コスプレやロリータファッションの衣装等が有ります。
そのような衣装や、自分の好みの作品の実物制作を行います
コスプレやロリータファッションを遊びと捉えず、自己表現の一つと考え、好みのキャラクターや服装を形にして行く。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、コスプレやロリータファションなど好きな衣装の実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得するために洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

服作りの知識や技術を身に付け、自分の 想像した物を着ることの出来る服にする力を付ける事を目標とする

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	講義・実習方法の説明他		予習：４５分作りたい服のリサーチ 復習：４５分デザインの確認
第2回	デザイン画作成→四方面から描く（縫い目の位置含む）		予習：４５分作りたい服のリサーチ 復習：４５分次回授業の

	採寸		準備
第3回	デザイン画作成→四方面から描く（縫い目の位置含む）		予習：４５分採寸の支度 復習：４５分次回授業の準備
第4回	同上		上記参照
第5回	製 図 →チェック		予習：４５分デザインの確認 復習：４５分次回授業の準備
第6回	同上		上記参照
第7回	製 図 → 材料の書き出し及び調達		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第8回	同上		上記参照
第9回	布の地直し		予習：４５分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習：４５分次回授業の準備
第10回	同上		上記参照
第11回	仮 縫 い → 試着補正 → 本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第12回	同上		上記参照
第13回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第14回	同上		上記参照
第15回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第16回	同上		上記参照
第17回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第18回	同上		上記参照
第19回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第20回	同上		上記参照
第21回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第22回	同上		上記参照

第23回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第24回	同上		上記参照
第25回	本 縫 い		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第26回	同上		上記参照
第27回	本 縫 い → 作品仕上		予習：４５分スケジュールの確認 復習：４５分次回授業の準備
第28回	同上		上記参照
第29回	仕上げ、講評会、作品撮影 〈アクティブラーニング〉 作品について、教員と学生、学生同士が意見交換を行う	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 ４５分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 ４５分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

無

参考書

文化服装学院編
『文化ファッション大系 服飾造形講座①服飾造形の基礎』
『文化ファッション大系 服飾造形講座②スカート.パンツ』
『文化ファッション大系 服飾造形講座③ブラウス.ワンピース』
『文化ファッション大系 服飾造形講座④スーツ.ベスト』
『文化ファッション大系 服飾造形講座⑤コート.ケープ』
発行者 大沼 淳
発行所 文化服装学院 教科書出版部

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上／実技課題（取り組みの内容５０%、完成度３０%）・提出期限２０%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内で課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること

履修のポイント

実技ですので、特段の理由が無い限り休まず出席して下さい

オフィス・アワー

授業日の授業開始前後もしくは終了後に教室等で質問に応じます

科目区分

専門科目

講義コード	40330001
講義名	デジタルコミック
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3205
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	漫画家としての実務経験を活かしデジタル作画における知識や注意点など具体例を挙げながら授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	三木　綾菜	指定なし

授業の概要と教育目標

この講座ではillustrator、Clip Studioの2アプリケーションについて学ぶ。基本的なオペレーションを確実に理解した後、実践的なCGイラストレーションの技術を修得する。
illustratorでは、背景を含む「ちびキャラ」などのオリジナルイラストの制作、Clip Studioでは厚塗り、漫画制作又はアニメ塗りなどの基本的な手法でキャラクターイラストを制作する。

本講座は、2アプリケーションの基本的な技術を習得し、オリジナリティーのあるCG作品を効率よく制作することができるスキルを身に付け、２年次の「CGイラストレーション」「アニメーション」「３D-CG」「キャラクターデザイン」などの授業で必要な基礎を身に付けることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、卒業後、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、また多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

CGの基礎を確実に習得したうえで、さらに実践的な表現技術を身につける。専門的なグラフィックソフトの諸機能を理解し、コンピュータの周辺機器を含めて的確なオペレーションをおこない、より効率的に完成度の高いヴィジュアル作品を制作できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	三木綾菜	授業の概要説明 illustrator基礎① 各種ツール・ウィンドウ解説 イラスト練習課題		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
	三			

第2回	木 綾菜	〃		〃
第3回	三 木 綾菜	illustrator基礎② イラスト練習課題 オリジナルイラストの下書き準備		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	三 木 綾菜	〃		〃
第5回	三 木 綾菜	●illustratorによるオリジナルイラストの制作 下書き完成、スキャン スキャナーの使い方、画像の配置の仕方など解説		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	三 木 綾菜	〃		〃
第7回	三 木 綾菜	●illustratorによるオリジナルイラストの制作 ペンツールによるトレース illustratorの諸機能を使い、効率的なトレースを目指す。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	三 木 綾菜	〃		〃
第9回	三 木 綾菜	●illustratorによるオリジナルイラストの制作 完成、提出	講師による講評。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	三 木 綾菜	〃	〃	〃
第11回	三 木 綾菜	●Clip Studioによるオリジナルイラストの制作。 CG作品の紹介、各種ツール・ウィンドウ解説、技法解説 液晶タブレットを使用して作品イメージの下書きを制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	三 木 綾菜	〃		〃
第13回	三 木 綾菜	●Clip Studioによるオリジナルイラストの制作。 下書き完成、講師による確認 キャラクター・背景の下地塗り等		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	三 木 綾菜	〃		〃
第15回	三 木 綾菜	●Clip Studioによるオリジナルイラストの制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
	三			

第16回	三木綾菜	〃		〃
第17回	三木綾菜	●Clip Studioによるオリジナルイラストの制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	三木綾菜	〃		〃
第19回	三木綾菜	●Clip Studioによるオリジナルイラストの制作。 仕上げ、完成、提出	講師による講評。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	三木綾菜	〃	〃	〃
第21回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 Clip Studio基礎／各種ツール・ウィンドウ解説 ・漫画→必要ツール解説 ・イラスト→液晶タブレットを使用して作品イメージの下書きを制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	三木綾菜	〃		〃
第23回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 ・漫画→下書き制作 ・イラスト→下書き完成、講師による確認 　キャラクター、背景の下地塗り等		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	三木綾菜	〃		〃
第25回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 ・漫画→ペン入れ ・イラスト→１影、２影、ハイライトなどのレイヤー構成で制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	三木綾菜	〃		〃
第27回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 ・漫画→ベタ、トーンの仕上げ作業 ・イラスト→１影、２影、ハイライトなどのレイヤー構成で制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	三木綾菜	〃		〃

第29回	三木綾菜	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 仕上げ、完成、提出	講師による講評。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	三木綾菜	〃	〃	〃

教科書
無
参考書
無
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に講評を実施するとともに、制作途中には講師が個々に技術的な指導を行う。
履修のポイント
作品の提出は完成されている事を前提としています。授業内で完成しない場合は時間外で完成させて提出するように努力してください。また、イラストの構想や下書きについても授業外で準備しておくことが望ましいでしょう。技術的な説明をする時は、とくに欠席、遅刻等しないように注意してください。
オフィス・アワー
授業前もしくは授業後に教室にて質問を受け付けます。
科目区分
専門科目

講義コード	40340001
講義名	３Ｄ－ＣＧ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3307
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、３D－CGの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	大澤　秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

設定した世界感をもとに、キャラクターデザインからゲームグラフィックス用のローポリゴンモデルの制作を行う。また、３ＤＣＧだけでなくAdobe Photoshop、Illustratorを使用し、制作プロセスを指定フォーマットにレイアウトすることで、ポートフォリオ制作の基礎を学ぶ。

教育目標としては、社会のニーズを考慮し、目的に合わせたデザインと必要に応じたソフトウエアの選択をする能力の育成。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、３D-CGの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

3DCGソフトのモデリングオペレーションの習得。
ワークフローの記録とそのレイアウト。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	前提講義、事例および作例の紹介		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	”		”
第3回	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”		”

第5回	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”		”
第7回	任意手法によるエスキース、デザイン画制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”		”
第9回	任意手法によるエスキース・デザイン画提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	”		”
第11回	Autodesk MAYA基礎オペレーション、チュートリアル		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	”		”
第13回	Autodesk MAYA基礎オペレーション、チュートリアル		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	”		”
第15回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	”		”
第17回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	”		”
第19回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”		”
第21回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	”		”
第23回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	”		”
	プレゼンテーションボード		予習45分：レクチャー内容の予習

第25回	の制作		復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	”		”
第27回	プレゼンテーションボードの制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	”		”
第29回	作品講評・採点	各自、作品についてのプレゼンテーションを行う。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容についての復習
第30回	”	”	”

教科書
無。（必要に応じ資料を配布する。）
参考書
各ソフトウエアマニュアルおよび解説書
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 ３ＤＣＧデータとプレゼンテーションボードの完成度100% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。
履修のポイント
制作資料の収集、リサーチ等が必要です。 ３DCGは少し難しいかもしれませんが、今後も需要が増えて行く分野です、とにかく体験してみることです。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：金曜日、10:50～11:00 1号館3F 104教室
科目区分
専門科目

講義コード	40350001
講義名	アニメーションI
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3308
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、映像作品（アニメーション）の専門的な知識や技術をレクチャーする、
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

本演習では、従来手法（手描きや立体アニメーションなど）とデジタル手法、または、その併用による映像作品を制作する。
制作指導は、各々の個性・主体性を尊重しながらも、グループ単位での指導を行い、共同作業をすることで個々の感性や技術力の向上を目指す。
アニメーション表現の可能性を追求と作品制作を通して映像編集の流れと、グループワークを学ぶことを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、アニメーションの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

映像制作のためのアプリケーション（Adobe AfterEffects、Premiere Pro）での基本的映像編集方法の習得。
完成作品をコンクール出品や動画サイトへの投稿することで社会と接点を持つ。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	前提講義、事例および作例の紹介		予習：シラバス内容の確認 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第2回	"		"
			予習：レクチャ

第3回	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペーレーションチュートリアル		ー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第4回	"		"
第5回	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペーレーションチュートリアル		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第6回	"		"
第7回	グループ分け、制作内容の検討		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第8回	"		"
第9回	グループミーティング、シナリオ、絵コンテの作成		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第10回	"		"
第11回	グループプレゼンテーション	グループごとに制作内容についてプレゼンテーションを行う。	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第12回	"	"	"
第13回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第14回	"		"
第15回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第16回	"		"
第17回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習

			45分
第18回	"		"
第19回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第20回	"		"
第21回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第22回	"		"
第23回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第24回	"		"
第25回	グループごとに映像編集 ＭＡ（ナレーションやアフレコ、効果音）作業		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第26回	"		"
第27回	グループごとに映像編集 ＭＡ（ナレーションやアフレコ、効果音）作業		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第28回	"		"
第29回	講評・採点	上映会を行うとともに、グループごとにプレゼンテーションを行う。	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第30回	"	"	"

教科書

無。（必要に応じ資料を配布する。）

参考書

各ソフトウエアマニュアルや映像編集の解説書など。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
１：課題評価70% ２：グループワークでの協調性30%。

1、２の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。
履修のポイント
グループごとに楽しく、面白がって制作すれば、結果に表れます。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：金曜日、14:50～15:00 1号館3F 104教室
科目区分
専門科目

講義コード	40360001
講義名	アニメーションII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3403
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	柏木　優希	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、個々のアイデアにユーモアや美的感覚を付加し、絵やものを動かす試みを通して、表現のオリジナリティーを追求することを教育の目標とする。参考作品としてさまざまな映像作品を鑑賞した後、決定したアイデアに沿って、粘り強く制作を進めることが求められる。制作技法に合わせて、素材作り、撮影、デジタル編集、効果音作りや書き出しまでを一通り行い完成とする。絵コンテチェック、中間講評を経て、最終日にアクティブ・ラーニングを取り入れた講評会を行う。

※本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得することを目指す。また、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズや変化に対応できる知識・技術を、映像制作を通して積極的に養う。

到達目標

動きのないものに表情や感情を持たせるには、どのような方法が効果的かを工夫できる。また、学生がさまざまな作品に触れる過程で、客観性や柔軟性を養い、幅広いアニメーション表現を理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	柏木優希	授業の流れの確認、参考作品鑑賞、データの取り扱いについての確認		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第2回	柏木	映像作品のリサーチ		予習45分：興味のあるアニメーション作品をリサ

	優希			ーチする
第3回	柏木優希	リサーチした作品のグループ発表	少数グループでリサーチした作品について発表、ディスカッションを行うことで、作品の魅力について理解を深める。	予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第4回	柏木優希	リサーチした作品について小レポート		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第5回	柏木優希	映像作品制作のプランニング		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第6回		映像作品制作のプランニング		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第7回	柏木優希	絵コンテ制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第8回	柏木優希	絵コンテ制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第9回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第10回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第11回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第12回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第13回	柏木	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーシ

	優希			ョンのオペレーションを確認する。
第14回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第15回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第16回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第17回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第18回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第19回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第20回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第21回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第22回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第23回	柏木優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
	柏			予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制

第24回	木 優希	映像制作		作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第25回	柏 木 優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第26回	柏 木 優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第27回	柏 木 優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第28回	柏 木 優希	映像制作		予習・復習45分：配布資料の読み直しと自身の制作に必要なアプリケーションのオペレーションを確認する。
第29回	柏 木 優希	データの書き出し 各編集ソフトのプロジェクトファイルからMP4などの動画データとして書き出す		復習45分：講評会のフィードバックをまとめる
第30回	柏 木 優希	講評会	お互いの完成作品を鑑賞する。制作した作品の説明や、鑑賞した作品に対する意見を述べる過程で、表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	復習45分：講評会のフィードバックをまとめる

教科書

無（必要に応じて資料や練習素材を配布）

参考書

Adobe公式チュートリアルなどを参考にすること。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
授業内課題の評価による。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

講評会における意見交換や批評、感想、及び個別指導時の対応を授業の理解に役立てる。

履修のポイント

自身の制作プランを立て、期限通りに取り組むこと。

オフィス・アワー

月曜日13：30～15：00、1号館122研究室
水曜日9：20～12：30、1号館122研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40370001
講義名	ＣＧイラストレーションI
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3309
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	漫画家としての実務経験を活かしデジタル作画における知識や注意点など具体例を挙げながら授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	三木 綾菜	指定なし

授業の概要と教育目標

CGイラストレーションを描く為に必要な機能やオペレーションを基礎から学ぶ。目標到達に向けた情報収集を行う。実践的なイラストレーションの制作方法を習得し、オリジナル作品に挑戦する。
CG技術は、イラストレーション・絵画等の芸術を表現する手段として近年その重要度を増している。画材を扱うようにCGを一つの道具として使いこなすことが出来れば、様々な領域に応用することが出来る。高度なスキルを身につけ、デザインやゲーム・アニメ等の業界で活躍することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、CG技術による顕示性の高い描画力と視認性の高いデザイン力を習得する。

到達目標

○「ClipStudio」「Photoshop」等の作成ツールを使用しCG技術を習得する
○コンピュータ周辺機器の的確なオペレーションを行う
○各種ショートカットを覚える
○完成度の高いヴィジュアル作品を制作する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	三木 綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 1		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	三木	仕様書作成《表情差分／三面図／		

	綾菜	小道具》 2		
第3回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 4		
第5回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 6		
第7回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 8		
第9回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	三木綾菜	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 10（作品提出） 講評会	講師による講評	
第11回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 1（授業概要説明）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 2（キャラクター考察）		
第13回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 4		
第15回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 6		
第17回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 8		
第19回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイン

				ト・配布資料の確認
第20回	三木綾菜	等身大アクションポーズキャラクター制作 10		
第21回	三木綾菜	背景描画 1		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	三木綾菜	背景描画 2		
第23回	三木綾菜	背景描画 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	三木綾菜	背景描画 4		
第25回	三木綾菜	背景描画 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	三木綾菜	背景描画 6		
第27回	三木綾菜	背景描画 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	三木綾菜	背景描画 8		
第29回	三木綾菜	背景描画 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	三木綾菜	背景描画 10（作品提出） 講評会	講師による講評	

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業態度３０%、課題完成度７０%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題毎に講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。

履修のポイント

作品の提出は完成されている事を前提としています。授業内で完成しない場合は時間外で完成させて提出するように努力してください。また、イラストの構想や下書きについても授業外で準備しておくことが望ましいでしょう。技術的な説明をする時はとくに欠席、遅刻等しないよ

うに注意してください。
オフィス・アワー
授業前もしくは授業後に教室にて質問を受け付けます。
科目区分
専門科目

講義コード	40380001
講義名	ＣＧイラストレーションII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3404
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、デジタルによるキャラクターデザインの専門的な知識や技術をレクチャーする、
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	大澤　秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

与えられたテーマ・キーワードに沿って求められる条件に自分の創造性を近づけてゆくことにより、自らの作品が商品として取り扱われる可能性があることを、課題制作を通して探求してゆく。
制約条件の元で最大限にオリジナリティを発揮する能力は、社会に出る前のウォーミングアップと捉えても良い。自分の興味に合った公募情報を収集するリサーチ力も問われる。また授業では、現代アーティストが作るキャラクター、海外のキャラクター、町おこし的マスコット、販売促進のため企業が考えたキャラクター等も紹介する。

教育目標：企業、フェスティバル等で募集されるキャラクターデザインの需要を理解し、学生個人の創造性やスキルと世の中の商業的ニーズを近づけ、卒業後の制作活動の幅や可能性を広げる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、キャラクターデザインの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

○ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用したキャラクター作成技術の習得
○ゲーム／デザイン業界で求められる汎用性のあるキャラクター作成能力の習得
○キャラクターデザインを募集している企業や公募展等に参加することで作品送付までの一連の流れを経験する
○情報収集能力、客観性、表現力や完成度などを強化する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
1			予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。

第 回	前提講義、キャラクター考察		復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	”		”
第3回	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	”		”
第5回	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	”		”
第7回	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	”		”
第9回	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	”		”
第11回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	”		”
第13回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	”		”
第15回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	”		”
第17回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	”		”
第19回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	”		”
第21回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー

	用		内容の復習
第22回	”		”
第23回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	”		”
第25回	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	”		”
第27回	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	”		”
第29回	作品講評、提出。	各自、作品についてのプレゼンテーションを行う。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容について復習
第30回	”	”	

教科書
無。（必要に応じて資料を配布する。）
参考書
無
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 キャラクターデザインプレゼンテーションボードの評価 100% 総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
プレゼンテーションを実施するとともに、個々に作品についての指導、講評を行う。
履修のポイント
アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる 目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める 授業態度等も重要視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：金曜日、14:50～15:00 1号館3F 104教室
科目区分
専門科目

講義コード	40390001
講義名	版画技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3310
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	松村　誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

　デザインやアート、芸術を学習する上で、版による表現方法を認識することは必要不可欠です。何故ならば、商業デザインにおいて印刷媒体との関係は切っても切れない関係であり、また純粋芸術の分野でも版画芸術は確固たる位置を占めています。この授業では、アルミ版によるリトグラフと銅版画（エッチング）の実習を行い、物質を通して間接的に表現し制作することを学びます。そして、版表現を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

　アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、版表現を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思います。そして作品を展示し、人々の講評を得ることも社会とのコミュニケーションだと考え目標とします。

到達目標

　版画技法を身につけることで優れたデザイナーやアーティストの育成を目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価、版画について） 平版による版画制作（金属版リトグラフ）	参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換する。	予習４５分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
	平版による版画制作（金属版リトグ		予習４５分：リトグラフに

第3回	ラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		ついて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		予習４５分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第14回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第16回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

	を使って印刷する。		
第17回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	凹版による版画制作（銅版画） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	凹版による版画制作（銅版画） ・銅板の版面に液体グランドを塗布する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	凹版による版画制作 ・グランド膜ができた銅版に下描きをする。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグランド膜をかき取るように描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグランド膜をかき取るように描画する。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	凹版による版画制作 ・腐食液（塩化第二鉄液）に銅板を浸して腐食する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を繰り返す。		予習４５分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を繰り返す。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第27回	凹版による版画制作 ・グランドをリグロインで落とす。腐食したところにインクを詰め込み、拭き取り、プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

教科書
無
参考書
無
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上 課題８０%、授業への参加度２０%
課題等に対する フィードバックの方法
実技授業で、制作された作品は展覧会などに出品し展示することを目指します。そして展示されることにより講評を得ることを目標とします。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。
オフィス・アワー
月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み） １号館１１１研究室で行う。
科目区分
専門科目

講義コード	40400001
講義名	絵画表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3206
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	松村　誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

　現代では、絵を描く道具や材料は既製品として販売されており、簡単に購入することができます。しかし本来、画材とは作家自身が自らの表現に合わせて自作してきたものでした。本授業では、支持体や接着剤を作成することを学び、絵具などを手作りします。ルネサンス期までイタリア他で盛んに描かれていた古典技法のテンペラ画を学習し、マチエール研究を行います。そして、あえて古典技法を研究することで、忘れつつある「本来の絵画制作の原点」を感じてもらい、各自の制作活動の新たな表現領域につながることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

　アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、古典技法を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思います。そして将来的な展望としては、画材を研究し、自らの制作活動に新たな表現領域を追求する真の作家を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

１、キャンバスによるジェッソ（下地剤）を利用したマチエール研究
２、学生がテンペラ技法における支持体と絵具の作成、描画ができることを目標とする。
３、学生が膠と顔料による描画ができることを目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバス張り、木枠に麻布を張る。	参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換をする。	予習４５分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	マチエール研究による絵画制作 ・クロッキー帳などにエスキ		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

	ース、アイデアスケッチをする。		
第3回	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバスに鉛筆で下描きをする。		予習４５分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		予習４５分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体作り、板に膠を塗る。（前膠）	参考作品を鑑賞し、テンペラ画に対する理解を深める。	予習４５分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （ムードンとチタニウムホワイトの顔料、膠液で塗料を作り、支持体に塗り重ねる。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （塗り重ね、乾いた下地をサンドペーパーで擦る。）		予習４５分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第14回	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体に鉛筆で下描きをする。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	テンペラ技法による絵画制作 ・メディウム作り。 （卵、ダンマルワニス、サンシックンドリンシードオイル		予習４５分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。

	で卵メディウムを作る。）		
第16回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第17回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	色紙に日本画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。	参考作品を鑑賞し、日本がに対する理解を深める。	予習４５分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	色紙に日本画制作 ・鉛筆で下描きをする。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第27回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		予習４５分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		予習４５分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習４５分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上 課題８０%、授業への参加度２０%
課題等に対する フィードバックの方法
実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。
オフィス・アワー
月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み） １号館１１１研究室で行う。
科目区分
専門科目

講義コード	40410001
講義名	ワークショップ・芸術教育
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3311
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	佐野 広章	指定なし
教員	柏木 優希	指定なし

授業の概要と教育目標

子供達は、自由な表現と創作意欲に満ち溢れています。幼児期から始まる表現のプロセスを理解し実践的に学び、年齢に合わせたカリキュラム作りのアイデアを多分に検討し、自己表現や過程を見つめ直し、芸術分野における指導の思考と技術を習得します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、専門分野の知識や技能で、絵画・造形教室での指導を実践できる知識・技術を修得する。

到達目標

○子供の表現の特徴を知ることができる
○自由に美術を楽しむ思考力を教育できる
○一人一人の違う個性を尊重した対応力を習得できる
○参考作品を作成する技術力を身につける

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	佐野広章 柏木優希	概要説明、計画、用具の説明 子供造形教室の内容と役割について学ぶ		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと
	佐			

第2回	野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク① 「アートカードゲーム」	絵画を素材としたゲームを考案し意見交換を行う（アクティブラーニング）	
第3回	佐野広章柏木優希	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理① 平面の視覚効果と構成を学ぶ		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク② 実技演習（小学校絵画・平面） 「百均造形（平面）」	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第5回	佐野広章柏木優希	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理② 立体物を抽象で表現する		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク③ 実技演習（小学校絵画・立体） 「百均造形（立体）」	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第7回	佐野広章柏木優希	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理③ 動きとは何？ を考察する		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク④ 実技演習（小学校絵画・自由研究） 「動くオモチャ制作 1 」 ※素材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

第9回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク④ 実技演習（小学校絵画・自由研究）「動くオモチャ制作 2 」 ※素材を持参		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク④ 実技演習（小学校絵画・自由研究）「動くオモチャ制作 3 」 ※素材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第11回	佐野広章柏木優希	発達段階を踏まえた美術指導について 子供の絵と心理④ 楽しむとは何？ を考察する		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク⑤ 実技演習（小学校絵画・自由研究）「ゲーム制作 1 」 ※ 素材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第13回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク⑤ 実技演習（小学校絵画・自由研究）「ゲーム制作 2 」 ※ 素材を持参		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	佐野広章柏木優希	自分を見つめるミニワーク⑤ 実技演習（小学校絵画・自由研究）「ゲーム制作 3 」 ※ 素材を持参	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第15回	佐野広章柏木優希	造形教室開催について 教室運営の方法、注意すべき点（保護者とのかかわり、事故、危険物について、ケア）		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第16回	佐野広章柏木優希	こども造形教室の企画立案	各自が企画したアイデアをプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第17回	佐野広章柏木優希	こども造形教室の為の見本制作 ①		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	佐野広章柏木優希	〃	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第19回	佐野広章柏木優希	こども造形教室の為の見本制作 ②		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章柏木優希	〃	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第21回	佐野広章柏木優希	こども造形教室の為の見本制作 ③		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	佐野広章柏木優	〃	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

	希			
第23回	佐野広章柏木優希	プログラムのディスカッション、シミュレーション①		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章柏木優希	〃	シミュレーションの結果を考察し意見交換する（アクティブラーニング）	
第25回	佐野広章柏木優希	プログラムのディスカッション、シミュレーション②		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	佐野広章柏木優希	〃	シミュレーションの結果を考察し意見交換する（アクティブラーニング）	
第27回	佐野広章柏木優希	プログラムのディスカッション、シミュレーション③		予習20分：次回実習内容に関連する情報収集 復習25分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章柏木優希	〃	シミュレーションの結果を考察し意見交換する（アクティブラーニング）	
第29回	佐野広章柏木	みどり市の小学生（１年生～４年生）を対象とした実践指導		復習45分：こども造形教室の実践内容を確認

	優希			
第30回	佐野広章柏木優希	〃	実践指導内容を意見交換し、こどもを対象とした造形教育について考察する（アクティブラーニング）	

教科書

無

参考書

無
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
課題完成度５０%、授業への参加度５０%を総合して評価。
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

既成概念に捕われず、新しい発想や個性的な表現を楽しむ。また表現を実践するにあたり、エプロンや白衣などを準備する。

オフィス・アワー

授業に関する質問：月曜日 12:30～13:20
佐野：121研究室
柏木：122研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40420001
講義名	フィールドワーク
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3312
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	佐野　広章	指定なし
教員	大日向　基子	指定なし
教員	小松原　洋生	指定なし
教員	及川　澄人	指定なし
教員	寺村　サチコ	指定なし
教員	野村　亜希	指定なし
教員	柏木　優希	指定なし
教　員	柳澤　顕	指定なし

授業の概要と教育目標

近年、産官学共同や地域連携プロジェクトなど、大学と産業界・行政が協力しながら社会に貢献する取り組みが各地で実施され、着実な成果を上げている。研究と教育を担う「学」にとって、こうしたプロジェクトは、学生が実践的に学ぶことのできる貴重な学修の場であることは言うまでもない。

本講座では、学外機関の協力のもと、与えられたプロジェクトの起点からフィールドワークを行い、現場で求められる課題を発見し、取り組むべきテーマを設定したうえで、プロジェクトとして企画・実行する。各専門教育で学んだ知識や技術が、社会のどのような場面で、どのように活かされるのかを実感できる授業となっている。なお、プロジェクトの企画・計画には経済的視点も求められ、商業的要素を多分に含むことから、本講座は商業施設士補の認定科目となっている。

履修対象者はアート・デザイン学科2年生全員を想定しており、用意された複数のプロジェクトのいずれか一つに参加する。授業時間は、協力機関の都合や企画内容等によりプロジェクトごとに設定され、休暇期間中や前後期にまたがって実施される場合もある。また、内容によっては交通費や画材購入費などの金銭的負担が生じるほか、医療施設等に立ち入る際には、自費による予防接種等が必要となる場合がある。グループでの活動が多くなるため、欠席のないよう十分留意してほしい。

本講座の教育目標は、専門分野を通して社会と直接関わる経験を積むことで、専門的な学びの必要性を体感し、今後の学修の方向性を主体的に見いだす力を育成することである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

フィールドワーク授業は、各分野で学修してきた知識や技能を統合し、グループワークを通してコミュニケーション能力を高めるとともに、そこで得られた学びを社会の現場で実践していくことを目的とした授業である。こうした学修内容と学びのプロセスから、本授業は、下記に示すアート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー（大学卒業までに身につけるべき力）の達成に直結する、最も重要な科目の一つとして位置付けている。

1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する力。
2) 対象の理解に基づいて表現するための知識・技能、ならびに選択した専門分野に関する知識・技能。
3) 実践的なデザイナーやアーティストとして社会で活躍するために、多様な社会的ニーズや変化に対応できる知識および技術。

到達目標

アート・デザインに関わる仕事は、依頼者をはじめとする複数の専門家と協力しながら遂行される場合が多い。業務におけるフィールドワークは、与件の確認やプロジェクトに内在する多様な可能性を発見するために行われる重要なプロセスである。

本講座の学習目標は、フィールドワークを通して、社会や仕事の現場において何が求められているのかを的確に把握する力を養うことである。あわせて、フィールドワークによって得られた結果を尊重し、第三者と協力・協働しながら業務を進めるための姿勢と能力を身につけることを目的とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業概要説明、各プロジェクトについての詳細について説明。		予習20分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習25分：講義内容の確認
第2回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 ※業界や製品について（概念、機能、設備、組織） ※必要に応じてフィールドワークも行う。 ※前期は５限９０分で授業を行う予定。その後は夏季集中授業として実施する。		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習する。
第3回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		〃
第4回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		〃
第5回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		〃
第6回	・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。		〃
		各プロジェクトごとにリサーチ結果をまとめ、プレゼンテーションを行う。	

第7回	・デザイン提案作成。	内容についてディスカッションするとともに、今後のスケジュールについて決定する。	〃
第8回	〃	〃	〃
第9回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第10回	〃		〃
第11回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第12回	〃		〃
第13回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第14回	〃		〃
第15回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第16回	〃		〃
第17回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第18回	〃		〃
第19回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第20回	〃		〃
第21回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第22回	〃		〃
第23回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第24回	〃		〃
第25回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第26回	〃		〃
	・各プロジェクトごとに制作を進め		

第27回	る。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見いだし、年度内の完成を目指す。		〃
第28回	〃		〃
第29回	プロジェクトごとのプレゼン資料完成	各プロジェクトごとに関係する協力機関等にて、プレゼンテーションする。	〃
第30回	〃	〃	復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習する。

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定　60点以上
各努力目標に対する達成度：70%、作品や活動の質：30%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各プロジェクトチームにおいて、プレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）講評を適宜実施する。

履修のポイント

各プロジェクトごとに必要な準備（材料、情報、資料収集等）は、担当教員の指示に従い事前に準備すること。
グループで行動することが多いので、出席や集合時間等、行動に責任を持つ事。

オフィス・アワー

授業に関する質問:木曜日　12:30〜13:20
佐野　：121研究室
小松原：124研究室
及川　：131研究室
大日向：123研究室
柳澤　：111研究室
寺村　：112研究室
柏木　：122研究室
野村　：125研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40430001
講義名	ＣＡＤ演習
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3313
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CADオペレーターとしての実務経験に基づき、CADソフトの基礎知識について講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	野村 亜希	指定なし

授業の概要と教育目標

本演習では、CADソフトの基本操作を習得し、住宅や商業施設を題材にした図面のトレース課題により設計図面の理解を深める。
CADソフトの数値入力による寸法表現を習得することにより、より正確な建築的、工業的なものづくりの姿勢を身につける。インテリア設計において必要となる平面図、天井伏図、展開図、家具図等の基本的な描き方を交えて練習する。本演習は、商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本演習では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得のために、CADソフトの基本操作とものづくりの基本となる製図の基礎の習得を目指す。

到達目標

学生は、以下の3項目を到達目標とする。
1.CADソフトの理解
2.設計図面の理解
3.スケールの理解

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	野村 亜希	Vectorworksの基本操作 ライセンス取得と環境設定	予習45分：教科書Chapter1 SECTION1-1を読む。
第2回	野村 亜希	Vectorworksの基本操作 CADソフトの基本操作について学ぶ。	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第3回	野村 亜希	図形の作図 各種ツールの使い方を学び、平面図形の作成と編集方法を学ぶ。	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
	野村	基本形状の作成1	復習45分：学習範囲の教科書を読み

第4回	亜希	基本的な形の作図方法を学ぶ。	直す。
第5回	野村 亜希	基本形状の作成2	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第6回	野村 亜希	基本形状の作成3 作図課題	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第7回	野村 亜希	家具図の作成1	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第8回	野村 亜希	家具図の作成2 三面図と寸法の入力を学ぶ。	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第9回	野村 亜希	平面図の作成1	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第10回	野村 亜希	平面図の作成2 壁ツールについて学ぶ。	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第11回	野村 亜希	天井伏図の作成1	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第12回	野村 亜希	天井伏図の作成2 照明計画図の作成	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第13回	野村 亜希	展開図の作成1	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第14回	野村 亜希	展開図の作成2 建具の展開	復習45分：学習範囲の教科書を読み直す。
第15回	野村 亜希	これまでの授業内容の総括 作図応用課題	予習45分：これまでの授業内容、教科書を再確認する。

教科書

Aiprah著『VECTORWORKS パーフェクトバイブル 2023/2022対応』、翔泳社

参考書

授業内で適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業内課題による評価を100%とする。
※本授業では定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

Teamsを使用し、採点とコメントの返信を行う。

履修のポイント

ソフトの操作説明が多いため、遅刻欠席を行うと課題への取り組みに支障があるので、遅刻や欠席した場合には該当する教科書の内容を自習して次の授業に参加すること。

オフィス・アワー

水・金 13：30～16：30 125研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40440001
講義名	パフォーマンスアート
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3405
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	芸術祭等において身体表現にかかわる作品を発表
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向　基子	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインを学ぶ学生が使い慣れたツールや環境から一旦離れ、パフォーマンスアートの歴史的背景や実践を学ぶことにより、心身を解き放ち自らの創作意欲が刺激されることを目標としている。講義と実践を織り交ぜた本授業では、歴史、理論、主要なアーティストについての知識を深めると共に、パフォーマンスアートにおける身体表現の可能性を自ら探り、テーマに沿って表現する力を養う。

簡単なウォーミングアップは行うが、あくまでも特別な身体的訓練を受けていない学生が新たな気付きを得るための授業であり、ダンスなどのスキルの習得は求めていない。

ダンス、伝統芸能、武術、現代美術等の領域で活躍するゲストを迎え、表現のインスピレーションを得るためのワークショップを予定している。（開催時期、ジャンルは調整後に連絡）

※ゲストのスケジュールにより各回の内容が前後する可能性あり

※集団行動が苦手な学生も構えずに参加可能な内容である

※本授業では、授業の記録を目的として写真および動画の撮影を行うため、その内容を十分に理解し、了承した上で履修すること

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、パフォーマンスアートの講義と実践を通して得た新たな視点で自己を見つめ直し、各自の専門分野に還元することを目指す。

到達目標

創造的思考の促進、領域横断的な発想の強化、心身の解放を本授業の到達目標とする。

自己表現と批判的思考を育みながら、独自のコンセプトを発展させ、パフォーマンスアートを実行する能力を養う。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義（今後の授業の流れについて、ダンス映画など）	相互理解を深めるための自己紹介	予習：45分　パフォーマンスアートについての事前リサーチ
第2回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第3回	大日向基子	講義　20世紀前半の美術（パフォーマンスアートの萌芽、前衛的な試み、未来派、ダダ、超現実主義 、バウハウスなど）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第4回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第5回	大日向基子	講義　20世紀半ばの美術と舞踊（ブラックマウンテン・カレッジでの試み、ハプニング、新しい舞踊など）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第6回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第7回	大日向基子	講義　20世紀後半の美術と舞踊1（フルクサス、ジャドソン教会派など）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第8回	大日向基子	ウォーミングアップ　ジャドソン教会派の試みを体験	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第9回	大日向基子	講義　20世紀後半の美術と舞踊2（ボイス、クライン、マンゾーニ、土方巽など）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第10回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第11回	大日向基子	講義　20世紀後半の美術と舞踊3（概念的、肉体的、儀式的、GUTAIなど）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第12回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
				復習：45分　授業

第13回	大日向基子	講義　20世紀後半の美術（自伝的、ウィルケ、ホーンの試み、フェミニズムなど）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第14回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第15回	大日向基子	講義　20世紀後半の美術1（パフォーマンスの周辺　ウィルスン　集団行為など）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第16回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第17回	大日向基子	講義　20世紀後半の美術2（ビークロフト、アブラモヴィッチ、スプツニ子！、蔡国強、マシュー・バーニーなど）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第18回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第19回	大日向基子	講義　舞踊、伝統芸能、演劇など	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第20回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第21回	大日向基子	講義　美術とパフォーマンスの現在（リレーショナル・アート、SEA、ティノ・セーガルなど）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第22回	大日向基子	ウォーミングアップ	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第23回	大日向基子	講義　身体表現の可能性（コンドルズ、砂連尾理、森山開次、黒田育世、カントール、ケントリッジ、グリーナウェイ、Strange Fruitなど）	要点や意見、感想をまとめて担当教員に提出	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第24回	大日向基子	ゲストによるトークとワークショップ	質疑応答、ワークショップ参加	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第25回	大日向基子	ウォーミングアップとパフォーマンス作品の準備	ペアワークなど	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第26回	大日向	パフォーマンス作品の準備	ペアやグループの場合は完成に	復習：45分　授業内でのアドバイス

	基子		向けて内容を検討する	をもとに内容を検証する
第27回	大日向基子	ウォーミングアップとパフォーマンス作品の準備	ペアやグループの場合は完成に向けて内容を検討する	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第28回	大日向基子	パフォーマンス作品の準備	ペアやグループの場合は完成に向けて内容を検討する	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第29回	大日向基子	ウォーミングアップとパフォーマンス作品の発表	講評会での質疑応答、ワークシートへの記入	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第30回	大日向基子	パフォーマンス作品の発表	講評会での質疑応答、ワークシートへの記入	復習：45分　授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第31回				

教科書

無

参考書

舞踊教育研究会（代表・片岡康子）編『舞踊学講義』、大修館書店
エリカ・フィッシャー＝リヒテ『パフォーマンスの美学』、論創社
Amelia Jones『Body Art/Performing the Subject』、University of Minnesota Press
RoseLee Goldberg『Performance: live art since the 60s』、 Thames&Hudson
ローズリー・ゴールドバーグ（中原佑介訳）『パフォーマンス：未来派から現在まで』、リブロポート他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上　授業への参加度　50点　最終授業での課題発表　50点
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

授業の内容については随時質問を受け付けている。ゲストトーク、15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。

履修のポイント

授業内で紹介するアーティスト、振付師、伝統的舞踊、映像等を各自でリサーチすること。積極的な取り組みが望ましい。動きやすい服装、シューズで参加。

オフィス・アワー

火曜日　12:45-13:30　123研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40450001
講義名	デザイン史
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3107
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	担当教員の社会で゛のデ゛サ゛イン活動と大学で゛の研究教育活動を背景とした授業。実務で゛役立つデ゛サ゛インの歴史についてホ゜イントを伝える授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川　澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

「デ゛サ゛イン」とは、目的に対して機能性や経済性など゛の付加価値を考慮しなが゛ら造形(表現)することで゛あるとすれば゛、デ゛サ゛インされた製品の造形(表現)は、社会の価値観や時代の風潮など゛も包括する「環境」の影響をうけているといえる。このような観点から、過去にデ゛サ゛インされた製品の造形(表現)を観察すると、それが゛つくられた「環境」を推察することが゛可能で゛あろう。そこで゛本講座で゛は、各時代の製品や造形(表現)に着目して、19世紀半ば゛以降から現代まで゛の「デ゛サ゛イン」とそれに影響を与えた「芸術運動」ついて時間軸に沿って考察する。造形(表現)のそれぞ゛れの環境(各国各時代)における意味および゛表現の理由など゛について解釈していく。

なお本講座は、デ゛サ゛インやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得と、先人たちが゛歩んだ゛軌跡から今後における新たなデ゛サ゛インの役割について示唆を得ることから、デ゛サ゛インやクリエイションの現場で゛出現するさまざ゛まな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、アート・デ゛サ゛イン学科のデ゛ィフ゜ロマホ゜リシー;「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、デ゛サ゛インやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得を目指す。また、デ゛ィフ゜ロマホ゜リシー;実践的なデ゛サ゛イナーやアーティストとして活躍で゛きるように、多様な社会のニース゛、変化に対応で゛きる知識・技術の修得のために、本講座で゛は、デ゛サ゛インやクリエイションの現場で゛出現するさまざ゛まな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつことを目指す。

到達目標

学生は、以下の3項目を到達目標とする。
1.デ゛サ゛インやクリエーションに関わる歴史的な知識の習得
2.先人たちが゛歩んだ゛軌跡から今後を想像する力の習得
3.デ゛サ゛インやクリエイションの現場で゛出現するさまざ゛まな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつ

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	「授業の概要」と「デザインとアート」について ロートレック他		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	新しい「技術」が新しいデザインを生み出し、新しい「美」の概念が出現した時代 イギリス産業革命他	授業内課題１の出題	予習:90分 周辺にある製品を一つあげ、それがいつごろつくられたものなのか調べる 復習:90分 出題された課題をまとめる
第3回	「装飾」の価値が「デザイン」の価値と融合した時代 ウィリアムモリス、マッキントッシュ他		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	「アールヌーボー」とは エクトール・ギマール、ミュッシャ他		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第5回	19世紀末から20世紀初頭　ヨーロッパで流行した曲線的な様式 ピーター・ベーレンス、クリムトほか	<アクティブラーニング> 学生が作成したレポートについて意見交換する	予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	アントニオ・ガウディ		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第7回	1900年頃の「装飾的」グラフィックデザイン ゴーギャン、ポール・セリジェほか	授業内課題2の出題	予習:90分 好きなイラストを選んでおく 復習:90分 出題された課題をまとめる
第8回	「産業」が発達して合理化が意識される時代 ドイツ工作連盟、ブルーノ・タウト、コルビジェほか		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	「バウハウス」合理性を追求したデザイン ヴァルター・グロピウスほか	<アクティブラーニング> 学生が作成したレポートについて意見交換する	予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	「オランダ」「イタリア」での造形運動 モンドリアンほか		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	「ロシア構成主義」・「キュビズム」・「ダダイズム」 カジミール・マレービッチ、ピカソ、デュシャンほか		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	「アール・デコ」近代都市生活における装飾デザイン ラリック、カッサンドルほか		予習:90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で講義したセクシ

			ョンの復習をおこなう
第13回	授業内試験 ※授業内試験は、授業スケジュールにより第14回に行うことがある。		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう
第14回	「大量生産・国際化」の観点から考察する バックミンスター・フラー、イームズほか		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう
第15回	現代のデザイン　新たなデザインの始まり ポストモダン、メンフィスなど		予習:90分 授業で゛講義するセクションの予習をおこなう 復習:90分 授業で゛講義したセクションの復習をおこなう

教科書
無
参考書
暮沢 剛巳/伊藤 潤/山本 政幸/天内 大樹/高橋 裕行 著「デザインの歴史」、学芸出版社 発行
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上、2回の事例研究課題の成果(40%程度)と、1回の授業内試験(60%程度)による。
課題等に対する フィードバックの方法
デ゛ィスカッション課題は授業内で゛フィード゛バ゛ックする。事例研究課題、レホ゜ートのフィード゛バ゛ックは授業内で゛おこなわず゛、授業外で゛希望者のみ個別におこなう。また、講義ノートを配布し、履修学生は授業内試験で自由に活用で゛きる。
履修のポイント
講義ノートを作成すること
オフィス・アワー
月曜日,16:30-18:10,及川研究室(1号館131)
科目区分
専門科目

講義コード	40460001
講義名	ユニバーサルデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3406
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとに、実務で役立つユニバーサルデザインのポイントを示す授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川　澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

近年までの大量生産、大量消費を前提としたデザインは、市場の最大公約数を対象とし、いわゆる健常者と括られている人のみを意識したものであったと言えよう。しかし、健常者といえども障がいを得る可能性や、加齢という観点からも永遠にそうあり続けるとは限らない。そのうえ、人には各々に身体能力や感覚、アイデンティティにも異なりがあることを忘れてはならない。すなわち、我々の生活する社会には「さまざまな人」が存在していると捉えるべきであり、今後における製品や空間のデザインにおいても、対象とする「人」とは、特定の「人」ではなく「さまざまな人」であると考えるべきであろう。本講座では、以上のような観点からデザイナーやクリエイターを目指す私たちが、これからの社会にとって相応しいデザインを創出していくためのユニバーサルデザイン（UD）の基礎知識と実践例を学び、今後の社会でのデザイナーの業務や姿勢などについて議論する。

なお本講座は、UDの原則を理解してUDを実践するための知識を習得し、UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目標とする。また本講座は、商業施設士（補）資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座ではUDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目指す。

到達目標

学生は、以下の3項目を到達目標とする。
1．UDの原則の理解
2．UDを実践するための知識の習得
3．UDの意識をもって社会に貢献できる能力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
			予習：90分

第1回	「授業の概要」と「ユニバーサルデザイン（UD）について」 ユニバーサルデザインの事例紹介	＜アクティブラーニング＞ 身近なユニバーサルデザインについて、グループで意見交換する	周辺にあるUD製品を一つあげて使用方法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	ユニバーサルデザインを学ぶ前に、まず知っておきたい（認識したい）こと 我々の現状：国民性 について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第3回	我々の現状：「経済と産業」 お金について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	ユニバーサルデザインの出現 ユニバーサルデザインの歴史について ロナルド・メイス、ノーマライゼーションほか		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第5回	デザインの対象となる人々について 加齢と幼齢、妊婦		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	＜事例研究課題１＞ 「観察」をテーマにレポート作成		予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第7回	障害と身体の動き・心理について 我が国の障害者認定	<アクティブ゛ラーニング゛＞ 学生が作成したレポートについて意見交換する	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	身体の動き・人々の「心理」 製品や空間を企画・デザインす		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう

	る側の姿勢 観察と実験		復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	＜事例研究課題２＞ 障がいを得た状態をつくり観察と実験を実施する	＜アクティブラーニング＞ 視覚障害を想定した体験型の実験をおこない、グループで意見交換する	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	＜事例研究課題２＞ 障がいを得た状態をつくり観察と実験を実施する	＜アクティブラーニング＞ 視覚障害を想定した体験型の実験をおこない、グループで意見交換する	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	＜事例研究課題２＞ 障がいを得た状態をつくり観察と実験で得た記録に基づきレポートを作成する		予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第12回	「UDの7原則と3つの附則」 UDの7原則について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第13回	「UDの7原則と3つの付則」 3つの附則について	<アクティブ゛ラーニング゛> 学生が作成したレポートについて意見交換する	予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	授業内試験		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第15回	総括、動画による事例で振り返る		予習：90分 全てのセクションの復習をおこなう 復習：90分 授業内試験の復習をおこなう

教科書
無
参考書
中川聰 監修「ユニバーサルデザインの教科書」、日経BP社 発行 宮入賢一郎／実利用者研究機構 著「ユニバーサルデザインの本」、日刊工業新聞社 発行
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上、2回の事例研究課題の成果（40%程度）と、1回の授業内試験（60%程度）による。
課題等に対する フィードバックの方法
ディスカッション課題は授業内でフィードバックする。事例研究課題、試験のフィードバックは授業内でおこなわず、授業外で希望者のみ個別におこなう。また、講義ノートを配布し、履修学生は授業内試験で自由に活用で゛きる。
履修のポイント
講義ノートを作成すること
オフィス・アワー
月曜日，16:30-18:10，及川研究室（1号館131）
科目区分
専門科目

講義コード	40470001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3207
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

日常会話では、「言葉」とともに「表情」や「身振り」などを使用して情報のやりとりをしている。日々を生きていくなかで、重要な場面や作品のプレゼンテーションをする時などでは、周囲の人たちに受容されるコミュニケーションが求められる。
この講義では、言語コミュニケーションだけでなく、「非言語コミュニケーション」にも着目し、アートやデザイン、表現者(クリエイター)にとってのプレゼンテーション、および商行為や職場での打合せなどの場面を念頭においたコミュニケーション手段の可能性とその方法論を学ぶ。社会に出たあとに役立つマナーについても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この講義は、胸を張って生きられる社会人になるための基本となるコミュニケーションの技術を学ぶ。また自身の作品などをスムーズに、無理なく伝えるプレゼンテーション能力を磨くことを教育目標とする。なお本講義は、商業施設士（補）資格の指定教科となっている。

到達目標

以下の４項目を到達目標とする。
1．生活するうえでの円滑なコミュニケーションの必要性についての理解
2．コミュニケーション技術の習得
3．自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力の習得
4．社会人として自分の意見等を自信をもって伝えられるコミュニケーション能力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	コミュニーケーションの目的と実例		復習（授業の振り返り）に180分。
	橋			予習（参考資料等の熟読）

第2回	爪博幸	多様なコミュニケーション １on１関係の重要性		に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第3回	橋爪博幸	人間関係に見られる交換関係と共同関係		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第4回	橋爪博幸	良好な関係づくりに必須の礼儀作法		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第5回	橋爪博幸	食事のマナー －パーティーでの振る舞いを考える－		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第6回	橋爪博幸	さまざまな心理現象 －サブリミナル効果、ハロー効果－		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第7回	橋爪博幸	騙されないためのコミュニケーション		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第8回	橋爪博幸	多発する詐欺と詐欺師のコミュニケーション		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第9回	橋爪博幸	動物や植物、動植物同士のコミュニケーション	ペットや観葉植物との交流についてレポートを作成する	予習（参考資料の確認やレポート作成）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第10回	橋爪博幸	動植物と人間とのコミュニケーション		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第11回	橋爪博幸	ギフト・コミュニケーション－未開社会における意思伝達、部族間の交流－		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第12回	橋爪博幸	リーダーシップと組織内コミュニケーション		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第13回	橋爪博幸	多文化共生を実現するための情報伝達、地域づくり		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第14回	橋爪博幸	コミュニケーションにおける身ぶり、手ぶり、熱意の重要性		予習（参考資料等の熟読）に90分、復習（授業の振り返り）に90分。
第15回	橋爪博	高度情報化社会におけるコミュニケーション力の重要性		復習（授業の振り返り）に180分。

	幸			

教科書

無。授業内でプリントを配布する。

参考書

鹿野晴夫・大塚千春『対話力を伸ばす ビジネスコミュニケーション講座』日経BP、2009年など。

成績評価の方法・基準

100点満点で60点以上。レポート課題などの成果（40%）と授業内試験（60%）で評価する。

課題等に対するフィードバックの方法

事例研究課題のフィードバックは授業内でおこなう。

履修のポイント

授業を欠席しないようにしてください。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みをオフィス・アワーとします。９号館３階第６研究室にきてください。

科目区分

専門科目

講義コード	40480001
講義名	くらしのデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3314
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	住宅部材のデザインや内装設計業務の経験に基づき、生活文化とデザイン活動のありかたや造形表現・商品開発等の手法と社会的意義を解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

生活文化全般に関わる、衣（医）・食・住のデザイン。
人類の歴史の中でつくられた様々な造形・芸術・デザイン活動が社会とどう関わり影響を与えてきたか、その表現形態に込められた思いやメッセージを探り、デザインの社会的な役割を探求していきます。
造形物の表現意図や社会背景、メディアの選択や活用による情報伝達等、過去の実例と未来における可能性を考察し、デザイン活動を行う上での情報分析力（デザインを見る知性と感性）と企画構成力（デザインを創り出す視点と着想）の基礎を探求していくことを目標とします。
また、本講座は商業施設士（補）資格の指定教科です。
「生活文化全般から、衣（医）・食・住 のデザインに関連した商業空間の企画や計画」についての基礎的な思考力や構成力の修得をめざします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会の中で、アートやデザインの活動により、新たな生活文化の価値を創造し、社会環境の改善と、生活文化の発展に貢献できる情報の探求、分析と活用、そして再構築のプロセス、企画構成力の基礎を修得すること。

到達目標

自らが取り組む研究課題や制作主題に対し、その歴史や発展と現代における「人間の生活空間」における意義や役割を多面的に理解すること。
アートやデザインの対象となる「もの」や「こと」の本質を探究し、表現に生かせる専門的な「知識」や「技能」を修得すること。
社会に役立つアートやデザインの担い手として、「もの」や「こと」の新たなる方向性を思索し、提案していくことができるプロセスの修得を目標とします。

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必

	者			要な時間
第1回	峰岸康之	「生活文化とデザイン」 アート・デザインと生活文化（くらし）の関わりについて考察します。		予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
第2回	峰岸康之	「形の美」 古代文物、伝統文様、宗教美術、寺院建築、民族衣装等の写真資料から、造形表現に込められた意味を探ります。	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
第3回	峰岸康之	「芸術と技術」 芸術表現と科学技術のかかわりを、様々な分野の造形物の表現から考察してみます。		予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
第4回	峰岸康之	「ものの形」 身近な生活用具の形を、その起源や社会環境、生活様式等、多様な着眼点から探求する課題に取り組みます。	課題レポート１	予習として資料の確認読み込み90分復習として関連事項の調査考察90分
	峰	「デザインのはじまり」 近代デザイン、特にアーツアンドクラフツ		予習として資料の確認読み込

第5回	岸康之	運動やバウハウスの理念と、現代のデザイン教育やデザインビジネスへの関連や共通課題について考察します。	課題のテーマ選定のための情報収集活動を行う。	み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第6回	峰岸康之	「アートデザインと知的財産権」 多様な情報環境の現代、次々と新たにつくられていくアートやデザイン。知的財産権と、「もの」や「こと」を創造する姿勢について考察を進めます。		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第7回	峰岸康之	「事例研究」 視覚表現とデザイン１	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第8回	峰岸康之	「事例研究」 視覚表現とデザイン２	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第9回	峰岸康之	「事例研究」 空間表現とデザイン	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
				予習と

第10回	峰岸康之	「事例研究」 身体装飾とデザイン	提示資料を観察し造形物の特徴や制作意図について「アクティブラーニング」型式の意見交換、討論を行う。	して 資料の確認読み込み90分 復習として 関連事項の調査考察90分
第11回	峰岸康之	「情報技術とデザイン」 ＩＴ技術の進歩発達による生活における様々なモノと情報の変化を考察し、メディアとアートデザインの新たな可能性を探り、考察します。	課題レポート２	予習として 資料の確認読み込み90分 復習として 関連事項の調査考察90分
第12回	峰岸康之	「デザイン開発のプロセス」 マーケッティング手法、多様なセグメンテーションと分析	課題のテーマ探求のための情報収集と分析活動を行う。	予習として 資料の確認読み込み90分 復習として 関連事項の調査考察90分
第13回	峰岸康之	「デザインレビュー」 商品の構想・企画・設計・試作・量産の過程	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として 資料の確認読み込み90分 復習として 関連事項の調査考察90分
第14回	峰岸康之	「デザインの可能性」 多様な着眼とデザインの可能性	課題レポート３	予習として 資料の確認読み込み90分 復習として 関連事

				項の調査考察90分
第15回	峰岸康之	「新たな生活文化の創造」 総論 ／まとめ	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分

教科書

無。独自の資料を作成・配布し、参考文献や情報を随時紹介していきます。

参考書

三井秀樹『形の美とは何か』、日本放送出版会
後藤武/佐々木正人/深澤直人『デザインの生態学』、東京書籍
原 研哉『デザインのデザイン』、岩波書店

成績評価の方法・基準

課題レポート１（３５%）課題レポート２（２０%）課題レポート３（４５%）により評価、単位認定 ６０点以上 とします。

課題等に対するフィードバックの方法

提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や展開に対する取り組みを、小論文型式のレポート作成提出という形で研鑽していきます。
課題の着眼において、手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、造形への展開方法などを提示し、理解を深め、研究や制作へ向かい、課題解決力を育んでいけるようフィードバックを行っていきます。

履修のポイント

アート・デザインと生活文化（くらし）の関わりを様々な側面から考察していきます。
他授業の作品やレポート課題、卒業制作へ取り組む際のプロセスノウハウとしても役立てましょう。

オフィス・アワー

非常勤）
前期 ： 水曜日 午前
＊個別に質問や相談事項がある場合は、講義の前又は後に申し出てください。

科目区分

専門科目

講義コード	40490001
講義名	美術史
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3108
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、古代から現代に至る西洋美術の流れを体系的に学び、各時代の作品・様式・思想がどのように発展し、相互に影響し合ってきたのかを理解することを目的とする。代表的な作家や作品を取り上げながら、歴史的背景・文化的文脈を踏まえた鑑賞力を養い、作品を読み解くための基礎的知識を身につける。また、授業内のディスカッションを通して、多様な視点から美術を捉える姿勢を育て、実制作や今後の学習に活かせる思考力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

美術史の学習は、アート・デザイン分野における基礎的知識の習得と、作品を多角的に理解する力の育成に寄与する。歴史的・文化的背景を踏まえて作品を分析する姿勢は、専門的表現力の向上や社会的視野の拡大につながり、卒業後の進路においても必要とされる判断力・教養の基盤となる。本授業は、学科のディプロマ・ポリシーが掲げる「専門的知識の習得」「社会的ニーズに応じた柔軟な思考力の育成」に対応する科目である。

到達目標

○古代から現代に至る美術史の主要な流れを理解し、各時代の特徴や代表的な作家・作品について説明できるようになる。
○作品を鑑賞する際に、歴史的背景・文化・思想などの文脈を踏まえて考察できるようになる。
○多様な視点から美術を捉える姿勢を身につけ、自身の制作や研究に応用できる鑑賞力・分析力を獲得する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション、西洋美術史概論（授業の進め方、成績評価など）		復習45分：指導内容の復習
			予習45分：

第2回	古代、ギリシア・ローマ美術について検証し、講義する。		指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第3回	ビザンティン、ロマネスク、ゴシック美術について検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第4回	ルネサンス美術について検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第5回	北方ルネサンス、マニエリスムについて検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ ルネサンスについてのディスカッション、意見交換。	ルネサンスについてディスカッションし、意見交換する。	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第6回	バロックとロココ美術について検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第7回	新古典主義、ロマン主義、写実主義について検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第8回	印象主義、新印象主義、ポスト印象主義について検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ 印象主義についてのディスカッション、意見交換。	印象主義についてディスカッションし、意見交換する。	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第9回	象徴主義、ナビ派、フォービスムについて検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第10回	キュビスム、未来派、ダダイスムについて検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
			予習45分：指導内容の

第11回	表現主義、抽象芸術、構成主義について検証し、講義する。		予習 復習45分：指導内容の復習
第12回	シュルレアリスムと抽象表現主義について検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第13回	ネオ・ダダとポップ・アートについて検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第14回	ミニマル・アート、コンセプチャル・アート、ランド・アートについて検証し、講義する。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第15回	新表現主義、シミュレーショニズム、グラフィティついて検証し、講義する。 ［アクティブ・ラーニングの内容］ ２０世紀の美術についてのディスカッション、意見交換。	２０世紀の美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習

教科書

無

参考書

池上英洋 川口清香 荒井咲紀『いちばん親切な 西洋美術史』、新星出版社
高階秀爾 監修『増補新装 カラー版 西洋美術史』、美術出版社
末永照和『増補新装 カラー版 20世紀の美術』、美術出版社

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上
小テスト・レポート・課題８０%、授業への参加度２０%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

毎回資料を配布する。
授業内でレポートや課題を課すことがあり、返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

美術史では、時代の流れや様式の変化を体系的に理解することが重要であり、そのためには継続的な復習が欠かせない。また、美術館やギャラリーで実物の作品に触れたり、資料を参照したりすることで、講義内容をより深く理解し、鑑賞力を高めていくことを期待する。

オフィス・アワー

水曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み）
１号館１１１研究室で行う。

科目区分

専門科目

講義コード	40500001
講義名	コミック・アニメ文化論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3109
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	漫画家としての雑誌掲載経験をもとに、マンガ・アニメの歴史や理論を、作品例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	三友　恒平	指定なし

授業の概要と教育目標

日本は、マンガやアニメーションの文化的レベルにおいて世界を圧倒的にリードし、特異な進化を遂げてきた。　日本以外のほとんどの国ではマンガやアニメの類は基本的に子供向けであり、大人のためのマンガが存在し、それを実際に大人が真剣に読んでいる国などと言うのは、我が国以外では他に余り例がない。
こうした状況がどのようにして生まれ、現在に至っているのかについて多角的に学んで行く。
また作品の理解を深めるため、歴史・作品の学習に並行して物語の組み上げ方の
基本学習を行う。
　＊シラバスの内容についてはマンガ・アニメの最新情報、授業進行上の状況により変更する場合もある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アートデザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、国を代表する文化の一つとなり、世界的にも高い評価を受けているマンガやアニメーションについて学び、より広い知識を身につける事で理解を更に深めて行く。
また実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するためには、コミュニケーション、伝達性の面から見て物語性の理解もまた有効な手段の一つである。その技術的な骨組みを理解することで深い考察能力を身につけ、物語性を各自の作品制作等にも取り入れることができ、多様な表現の幅を持ち社会のニーズや変化に対応できるアーティストを育成する事を目的とする。

到達目標

◯ 日本のマンガ・アニメが発達して行く過程と要因について理解できる。
◯ 手塚治虫に代表される作家達の作品が与えた影響、時代背景等を理解できる。
◯ 魅力的なキャラクターの制作意図、またストーリーの骨組み、それら必要な手順を理解できる。
◯ キャラクターやストーリー作りを、作品考察の補助とするとともに、自らも作り出すことができるようになる。

授業計画

	担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要

	者			な時間
第1回	三友恒平	オリエンテーション 授業の概要について・評価方法について・その他留意点等	漫画体験実習。配布された四コマ漫画(二コマ目まで記入済)の続きを考え、各自で記入し物語として完結させる。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第2回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か① 		予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第3回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か② 	キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴二種類を使い、キャラクターを作る	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第4回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か③ 	キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴二種類を使い、キャラクターを作る	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第5回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ①　＋　物語の文法① 		予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第6回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ②　＋　物語の文法　② 		予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第7回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ③　＋　物語論　プロップ31の機能　① 	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考プリントの手順に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第8回	三友	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ④　＋　物語論　プロッ	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考プリントの手順に従い各自で書き進	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配

	恒平	プ31の機能　②	める。	布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第9回	三友 恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ⑤　＋　物語論　ヒーローズジャーニー　①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考プリントの手順に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第10回	三友 恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ⑥　＋　物語論　ヒーローズジャーニー　②	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考プリントの手順に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第11回	三友 恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑦　＋　物語論　ヒーローズジャーニー　③	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考プリントの手順に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第12回	三友 恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑧　＋　物語論　ブレイク・スナイダー・ビート・シート　①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、教員の指示に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第13回	三友 恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑨　＋　物語論　ブレイク・スナイダー・ビート・シート　②	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、教員の指示に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第14回	三友 恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルーツ ⑩　＋　物語論　ブレイク・スナイダー・ビート・シート　③	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、教員の指示に従い各自で書き進める。	予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第15回	三友 恒平	まとめ 授業総括・レポート等について		予習　90分　漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習　90分　配布されたプリントを読み、授業を振りかえる

教科書

無
参考書
授業内で適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上 ※レポートの提出 100%　※本授業はレポート提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また授業において資料を配布するので、漫画の歴史の再認識を行うとともに、キャラクターや物語の理解、制作に役立てること。
履修のポイント
授業内容をよく聞き、興味と表現の幅を広げること
オフィス・アワー
コミック・アニメ文化論授業後　16:30-16:40　9号館902教室
科目区分
専門科目

講義コード	40510001
講義名	現代アート論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3208
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向　基子	指定なし

授業の概要と教育目標

多様な作品が生まれる背景や、作品と社会の関係性に意識を向けることを念頭に、現代美術が担う役割や表現の可能性について考えることを、教育目標とする。授業では、スライド資料や映像を交えながら、時系列にこだわる事なく、国内外の著名なアーティストや話題の展覧会の事例を元に、現代のアートシーンを紹介してゆく。調整が可能な場合、アーティストの特別授業も予定している。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
※本授業はレポート提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代美術に関わるレポートの作成・提出を通し、対象の理解をもとにして表現するための知識、および選択した専門分野の知識、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識を修得することを目指す。

到達目標

学生は、授業を通して得た知識や刺激を、個々の制作活動にも幅広く役立てることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して	「アートとは何か」を自由に考え、意見を交換し、自分なりに定義する。アイデアを記録したメモを提出する	予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
				予習：90分　興味のあるアーティストを

第2回	大日向基子	国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して		リサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第3回	大日向基子	国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第4回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：身近なアーティスト）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第5回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：喪失、不在、記憶）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第6回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：人や社会とのつながり）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第7回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：身体）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第8回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：自然・環境）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第9回	大日向基子	アーティストの紹介（テーマ：政治・社会・ジェンダー）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
				予習：90分　興味の

第10回	大日向 基子	アーティストの紹介（テーマ：マンガ、イラストレーション）		あるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第11回	大日向 基子	アーティストの紹介（テーマ：アール・ブリュット）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第12回	大日向 基子	アーティストの紹介（テーマ：コンセプチュアル）		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第13回	大日向 基子	教育、福祉、環境、地域との関わり、ギャラリー、オルタナティブスペースなどの紹介		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第14回	大日向 基子	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第15回	大日向 基子	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する		予習：90分　興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分　ノート・メモ・資料で授業を振り返る

教科書

無

参考書

アーサー・C・ダントー『アートとは何か』、人文書院　アーサー・C・ダントー『ありふれたものの変容:芸術の哲学』、慶應義塾大学出版会　小崎哲哉『現代アートとは何か』、河出書房新社　ハル・フォスター他『ART since 1900』、東京書籍　山本浩貴『現代美術史』、中央公論新社他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上　最終授業終了後に提出するレポート（データ）を80%、授業への参加度20%として採点する。

課題等に対する

フィードバックの方法
授業の内容については随時質問を受け付けている。15回目授業終了後、授業内で言及したアーティストや単語をまとめた資料を配布するので、レポートのアイデアに役立てる。
履修のポイント
興味を持った作家や作品についてリサーチを行い、文献等の資料を収集すること。 日頃から美術に関する批評やコラムを読み、言語表現に関心を払うこと。
オフィス・アワー
火曜日　12:45-13:30　123研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40520001
講義名	映像論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3315
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向　基子	指定なし

授業の概要と教育目標

映像表現は、テクノロジーや制作環境の推移とともに、日々変化している。初期の映像玩具、映画黎明期及びアニメーション、メディア・アート、実験的な映像作品などに触れつつ、近年の特徴ある映像作家についても言及する。さまざまなジャンルの映像作品を鑑賞することにより、楽しみつつ知識と理解を深めることを教育の目標とする。
※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
※本授業はレポートのデータ提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、映像に関するレポート作成・提出を通して、新たな角度から日常を取り巻く映像を見つめ直すきっかけを与えることを目指す。

到達目標

幅広い映像表現を知り視野を広げ、各自の作品制作に、新たな刺激として還元することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 写真が動画になるまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）	好みの写真、映像、映画等について話し合う。	予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料

				で授業を振り返る
第2回	大日向基子	写真が動画になるまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）	第一回目に語った好みの写真、映像、映画等について振り返る	予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第3回	大日向基子	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第4回	大日向基子	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第5回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第6回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第7回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第8回	大日向基子	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、インタラクティブアート、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第9回	大日向基子	前衛的、実験的、エポックメイキング的な作品を紹介する		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メ

				モ・ノート・資料で授業を振り返る
第10回	大日向基子	前衛的、実験的、エポックメイキング的な作品を紹介する		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第11回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第12回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第13回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第14回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第15回	大日向基子	特色ある監督や映像作家の紹介		予習：90分　興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分　メモ・ノート・資料で授業を振り返る

教科書

無

参考書

芸術メディア研究会編『芸術・メディアの視座～映像と音楽を学ぶ人へのアート・スタディーズ』、タイケン　ロラン・バルト著『映像の修辞学』、筑摩書房　港千尋著『映像論』、NHK出版）　北村 匡平『24フレームの映画学』、晃洋書房　佐藤博昭＋西村智弘＋編集部(編)『スーパー・アヴァンギャルド映像術』、フィルムアート社他

成績評価の方法・基準

60　80

単位認定　点以上　最終授業終了後に提出するレポート（データ）を　%、授業への参加度を20%として採点する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業の内容については随時質問を受け付けている。第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。
履修のポイント
興味を持った映像作家や作品を各自リサーチすること、客観的視野を養うこと。
オフィス・アワー
火曜日　12:45-13:30　123研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40530001
講義名	色彩学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3110
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト（東京商工会議所）に沿って授業を行う。本科目では、普段の生活にごく当たり前に溶け込んでいる色についての認識を新たにすると共に、その重要性や身近な活用例、配色テクニック、色の心理的側面、消費者が好む色等にも幅広く意識を向け、学生の色に対する興味関心を高めることを教育の目標とする。また、本講座は商業施設士（補）資格の指定教科である。

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
※本授業は中間テストの合計により成績評価を行い、定期試験は実施しない
※中間テストは授業で扱った範囲内から出題する

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、環境やコミュニケーションの側面から、人間の生活空間について多面的に理解することを目指し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得する。将来的な展望としては、色に関する興味・関心を引き出し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、積極的にカラーコーディネーションを活用する人材を育て、多様な社会のニーズや変化に対応できる学修を目指すものとする。

到達目標

学生は、日々の生活をより豊かにするため、色の効果を楽しんで活用することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向 基子	前提講義 第1章 色の働き	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
	大日向 基		予習90分：教科書・配布資料を読む

第2回	子	第1章 色の働き	復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第3回	大日向 基子	第2章 光と色	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第4回	大日向 基子	第2章 光と色	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第5回	大日向 基子	第3章 色の伝達と記録の方法	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第6回	大日向 基子	第3章 色の伝達と記録の方法	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第7回	大日向 基子	第3章 色の伝達と記録の方法	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第8回	大日向 基子	第4章 配色と色彩調和	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第9回	大日向 基子	第4章 配色と色彩調和	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第10回	大日向 基子	第4章 配色と色彩調和	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第11回	大日向 基子	中間テスト1 第5章 色が見える仕組みと色の心理的現象	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第12回	大日向 基子	第5章 色が見える仕組みと色の心理的現象	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第13回	大日向 基子	第6章 色とビジネス	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第14回	大日向 基子	第6章 色とビジネス	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す
第15回	大日向 基子	中間テスト2 対策問題で今までの学習を振り返る	予習90分：教科書・配布資料を読む 復習90分：教科書、配布資料、ノート等を見直す

教科書

東京商工会議所編『改訂版 カラーコーディネーター検定試験 スタンダードクラス公式テキスト』、日本能率協会マネジメントセンター

参考書

垣田玲子著『カラーコーディネータースタンダードクラステキスト&問題集』、ナツメ社 真田めぐみ・加藤江莉著『カラーコーディネータースタンダードクラス テキスト&問題集』、成美

堂出版 色彩文化研究会著・城一夫監修『配色の教科書』、パイインターナショナル 大井義雄・川崎秀昭著『カラーコーディネーター入門色彩』、日本色研事業 三井直樹・三井秀樹著『色彩デザイン学』、六耀社 大智浩訳『ヨハネス・イッテン色彩論』、美術出版社 ジョセフ・アルバース著・永原康史監訳・和田美樹訳『配色の計画』、ビー・エヌ・エヌ新社他
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 第1回中間テスト50% 第2回中間テスト50%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内容や対策問題、検定については随時質問を受け付けている。中間テストは採点して返却する。
履修のポイント
教科書と共に検定対策問題等で要点を理解し、問題形式や解答方法に慣れること。
オフィス・アワー
火曜日 12:45-13:30 123研究室
科目区分
専門科目

講義コード	40540001
講義名	学外研修
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3111
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインや芸術に関する分野は、時代と共に変化し続けている。こうした分野を学び志す者にとって、現状把握やリサーチ作業は重要であり、社会の流れを読みとる力を養う必要性は高いと言える。本授業ではこうした点を踏まえ、美術館や作家のアトリエ、イベント等に出かけて、鑑賞及び分析作業を行っていく。実際に体験することにより、将来の自分のスキルアップや、これからのアート・デザインのあり方と可能性について模索し、考えるきっかけとすることが、本授業の教育目標である。
＊シラバスの内容については授業進行上の状況により変更する場合がある。（実施日程等の詳細については決定次第発表する）

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的に理解し表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を深め、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を養う。事前のリサーチと、現場における実際の鑑賞を通して事後の記録にまとめる。こうした作業により、分析する力や客観的な評価能力を強化することを目的としている。また、そうした経験を今後の作品制作や研究活動に活かしていく。

到達目標

○ 学生は、団体行動における個人の責任について意識を高めることができる
○ 学生は、鑑賞力、分析力等を身につけられる
○ 学生は、適確な事前リサーチと事後の資料作成能力を養うことができる

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義	質疑応答、意見交換	予習90分：美術関連施設リサーチ 復習90分：美術関連施設リサーチ

第2回	大日向 基子	事前指導 見学する施設・地域に関するリサーチ	質疑応答 意見交換	予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第3回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第4回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第5回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第6回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第7回	大日向 基子	事後指導 レポートについての説明	質疑応答、意見交換	予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第8回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第9回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第10回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第11回	大日向 基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第12回	大日向 基子	事後指導 課題についての説明	質疑応答、意見交換	予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第13回	大日向 基子	レポートやスライド発表など課題の提出準備		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第14回	大日向 基子	レポートやスライド発表など課題の提出準備		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
	大日向	レポートやスライド発表など課題	質疑応答、意見交	予習90分：事前リサーチ

第15回	基子	の提出、成果発表	換	復習90分：事後リサーチ

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 課題50% 授業への参加度50%
※本授業では、施設見学やワークショップ等への参加に加え、それに基づく課題の提出の両方をもって評価の対象とする。訪問のみ、または課題提出のみでは評価されない。定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

事前事後指導、施設見学や展示の鑑賞等を通して得た体験や感想、美術館等で受けたレクチャーなどを、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

交通費、入場料等は各自で負担。現地集合・現地解散。食事は見学前に済ませること。記録やメモを取ること。積極的な姿勢が望ましい。

オフィス・アワー

火曜日 12:45-13:30 123研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40550001
講義名	インテリアコーディネート論I
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3112
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	インテリコーディネーターとしての実務経験に基づき、歴史、マテリアル選定、プレゼン方法など、インテリアコーディネーター資格取得の基礎知識を深めていく授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教　員	新井　絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、インテリアコーディネーターが身に付けるべき、 実践的な基礎知識の修得を目指す。
インテリアコーディネーター は、インテリアの歴史、計画、色彩、エレメント、建物構造、関連法規など多岐にわたる 基本知識を習得したうえで、デザインに取り掛かる必要がある。また本講座は、住宅や集合住宅、商業空間や公共施設など、様々なインテリアデザインの領域でデザインに関わるきっかけを育むエッセンスを有する。 1 年次から学ぶ事で、在学中の インテリアコーディネーター 資格取得の機会が２回となり、 資格を取得した場合は 就職活動においても信頼を得るものである。 インテリアコーディネーターハンドブック上下巻を教科書とし、インテリアの実践的な基礎知識 を学ぶ。
なお本講座は、商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のため、インテリアコーディネーターが必要とする、実践的な基礎知識の修得、及び 基本的なプランニングが提案できる知識の習得を目指す。

到達目標

インテリアコーディネーター として実践的な基礎知識を身に付けた上で、
1.卒業後の「インテリアコーディネーター」 資格の取得準備。
2.在学中の「 インテリアコーディネーター」 資格の 取得。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
		プロジェクターで資料を説明 第１章 インテリアコーディネーターの誕生とその背景		

第1回	新井絹世	インテリア意識の芽生えとインテリア空間　1～5 インテリア産業の発展とインテリアコーディネーターの誕生　1～4 第２章 インテリアコーディネーターの仕事 インテリアコーディネーターの職能　1～4 インテリアコーディネーターの実務　1～2 インテリアコーディネーターの職域　1～6	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第2回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第３章 インテリアの歴史 日本のインテリアの歴史　1～5 西洋のインテリアの歴史　1～5	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第3回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第４章 インテリアコーディネーションの計画 インテリアコーディネーションのための検討事項　1～12 生活場面の構成手法　1～10	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第4回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第４章 インテリアコーディネーションの計画 インテリアコーディネーションのための検討事項　1～12 生活場面の構成手法　1～10	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第5回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第５章 インテリアエレメント・関連エレメント インテリアエレメント　1～3 住宅用家具　1～10 造作家具　1～6 造作部品　1～6 ウィンドートリートメント　1～6 カーペット　1～5 インテリアオーナメント　1～3 その他エレメント1～3 エレメントなどの商品情報　1～2	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第6回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第５章 インテリアエレメント・関連エレメント インテリアエレメント　1～3 住宅用家具　1～10 造作家具　1～6 造作部品　1～6 ウィンドートリートメント　1～6 カーペット　1～5 インテリアオーナメント　1～3 その他エレメント1～3 エレメントなどの商品情報　1～2	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む

第7回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第6章 インテリア構造・構法と仕上 建築の構造・構法　1～6	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第8回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第6章 インテリア構造・構法と仕上 インテリアの構法　1～5 造作と造作材　1～7 機能材料と工法　1～5 建具　1～4 仕上げ材と仕上げ　1～4 インテリアのリフォーム　1	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第9回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第6章 インテリア構造・構法と仕上 インテリアの構法　1～5 造作と造作材　1～7 機能材料と工法　1～5 建具　1～4 仕上げ材と仕上げ　1～4 インテリアのリフォーム　1	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第10回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第7章　環境と設備 環境工学　1～5 住宅設備　1～9	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第11回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第8章　環境と設備 インテリアコーディネーと設計図書の関り　1 設計図書を読む　1～3 インテリアコーディネーションの表現二次元での表現　1～3 インテリアコーディネーションとCAD　1～4	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第12回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第8章　環境と設備 インテリアコーディネーと設計図書の関り　1 設計図書を読む　1～3 インテリアコーディネーションの表現二次元での表現　1～3 インテリアコーディネーションとCAD　1～4	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第13回	新井絹世	プロジェクターで資料を説明 第9章　インテリア関連法規、規格、制度 概要　1 主な関連法規1～14 インテリア関連の制度と表示マーク　1	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
第14回	新井絹世	プリジェクターで資料を説明 1章～9章までの復習	過去問題の演習	予習90分、復習90分 教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む
	新	プリジェクターで資料を説明		予習90分、復習90分

第15回	井 絹世	1章～9章までの復習 テスト	過去問題の演習	教科書の『インテリアコーディネーターハンドブック』を読む

教科書
公益財団法人インテリア産業協会『インテリアコーディネーターハンドブック 統合版 上』、公益財団法人インテリア産業協会 公益社団法人インテリア産業協会『インテリアコーディネーターハンドブック 統合版 下』、公益社団法人インテリア産業協会
参考書
過去問題集
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上　授業内課題の成果（40%程度）と、授業内試問（60%程度）
課題等に対する フィードバックの方法
課題に対するフィードバックは授業内で行う。希望者のみ 授業外で個別に行う。
履修のポイント
教科書を有効活用する事。ノートを作成する事。
オフィス・アワー
木曜日　12：30～13：20　1号館／105教室
科目区分
専門科目

講義コード	40560001
講義名	インテリアコーディネート論II
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3209
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	インテリコーディネーターとしての実務経験に基づき、歴史、マテリアル選定、プレゼン方法など、インテリアコーディネーター資格取得の基礎知識を深めていく授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、インテリアコーディネーターが身に付けるべき、 実践的な基礎知識の修得を目指す。
インテリアコーディネーター は、インテリアの歴史、計画、色彩、エレメント、建物構造、関連法規など多岐にわたる 基本知識を習得したうえで、デザインに取り掛かる必要がある。また本講座は、住宅や集合住宅、商業空間や公共施設など、様々なインテリアデザインの領域でデザインに関わるきっかけを育むエッセンスを有する。 1 年次から学ぶ事で、在学中の インテリアコーディネーター 資格取得の機会が 2 回となり、 資格を取得した場合は 就職活動においても信頼を得るものである。 インテリアコーディネーターハンドブック上下巻を教科書とし、インテリアの実践的な基礎知識 を学ぶ。
なお本講座は、商業施設士（補）資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のため、インテリアコーディネーターが必要とする、実践的な基礎知識の修得、及び 基本的なプランニングが提案できる知識の習得を目指す。

到達目標

インテリアコーディネーター として実践的な基礎知識を身に付けた上で、
1.卒業後の「インテリアコーディネーター」 資格の取得準備。
2.在学中の「 インテリアコーディネーター」 資格の 取得。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	新井 絹世	オリエンテーション インテリアコーディネーター２次試験の概要説明	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
	新井	インテリア図面の描き方①		予習90分、復習90分

第2回	絹世	過去問題から試験の内容を確認 平面図の描き方を学ぶ	過去問題の演習	過去問題を読み回答を確認する
第3回	新井 絹世	インテリア図面の描き方② 過去問題から試験の内容を確認 展開図の描き方を学ぶ	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第4回	新井 絹世	インテリア図面の描き方③ 過去問題から試験の内容を確認 展開図の描き方を学ぶ	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第5回	新井 絹世	インテリア図面の描き方④ アイソメ、アクソメの描き方を学ぶ	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第6回	新井 絹世	インテリア図面の描き方⑤ アイソメ・アクソメ図を描く	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第7回	新井 絹世	インテリア図面の描き方⑥ １消点パースの描き方を学ぶ	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第8回	新井 絹世	インテリア図面の描き方⑦ 着色の仕方・まとめ	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第9回	新井 絹世	インテリア計画① 過去問題を使い回答の作成 プランニング	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第10回	新井 絹世	インテリア計画② 過去問題を使い回答の作成 プランニング	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第11回	新井 絹世	インテリア計画③ 過去問題を使い回答の作成 プランニング	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第12回	新井 絹世	インテリア計画④ 過去問題を使い回答の作成 プランニング	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第13回	新井 絹世	インテリア計画⑤ 過去問題を使い回答の作成 プランニング	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第14回	新井 絹世	インテリア計画⑥ 過去問題を使い回答の作成 各個人で考えプランニング作成	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する
第15回	新井 絹世	インテリア計画⑦ 過去問題を使い回答の作成 各個人で考えたプランニングの発表	過去問題の演習	予習90分、復習90分 過去問題を読み回答を確認する

教科書

公益財団法人インテリア産業協会『インテリアコーディネーターハンドブック 統合版 上』、公益財団法人インテリア産業協会
公益社団法人インテリア産業協会『インテリアコーディネーターハンドブック 統合版 下』、公益社団法人インテリア産業協会

参考書

過去問題集

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業内課題の成果（40%程度）と、授業内試問（60%程度）

課題等に対する フィードバックの方法
課題に対するフィードバックは授業内で行う。希望者のみ 授業外で個別に行う。
履修のポイント
教科書を有効活用する事。ノートを作成する事。
オフィス・アワー
木曜日 12：30～13：20 1号館／105教室
科目区分
専門科目

講義コード	40570001
講義名	キャリアデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC3210
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪　博幸	指定なし
教員	大日向　基子	指定なし
教員	佐野　広章	指定なし
教員	柏木　優希	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は、企業等で活躍する人の話を聞き、それについて考えることで、社会の一員としての「自己」を発見する。また、美術・デザインの学びがどう社会に結びついているかを他者と意見共有しながら考え、自らのキャリアデザインに繋げていく。就職、編入などで必要となるポートフォリオやポートフォリオサイトの作成についても行なっていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本授業は、自身のキャリアデザインについて、それぞれのアート・デザインの創作を通した自己分析をすることで、社会と結びつき、どのように活躍していくかを考えるきっかけとする。

到達目標

1) 専門の学びと将来のキャリアを結び付けて考えることができる。
2) 一人一人が社会の一員であることを自覚し、自分の役割を発見することができる。
3) 効果的なポートフォリオの作成と、それについてプレゼンテーションすることができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	橋爪博幸 大日向基子	キャリア形成についての特別授業（特別講師） 働くことについて考える	自らの希望職種について考える。配布資料などを熟読する。復習の時間として90分。
	橋爪		

第2回	橋爪博幸 大日向基子	履歴書・自己PRの書き方講座	履歴書に記載する事項と自己PRの文章をつくる。予習、復習の時間として90分。
第3回	橋爪博幸 大日向基子 柏木優希	スライドトーク（個人事業など） キャリアデザインシートの作成 No.1-5（評価対象） 自身のキャリアプランについて、自己分析と必要事項をにまとめる	自身のキャリアプランについて考え、キャリアデザインシートに記入する。予習、復習の時間として90分。
第4回	橋爪博幸 大日向基子	キャリアデザインシートの作成 No.6-8（評価対象） グループディスカッション	自身のキャリアプランについて考え、キャリアデザインシートに記入する。予習、復習の時間として90分。
第5回	橋爪博幸 大日向基子	合同企業説明会	企業に関する情報を収集する。予習、復習の時間として90分。
第6回	橋爪博幸 大日向基子	合同企業説明会	企業に関する情報を収集する。予習、復習の時間として90分。
第7回	柏木優希 大日向基子 佐野広章 小松原洋生	ポートフォリオ作成講座	プレゼンテーション可能な形まで、ポートフォリオ/ポートフォリオサイトをまとめる。予習、復習の時間として90分。
第8回	柏木優希 及川澄人 寺村サチコ 柳澤	ポートフォリオ作成講座 ポートフォリオスケジュール作成（評価対象） ポートフォリオとポートフォリオサイトを作成するための計画表を作成する	プレゼンテーション可能な形まで、ポートフォリオ/ポートフォリオサイトをまとめる。復習の時間として90分。

	題		
第9回			
第10回			

教科書

無。

参考書

無。必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。課題完成度７０%、授業への参加度３０%で総合的に評価する。
※本授業はレポート提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

プレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング）を実施するとともに、教員が個々に講評を行う。

履修のポイント

幅広い進路選択の可能性を見出すための内容の為、進学・創作活動を考える学生も積極的に履修することが望ましい。また、集中授業のため授業予定を事前に確認しておくこと。

オフィス・アワー

授業に関する質問 : 集中講義期間の12:30〜13:20
橋爪　：９号館第６研究室
佐野　：121研究室
小松原：124研究室
及川　：131研究室
大日向：123研究室
寺村　：112研究室
柳澤　：111研究室
柏木　：122研究室
野村　：125研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40580001
講義名	卒業制作（佐野/柳澤）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3402
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	佐野 広章	指定なし
教 員	柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュールなどについて担当教員と相談しながら制作を進め、制作過程では随時チェックやアドバイスを受けつつ、卒業制作として発表できる水準へと高めていく。また、卒業制作展に関わる事前準備・搬入・搬出・各係の運営など、展示全体に関わる作業も授業の一環として位置づけ、作品と合わせて評価対象とする。
2年間の学習の集大成として、これまでに修得した技法・素材理解・空間構成力・作品分析力などを統合し、指示された課題ではなく、一人の作家として主体的に制作に取り組むことを目指す。さらに、学生同士が協力して卒業制作展を成功させるためのチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの総まとめであり、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーに示される力を修得していることを示す場である。
１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から人間の生活空間を多面的に理解していること。
２）対象理解に基づく表現のための知識や技能、ならびに選択した専門分野に応じた知識や技能を修得していること。
３）実践的な作家として活躍できるよう、多様な社会のニーズや変化に対応できる知識・技術を身につけていること。
卒業制作展は、これらの力を総合的に発揮し、社会に向けて作品を提示する実践の場として位置づけられる。

到達目標

○自ら設定したテーマにもとづき、作品のコンセプト・構成・造形要素を整理し、作品として成立させるための表現構築力を身につける。
○技法・素材・仕上げなどを意図に合わせて選択し、作品の完成度を展示水準まで高めるための制作力と判断力を身につける。
○卒業制作展を学生主体で企画・運営し、展示レイアウトや空間演出を協働的に検討することで、作品を適切な文脈で提示する実践力を身につける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。
第2回	〃	
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する
第4回	〃	
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する
第6回	〃	
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する
第8回	〃	
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する
第10回	〃	
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習45分：自身の作品アイデアを準備する
第12回	〃	
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習45分：制作の準備
第14回	〃	
第15回	制作	予習45分：制作の準備
第16回	〃	
第17回	制作	予習45分：制作の準備
第18回	〃	
第19回	制作	予習45分：制作の準備
第20回	〃	
第21回	制作	予習45分：制作の準備
第22回	〃	
第23回	制作	予習45分：制作の準備
第24回	〃	
第25回	制作	予習45分：制作の準備
第26回	〃	
第27回	制作	予習45分：制作の準備
第28回	〃	
第29回	制作	予習45分：制作の準備
第30回	〃	
第31回	制作	予習45分：制作の準備
第32回	〃	
第33回	制作	予習45分：制作の準備
第34回	〃	
第35回	制作	予習45分：制作の準備
第36回	〃	

第37回	制作	予習45分：制作の準備
第38回	〃	
第39回	制作	予習45分：制作の準備
第40回	〃	
第41回	制作	予習45分：制作の準備
第42回	〃	
第43回	制作	予習45分：制作の準備
第44回	〃	
第45回	制作	予習45分：制作の準備
第46回	〃	
第47回	制作	予習45分：制作の準備
第48回	〃	
第49回	制作	予習45分：制作の準備
第50回	〃	
第51回	制作	予習45分：制作の準備
第52回	〃	
第53回	制作	予習45分：制作の準備
第54回	〃	
第55回	制作	予習45分：制作の準備
第56回	〃	
第57回	制作	予習45分：制作の準備
第58回	〃	
第59回	制作	予習45分：制作の準備
第60回	〃	
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第62回	〃	
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第64回	〃	
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第66回	〃	
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第68回	〃	
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第70回	〃	
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第72回	〃	
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第74回	〃	
	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討	

第75回	し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習45分：制作の準備
第76回	〃	
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習45分：制作の準備
第78回	〃	
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備
第80回	〃	
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備
第82回	〃	
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備
第84回	〃	
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備
第86回	〃	
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習45分：制作の準備
第88回	〃	
第89回	卒業制作作品の展示	復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	〃	

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※課題評価は卒業制作展で開催される記念講演会および講評会の感想レポートを含む。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

各分野において、担当教員が個々の作品に対して丁寧に講評を行い、制作の方向性や改善点を随時確認する。制作過程では、進捗に応じて指導・助言・意見交換を行い、作品の完成度を高めるための具体的なフィードバックを提供する。最終的には卒業制作展においてプレゼンテーション（アクティブラーニング）を実施し、教員が一人ひとりに講評を行う。
自身の作品の課題点を見つめるだけでなく、他者の作品の優れた点や工夫を観察し理解することで、多様な視点を身につけ、卒業後の進路においても活かせる鑑賞力・判断力を養うことを重視する。

履修のポイント

卒業制作に必要となる材料の購入や資料収集などの準備は、授業時間外で計画的に行い、制作に集中できる状態で授業に臨むことを求める。これまでの2年間で身につけてきた技法・知識・観察力・構成力など、あらゆるスキルを総動員し、持てる力を最大限に発揮して作品として表現する姿勢が重要である。
また、卒業制作展は学生主体で運営されるため、展示準備や係活動にも積極的に参加し、チームワークを発揮しながら展示全体の完成度を高めることが求められる。

オフィス・アワー

佐野：12:30～13:20 121研究室
柳澤：12:30～13:20 111研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40580002
講義名	卒業制作（大日向/吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3402
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	プロフェッショナル漫画家としての経験を活かし、２年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大日向 基子	指定なし
教 員	吉沢 正美	指定なし
教 員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表

現にまとめる。
○ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
○ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。
第2回	〃		
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃		
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃		
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃		
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃		
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃		
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃		
第15回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃		
第17回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃		
第19回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃		
			復習45分：授業内でのア

第21回	制作		ドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃		
第23回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃		
第25回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃		
第27回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃		
第29回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃		
第31回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃		
第33回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃		
第35回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃		
第37回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃		
第39回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃		
第41回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃		
第43回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	〃		
第45回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第46回	〃		
第47回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃		
第49回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃		
第51回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃		
第53回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃		
第55回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃		
第57回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃		
第59回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃		
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃		
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃		
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃		
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	〃		
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃		

第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃		
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃		
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃		
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃		
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃		
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃		
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃		
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃		
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	〃		
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。 自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	〃		
第91回			

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

作品の完成度８０％ 授業への参加度２０％
※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)
自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

門倉：月曜日 吉沢：木曜日 12:30～13:20 非常勤講師控室
大日向：火曜日 12:30～13:20 123研究室

科目区分

専門科目

講義コード	40580003
講義名	卒業制作（小松原/柏木/三関/野村）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3402
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、２年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	小松原 洋生	指定なし
教員	野村 亜希	指定なし
教員	柏木 優希	指定なし
教 員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
○ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
○ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。
第2回	〃		
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃		
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃		
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃		
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃		
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃		
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃		
第15回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃		
第17回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃		
第19回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃		

第21回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃		
第23回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃		
第25回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃		
第27回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃		
第29回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃		
第31回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃		
第33回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃		
第35回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃		
第37回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃		
第39回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃		
第41回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃		
第43回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	〃		
第45回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第46回	〃		
第47回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃		
第49回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃		
第51回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃		
第53回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃		
第55回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃		
第57回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃		
第59回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃		
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃		
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃		
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃		
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	〃		
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃		

第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃		
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃		
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃		
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃		
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃		
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃		
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃		
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃		
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	〃		
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。 自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	〃		

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品の完成度８０％ 授業への参加度２０％

※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)
自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

小松原：124研究室 月曜日 12:30～13:20
柏木：122研究室 月曜日 12:30～13:20
野村：125研究室 月曜日 12:30～13:20
三関：104教室 木曜日 授業時間の前後

科目区分

専門科目

講義コード	40580004
講義名	卒業制作（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3402
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	寺村 サチコ	指定なし
教 員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受 け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。 卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業 全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。 2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。 １）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。 ２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能 を修得している。 ３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめることができる
○発表に充分耐え得るレベルの作品の内容を完成させることができる
○卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討することができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	オリエン テーショ ン (卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。卒業制作計画表の提出)	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第2回	同上	上記参照
第3回	アイデア決定期間 （卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する)	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	同上	上記参照
第5回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	同上	上記参照
第7回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回		上記参照
第9回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回		上記参照
第11回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	同上	上記参照
第13回	制作期間 （ 作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	同上	上記参照
第15回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。。
第16回	同上	上記参照
第17回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証

		する。
第18回	同上	上記参照
第19回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	同上	上記参照
第21回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	同上	上記参照
第23回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	同上	上記参照
第25回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	同上	上記参照
第27回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	同上	上記参照
第29回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	同上	上記参照
第31回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	同上	上記参照
第33回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	同上	上記参照
		予習45分：自身の作品アイデアを準備する

第35回	同上	復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	同上	上記参照
第37回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	同上	上記参照
第39回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	同上	上記参照
第41回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	同上	上記参照
第43回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	同上	上記参照
第45回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	同上	上記参照
第47回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	同上	上記参照
第49回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	同上	上記参照
第51回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	同上	上記参照

第53回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	同上	上記参照
第55回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	同上	上記参照
第57回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	同上	上記参照
第59回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	同上	上記参照
第61回	全体中間チェック （展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	同上	上記参照
第63回	制作期間 （各専門分野の教員と展示内容方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	同上	上記参照
第65回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	同上	上記参照
第67回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	同上	上記参照
第69回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第70回	同上	上記参照
第71回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	同上	上記参照
第73回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。。
第74回	同上	上記参照
第75回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	同上	上記参照
第77回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	同上	上記参照
第79回	卒業制作展準備 （各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	同上	上記参照
第81回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	同上	上記参照
第83回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	同上	上記参照
第85回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	同上	上記参照
第87回	同上	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証

		する。
第88回	同上	上記参照
第89回	卒業制作展準備 最終確認 （各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める）	予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	同上	上記参照

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定基準: 60点以上
成績評価内訳: 課題評価:80% 授業への取り組み:20%
※課題評価は卒業制作展で開催される記念講演会および講評会の感想レポートを含む。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

履修のポイント 卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨 む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

寺村：月・火・水・木 9：00-17：30（112研究室）
石井：木 9：20-16：30（105教室）

科目区分

専門科目

講義コード	40580005
講義名	卒業制作（及川/峰岸/新井）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDR3402
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとに２年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	及川 澄人	指定なし
教 員	峰岸 康之	指定なし
教 員	新井 絹世	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・ 全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。
卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。
2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、２年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

１）「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
２）対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
３）実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

○ 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表

現にまとめる。
○ 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
○ 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	〃		
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	〃		
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	〃		
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	〃		
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	〃		
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	〃		
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	〃		
第15回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	〃		
第17回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	〃		
第19回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	〃		
			復習45分：授業内でのア

第21回	制作		ドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	〃		
第23回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	〃		
第25回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	〃		
第27回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	〃		
第29回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	〃		
第31回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	〃		
第33回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	〃		
第35回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	〃		
第37回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	〃		
第39回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	〃		
第41回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	〃		
第43回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	〃		
第45回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。

第46回	〃		
第47回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	〃		
第49回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	〃		
第51回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	〃		
第53回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	〃		
第55回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	〃		
第57回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	〃		
第59回	制作		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	〃		
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	〃		
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	〃		
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	〃		
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	〃		
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	〃		

第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	〃		
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	〃		
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	〃		
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	〃		
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	〃		
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	〃		
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	〃		
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	〃		
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	〃		
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。 自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	〃		

教科書

無

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品の完成度８０％ 授業への参加度２０％

※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。
最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)
自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの（材料の購入や資料収集等）は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。
２年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

月曜日 12:30～13:20 各コース担当の専任教員の研究室
及川：月曜日 12:30～13:20 （131研究室）

科目区分

専門科目

講義コード	40590001
講義名	教師論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4201
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容（研修、服務及び身分保障を含む）について理解する。これからの教師に求められる役割を考察する。教育法規の規定を理解し、教員の職務遂行上に生じる諸問題への対応を知る。
本授業の教育目標は、
１．教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べられるようになる。
２．教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
３．進路選択に資する各種機会の情報を得て、自らの進路を構想することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会環境と教育の現状、教育が目指すべき方向を理解し、教育が社会において果たす役割を考え、述べられるようになる。アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「「環境」や「コミュニケーション」の側面から」教師の役割を考え、「人間の生活空間」のひとつである教室や学校について、「多面的に理解」していくことをめざす。

到達目標

本授業の到達目標は、
１．教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べることができる。
２．教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
３．進路選択に資する各種機会の情報を得て、自らの進路を構想することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
			予習90分：教師という

第1回	教職を目指すということと	教師を目指す動機や教師という職業について各自の考えを書いて発表し、聴き合う。	職業について各自が考えてくる。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第2回	学校の意義	学校で行われている教育について発表する。それに基づいて、現在、学校にできることは何か、教師の役割はどのように考えられるか、ディスカッションする。	予習90分：この回のテーマについて配布資料をあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、ディスカッションをもとに内容の理解を深める。
第3回	教職の魅力	教師の魅力とは何か、経験をもとに考えて発表をする。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第4回	学校と教師をめぐる現状と課題	学校と地域や保護者との連携の必要性、教員に関する調査結果などから現代の課題について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第5回	中学校教諭になるには	教員養成のしくみや教員免許制度について理解する。教育職員免許状を取得するために、大学の教職課程で、なぜ、どのようなことを学ぶのかを知り、見通しをもてるようにする。学生は、教職課程で学んだことは履修カルテに記録することになる。記録することによって教師になるための学びを振り返り、理解度や課題を把握する機会を重ねていく。さらに教育実習を経て、履修カルテの内容を教職	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：

		実践演習に生かし、教職課程の総まとめの一環として提出となる。	配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第6回	教師の役割	(1)教師観の変遷を理解する。(2)教師に求められる基礎的な資質について理解を深める。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第7回	教員の身分と服務、教員研修の意義	教員の身分保障・教員の服務に関する法制上の規定を理解する。教員の研修制度について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第8回	子どもの権利条約と教師の使命・人権教育	子どもの人権が、教育活動の場でどのように生かされているか、または課題となっているか、調べ、各自の意見を発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第9回	カリキュラムを創る、授業をデザインする	教師の授業に関わる仕事を考察する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
			予習90分：この回のテーマについてあらかじ

第10回	教師の専門性(1)	教師の専門性を省察的実践者という観点から考える	め調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第11回	教師の専門性(2)	現代の教育課題にあらわれた困難を子どもの人権の観点から考察しながら教師のあり方をディスカッションする。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第12回	生徒理解とチーム学校	生徒を理解することに「チームとしての学校」運営はどのようにかかわるのか。チーム学校に関わる人すべてのライフ・ワーク・バランスは実現しうるのか、考察する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第13回	新しい時代における教師の役割と責務	学校の変化と今日の教師の役割を考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第14回	教師としての成長とその支援	子どもの発達を促す教師も日々成長していかなければならない。教師が成長する環境などを考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。

第15回	授業の振り返り	授業で学んだことは何か、教師とは何かについて各自の考えを書き、発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、授業内容の理解を深め、まとめる。

教科書

無。適宜プリントを配布する。

参考書

秋田喜代美・佐藤学『新しい時代の教職入門 第3版』有斐閣、2024年03月
高橋陽一『チーム学校の教師論』武蔵野美術大学出版局、2021年
中嶋みさき・中井 睦美編著『やさしく学ぶ教職課程 教師論 （第二版）』学文社、2022年
髙妻紳次郎ほか『新版 教職概論 先生になるということとその学び』協同出版、2023年

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業への取り組み姿勢（リアクション・ペーパー、口頭発表等）60% レポート40%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

講義中に適宜行う。

履修のポイント

教職の意義、教員の役割とその職務内容、チーム学校等にポイントをおく。
受講生の興味・関心・人数により順序等変更することがある。

オフィス・アワー

授業終了後に、教室等にて質問等をお受けします。都合の良い日時を相談し対応いたします。

科目区分

教職科目

講義コード	40600001
講義名	教育原論・教育課程論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4101
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、教育課程・カリキュラムの意義と類型を理解した上で、学習指導要領の改訂の流れとその位置づけ、学習指導要領の構成、特徴や現代的課題について考察する。①わが国の教育を成り立たせている思想や制度について、歴史的な展開も踏まえて学ぶことで、教育について学問的知識に裏打ちされた議論を行う基礎を築く。②学生同士の意見交換や議論を行うことによって、教育に関する各人の考えを深めていくことを目指す。授業では毎回のテーマに関わる問いについて考えながら、教育の理念や歴史・思想についての理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を社会環境と教育の現状のみならず、教育が目指すべき方向を理解し、教育が社会において果たす役割を考える。アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「「環境」や「コミュニケーション」の側面から」教育の思想および教育課程を考え、「人間の生活空間」のひとつである教室や学校について、「多面的に理解」していくことをめざす。

到達目標

1)教育の基本的な概念や教育を成り立たせる諸要素とそれらの相互関係を理解する
2)教育の歴史や思想に関する基本的な知識を身につける
3)自らの教育観（教育とはどのようなもので、どうあるべきかについての考え）を述べることができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	教育観を確かめてみる～自身の受けてきた教育を振り返り、教育の本質、目的を考える～	これまでの教育についてのイメージを捉えてみる。それをもとに、教育の本質、目的とは何かディスカッションする。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。

第2回	教育の思想の歴史(1) 古代・中世の教育思想	現代教育の源流となる古代ギリシャにさかのぼり、教育思想をたどります。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第3回	教育の思想の歴史(2) 近世・近代の教育思想	コメニウスやルソー、ペスタロッチ、フレーベルなどの教育思想を学び、ディスカッションする。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第4回	教育の思想の歴史(3) 現代の教育思想	デューイやボルノー、イリイチなどの教育思想を学び、ディスカッションする。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第5回	近代学校教育の理念と形成と展開	近代学校教育の成り立ちをその理念と制度の展開から理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第6回	日本における教育の歴史(1)	近世の教育の歴史を学ぶ。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第7回	日本における教育の歴史(2)	日本における近代学校教育の特徴と歴史的展開を理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第8回	日本における教育の歴史(3)	大正期における新教育、戦争と学校、子ども、戦後教育改革をとらえる。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第9回	教育課程をどう編成するか ～ 教育課程編成の構成要件～	教育課程とは何か、どうして編成しなければならないのかを考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を

			深める。
第10回	学習指導要領の変遷	学習指導要領の変遷にみられる時代的背景と学習指導要領の役割について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第11回	現在の学習指導要領	現行の学習指導要領の特徴について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第12回	カリキュラム開発・編成とは	カリキュラム・マネジメントについて学ぶ。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第13回	小学校と中学校の教育課程の違いと接続	小学校、中学校のつながりと中1ギャップを防ぐ方法について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第14回	新しい時代の教育課程	今日展開されているさまざまな教育課程について学び、発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第15回	まとめ ～改めて教育観を考える ～	授業を受けて最初に持っていた「教育観」がどのように変化したのか発表する	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。

教科書

藤田由美子・谷田川ルミ編著『ダイバーシティ時代の教育の原理―第二版』学文社、2022年

参考書

『中学校学習指導要領』
そのほか、講義中に適宜示す。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業への取り組み姿勢（リアクション・ペーパー、口頭発表など）0% レポート40%

課題等に対する

フィードバックの方法
講義中にフィードバックを行う。
履修のポイント
教職科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べることだけでなく、自分以外の他の学生たちの意見、考えを理解する姿勢で授業に臨むことが大切である。 受講生の興味・関心・人数により順序等変更することがある。
オフィス・アワー
授業終了後に教室等にて質問をお受けしたり、都合の良い日時を相談し後日対応したりいたします。
科目区分
教職科目

講義コード	40610001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4102
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動やスクールカウンセラーの経験を基にして、より具体的な児童生徒理解に関する授業を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大澤　靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれてるのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、授業後半では実習も取り入れ、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の類型について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から人間を多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から、教職実践の基盤となる学修を目指すものとする。

到達目標

１．教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解できる。
２．青年期までの人の発達過程とその特徴について理解できる。
３．学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解できる。
４．「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシミュレーションする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	オリエンテーション	教育心理学で取り扱う内容について、そ	予習90分：教科書pp.14-23を読む。

第1回	教育心理学の概要／研究法	の概要（発達・学習・教授）を取り上げる。よい授業とは何かについて、心理学における教育心理学の位置づけについて考える。	復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第2回	発達のしくみと道筋 人間の心と体はどのように変化していくのか。 さらに発達を促進する「遺伝」と「環境」の要因について考究する。	発達を促進する要因について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.24-42を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第3回	認知の発達 論理的な思考が可能になる道筋	抽象的な思考ができるようになるための学校教育の役割は何かについて意見交換する。	予習90分：教科書pp.43-58を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第4回	人間関係と社会性 子どもは人間関係の中でどのように成長するのかについて取り上げる。	愛着が発達に及ぼす意義について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.60-78を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第5回	さまざまな学習理論① 刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。	学習理論から生まれたソーシャル・スキルトレーニングについて理解する （12・13・14回目で行う模擬授業の展開の仕方について理解する）。	予習90分：教科書pp.80-94を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第6回	さまざまな学習理論② 記憶、思考を取り上げる。	記憶のメカニズムを理解することで、どのように教授するのがよいのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.95-110を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第7回	動機づけ 学習の規定因としての動機づけ理論と、動機づけ向上に必要な事項について取り上げる。	やる気を高めたり維持するためには何が必要なのかについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.112-127を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第8回	学習指導と教育評価 　学習方法や評価の種類について取り上げる。	学習指導方法や教育評価の目的方法について理解する。	予習90分：教科書pp.129-154を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す
	学級集団		予習90分：教

第9回	集団形成や教師のリーダーシップやバイアス等について取り上げる。発達を促す集団の力は教師の働きかけによるところが大きいことを理解する。	望ましい学級集団を形成するために教師が気を付けるべきことについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	科書pp.156-172を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第10回	自己とパーソナリティ 　自分という認識がどう発達するのか。 　パーソナリティの基本的な考え方。 　自己理解のための心理検査。	自己に関する理解について、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.174-188を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第11回	学校不適応および障がいの理解 学校における適応と不適応、さらに発達障がいの種類や特徴の理解について取り上げる。	児童生徒のつまずきやすさについて、メンバーの意見を聞きながら自分の考えを広げたり深めたりする。	予習90分：教科書pp.189-206を読む。 復習90分：小テストに解答する。配布資料を見直す。
第12回	模擬授業①	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシミュレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第13回	模擬授業②	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシミュレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第14回	模擬授業③	授業づくりの留意点を押さえて、「教えること」をシミュレートする模擬授業を行う。ほかの履修者は、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第15回	授業のまとめ 確認テスト	まとめ及び学校で活かす臨床心理学	予習90分：確認テストを行うのでこれまでの小テストの理解と暗記をする。 復習90分：模擬授業の振り返りを生かした授業案を作成してみる。

教科書

櫻井茂男監修　『実践につながる教育心理』　北樹出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）40%、 レポート課題15%、 模擬授業への取り組み15%、 授業への積極的参加度30% を総合して評価します。
課題等に対する フィードバックの方法
レポートは返却するので学習の参考にすること。 小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習として、主に配布資料・ノートのまとめを勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
教職科目

講義コード	40620001
講義名	美術科教育法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4202
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校、高等学校 美術科の講師経験を活かし、現場での実践に役立つ授業展開を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	奥西 麻由子	指定なし

授業の概要と教育目標

中学校美術科の意義、目的、内容を概観する。その際歴史的背景、学習指導要領の展開を踏まえ、今日の美術科で必要な要素を検討していく。授業の後半では、学習指導案の書き方を学び、実際に指導の計画を立て、それにともなった授業が展開できるようにする。
教育目標
①美術科の意義と目的の理解
②教育内容の理解
③授業構想の実践

卒業認定・学位授与の方針との関連

教育現場で美術教諭として活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。

到達目標

中学校美術科の意義と目的を理解すると共に、教育内容・方法について学ぶことを通して、美術科の授業を自分なりに構想し、実践することが出来るようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	奥西麻由子	ガイダンス（授業の概要）		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成
第2回	奥西麻由	美術科の意義と目的（なぜ学校教育で美術を学ぶのか、その意義と目的について考える）		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成

	子			
第3回	奥西麻由子	学習指導要領の変遷と概説（目標と内容の把握、その変遷を概観する）		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成
第4回	奥西麻由子	美術科の内容と指導①（絵画（ワークシートをもとに検討））		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第5回	奥西麻由子	美術科の内容と指導②（立体（ワークシートをもとに検討））		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第6回	奥西麻由子	美術科の内容と指導③（デザイン（ワークシートをもとに検討））		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第7回	奥西麻由子	美術科の内容と指導④（工芸（ワークシートをもとに検討））		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第8回	奥西麻由子	美術科の内容と指導⑤（映像メディア表現（ワークシートをもとに検討）およびICTの活用について）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第9回	奥西麻由子	美術科の内容と指導⑥（鑑賞（ワークシートをもとに検討、演習含む））		予習90分：教科書（鑑賞領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第10回	奥西麻由子	美術科における教師の役割、評価の観点と方法（教師の支援の在り方について、評価方法とその観点）		予習90分：配布資料を読む。復習90分：ワークシート作成
第11回	奥西麻由子	学習指導案の作成①（題材設定、ねらい、導入、展開、まとめまで）		予習90分：配布資料を読む。復習90分：指導案作成
第12回	奥西麻由子	学習指導案の作成②（①の修正及び効果的な授業のための改善検討）		予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成
第13回	奥西麻	模擬授業①	模擬授業演習	予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成

	由子			
第14回	奥西麻由子	模擬授業②	模擬授業演習	予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成
第15回	奥西麻由子	模擬授業③ 授業のまとめ	模擬授業演習	予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成

教科書

「中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月―平成29年告示」文科省 日本文教出版、2018

参考書

福田隆眞 ・福本謹一(監) 『美術科教育の基礎』建帛社、2024

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
提出物（ワークシート 50%、指導案 25%）、模擬授業25%。再試験は実施しない。

課題等に対するフィードバックの方法

ワークシートを毎回だしますので、復習として行ってもらいます。また、提出されたワークシートは個別に添削等を行い、内容理解をはかります。

履修のポイント

主体的に学ぶ姿勢を望みます。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

科目区分

教職科目

講義コード	40630001
講義名	道徳理論・指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4203
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校の教員として数年間にわたり勤務経験があり、担任をまかされたクラスで、道徳の授業を担当した経験がある。
学年	1学年
担当教員	

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

道徳教育の歴史、その意義と役割を理解しつつ、学習指導案作りを実践する。他の教科との連携を踏まえ、教育実習の場でしっかりと道徳の授業ができる教育力を養うものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

道徳、総合的な学習の時間等の指導及び生徒指導、教育相談等に関する科目で、アート・デザイン学科のディプロマポリシーを踏まえつつ、小・中学校において、自分から進んで多面的な授業テーマを探り、それを実際に道徳の授業のなかで生かせるようにする。

到達目標

小・中学校において実施される道徳教育の位置づけや意義、教育目標、内容について理解し、説明することができる。指導方法や評価方法について理解し、説明できる。中学校において、道徳の授業を実践できる。これら３点を授業の到達目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	道徳教育の定義と、人格の完成に欠かせない道徳教育の意義を理解する。		復習９０分。最近の道徳についての記事を調べる。
第2回	橋爪博幸	道徳教育の歴史を知る。	今日の日本や国際社会での道徳教育の課題について考える。	予習９０分。復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第3回	橋爪博	成長の各段階における人間の道徳性の発達と開花（学年に適した教材に関する考察を含む）のプロセスをた		予習９０分。復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導要領を事前に読んでおく。

	幸	どる。		
第4回	橋爪博幸	学習指導要領に記された道徳教育の内容と教育目標（多様な指導方法の理解を含む）を知る。		予習１２０分。復習１２０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第5回	橋爪博幸	学習指導計画と、教育活動全体のなかでの道徳教育の位置づけを理解する。		予習１２０分。復習１２０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表の大筋を決める。
第6回	橋爪博幸	道徳の授業の指導案を作成する。	道徳の授業目標を設定し、授業プログラム案（学習指導案）の作成と発表を行う。	予習１２０分。復習１２０分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表資料づくりを行う。
第7回	橋爪博幸	個々の児童・生徒における道徳教科の評価方法を知る。		予習９０分。復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。最近の道徳についての記事を調べ記事と概要と感想を書いてレポートにまとめ提出する。
第8回	橋爪博幸	学生による模擬授業を実施し、模擬授業のふり返りを行う（学生による自己評価を含む）。		復習９０分。事前に配布された資料を読み込む。作成した各自の指導案、発表資料等を提出する。

教科書

無。授業時にプリントを配布する。

参考書

小寺正一・藤永芳純『三訂道徳教育を学ぶ人のために』世界思想社、2009年
「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示 文部科学省）
「小学校学習指導要領解説」「中学校学習指導要領解説」にある「特別の教科道徳」（平成29年6・7月告示 文部科学省）

成績評価の方法・基準

１００点満点中、６０点以上で単位を認定する。道徳教育に関するレポート（５０％）、各時間のふり返りシート（２０％）、模擬授業の発表（３０％）で評価する。

課題等に対するフィードバックの方法

課題のレポートに、コメントを入れて後日、返却する。補足説明があるときは、授業内で提示し、または印刷して配布してフィードバックとする。

履修のポイント

授業回数が少ないので、休まず出席すること。授業時間以外に、補講を実施することがあり、そのときは模擬授業のアクティブラーニングを実施する。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーの時間とする。９号館３階の第６研究室にて、質問等を受け付ける。

科目区分

教職科目

講義コード	40640001
講義名	教育方法・特別活動の指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4301
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校の教員として数年間にわたり勤務経験があり、担任をまかされたクラスで、特別活動を担当した経験がある。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

児童・生徒における知識・技術の習得をより効果的なものにし、さらに生徒の自主的・創造的な学習を発展させるうえで、教員を目指す者にとって教育方法の学習は、以前にも増して重要性が高まっている。この授業では、教授ないし学習指導と呼ばれる事柄を中心に取り扱う。また特別活動は、構成の異なる集団での活動を通して学校生活を捉え、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動である。そこで、この授業では、学校教育の中で行われる、指導の効果を高めるための特別活動の展開方法について理解し研究することを目標とする。学習指導要領に則しながら、学校内外における諸活動や、指導方法など事例を通して検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この科目は、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」という項目にかかわる。教員免許状取得のために必要な学校教育法施行規則に定める科目「教育方法及び技術」と「特別活動の指導法」に該当する。教育方法の概略を知り、特別活動の重要性について理解することが求められる。

到達目標

・教育方法の基礎理論、方法、技術について理解する
・教育評価の理論と応用について理解する
・学習指導要領における特別活動の意義を理解する
・特別活動の指導の在り方を理解する

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪	求められる学力とは何かを検討し、学校教育と学習指導要領の基本理念について考え		予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り

	博幸	る		返りをプリントに記載、課題の作成
第2回	橋爪博幸	教育方法の基礎理論について		予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成
第3回	橋爪博幸	学習者が意欲的に学ぶにはどのような工夫が必要か考える	具体的な指導技術の問題点を確認し、代表的な方法と留意点をみる	予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成
第4回	橋爪博幸	学習における評価の意義について考える		予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成
第5回	橋爪博幸	各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう （受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります）	各自、指導案を仕上げる	予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成
第6回	橋爪博幸	特別活動の意義と内容について検討する		予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成
第7回	橋爪博幸	学級活動・生徒会活動・学校行事の目標とその内容について事例を通して考える（小学校・高等学校との違いを踏まえながら）	グループワーク（特別活動の指導案について議論する）	予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成
第8回	橋爪博幸	特別活動における指導方法および評価について検討する	グループ発表（特別活動の指導案の発表）	予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：振り返りをプリントに記載、課題の作成

教科書

『新しい教職教育講座 教職教育編 教育の方法と技術』（篠原正典・荒木寿友 編著）ミネルヴァ書房

参考書

中学校学習指導要領（平成29年告示）文部科学省
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編（平成29年7月）文部科学省

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中に課す課題とその取組（40%）、指導案と発表（30%）、課題レポート（30%）を総合的に評価する

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題について次の授業などで解説します。

履修のポイント

授業日程についてはしっかり確認し、遅刻・欠席がないように注意してください。
また、受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります。
授業の回数が少ないため、各自で教科書を熟読し理解を深めてください。
欠席（公欠含む）した場合は、後日内容の確認をしてください。
課題は必ず提出すること。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みをオフィス・アワーとします。９号館３階の第６研究室に来てください。

科目区分

教職科目

講義コード	40650001
講義名	教育とICT活用
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4204
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校での教員経験を活かし、理論と実践について幅広く知識を深めていく授業を展開する
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

Society5.0時代の教育において、教員がICT機器を効果的に使いこなし、生徒一人一人の個性や能力に応じた授業を実践するために必要な事柄を中心的に取り上げる。まず学校教育を取り巻く現状とこれからの教育について考え、次にICTを活用した授業の解説や事例紹介などをもとにその効果と意義を理解し、効果的な学習指導そして生徒の情報活用能力の育成について考える。また教育データを活用した学習評価や校務における活用なども説明する。
そこで、学生自身がICTを活用して体験的に学ぶことで、自分の授業計画にどのようにICTを活かしていけばよいか考える機会となることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のDP「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。」と、教員免許状取得のために必要な学校教育法施行規則に定める科目「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」に該当。情報通信技術（ICT）を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方、生徒の情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法について考える。

到達目標

・教育現場でICTを活用する意義・理論を理解する
・ICTを活用した学習指導や校務について理解する
・生徒の情報活用能力育成のための指導法を理解し、身につける

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	Society5.0時代の教育とICT活用 学習指導要領などをもとにICT活用の意義を考える	グループでICT活用指導について討議	予習90分：教科書第1章を熟読すること 復習90分：授業の振り返りをまとめる
第2回	情報活用能力の育成 学習者や学習場面に応じたICTの	ICTを活用した授業のメリ	予習90分：教科書第2章を熟読すること

	利用法について考える	ット・デメリットの検討	復習90分：授業の振り返りをまとめる
第3回	学習指導のためのシステム 学習場面等に応じたシステムの利用について理解する	学習支援システムによる教材作成演習	予習90分：教科書第8章を熟読すること 復習90分：授業の振り返りをまとめる
第4回	ICTを活用した教材開発と指導法 ICTを活用した授業計画について検討する	グループで、ICTを活用した授業計画を検討する	予習90分：教科書第3章を熟読すること 復習90分：振授業の振り返りをまとめる
第5回	生徒によるICT活用 各教科等における生徒の情報活用能力の育成と情報モラルについて	グループで、ICTを活用した授業計画を検討する	予習90分：教科書 第3章、第5章を熟読すること 復習90分：授業の振り返りをまとめる
第6回	ICTを活用した指導の実践 グループでICTを活用した授業を実践する	グループで、ICTを活用した授業を実践	予習90分：教科書 第2章、第3章を熟読すること 復習90分：授業の振り返りをまとめる
第7回	校務の情報化と教育データの活用 スタディ・ログの活用と評価、校務の情報化を考える		予習90分：教科書 第4章、第7章を熟読すること 復習90分：授業の振り返りをまとめる
第8回	特別支援教育におけるICTの活用 特別な支援を必要とする生徒に対するICT活用の意義を考える	特別支援におけるICTの活用方法について調べ、発表	予習90分：教科書第6章を熟読すること 復習90分：授業の振り返りをまとめる

教科書

「教職課程 情報通信技術を活用した教育の理論および方法」（西野和典 編著、実教出版）（予定）

参考書

授業中に適宜資料を配布する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。レポート（40%）、授業中に課す課題や振返り小レポート（40%）、グループ活動への取り組みと成果物（20%）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業では課題を課します。それらは相互に評価することがあり、その結果をMoodleを通して、個別もしくは全体にコメントしますので、参考にしてください。

履修のポイント

遅刻・欠席がないように注意してください。
授業の回数が少ないため、各自で教科書を熟読し理解を深めてください。
欠席（公欠含む）した場合は、後日内容の確認をしてください。
課題は必ず提出すること。

オフィス・アワー

火曜日の昼休みを予定。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。11号館3階研究室6。

科目区分

教職科目

講義コード	40660001
講義名	特別支援教育論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4205
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験を活かして実践力を育成する授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。
１．特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
２．特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
３．さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
４．障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
５．特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもについて学ぶことで「人間の生活空間」についての多面的な理解を目ざす。
また、特別支援教育の理解を通して、多様な社会のニーズや変化に対応できる知識・技術の修得を目ざす。

到達目標

１．履修学生が特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状について説明できる。
２．履修学生が障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画を作成し、評価することができる。
３．履修学生がさまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小林	「特別支援教育の考え方、制度と仕組み」障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支援教育の基礎概念、特別支	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏ま

	徹	援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。	えてまとめと質問シートを作成する。
第2回	小林徹	「障がいとの出合いと子育て、保護者支援」保護者と障がいとの出合いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	小林徹	「障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい」映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	小林徹	「障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい」肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	小林徹	「障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ」病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	小林徹	「他機関との連携、幼保小中高の接続」障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	小林徹	「個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用」子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	小林徹	「特別支援教育のこれまでとこれから」特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい,2020

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
毎回提出する小レポート（65%）、小テストおよびまとめのテスト（35%）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

毎回提出する小レポートや小テストの結果、質問等について授業内でフィードバックを行う。

履修のポイント

障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。

オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。
科目区分
教職科目

講義コード	40670001
講義名	生徒指導・進路指導論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4206
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

子どもたちを取り巻く情況は、社会の変化に呼応するかのように多様な問題を内包している。不登校・いじめ（いじめ自殺）・ネットトラブル・引きこもり、将来の不透明さなどがあげられる。これらに対応することを前提として、①生徒指導とはなにか、②生徒指導が担うべき役割はなにか、③生徒指導において教師が備え持つべき資質はなにか、について考える。そして、具体的問題を取り上げながら、これらへの対応について共同で考える。
進路指導は、キャリア教育の観点に立ち、①進路指導の意義と指導の方法は何か、②生徒が抱える個別の課題に即しながら「自分を生かす進路選択」とは何かについて共同で考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的な生活空間そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、社会的資質や行動力を高めることを目指し、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。
進路指導は、児童及び生徒が、将来の進路を選択し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸張するように、組織的・継続的に指導・支援する教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。この進路指導・キャリア教育に必要な知識や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	教育課程における生徒指導の位置付けについて理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配

			付資料を見直す。
第2回	生徒指導について集団指導と個別指導の実態を踏まえ、その方法原理を理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	基礎的な生活習慣の必要性と規範意識が培われる指導について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	校則の実態を学びながら、なぜ校則が存在し、なぜ必要であるかについて考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	体罰の実態を学びながら、体罰禁止の根拠と懲戒について学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	いじめ（いじめ自殺）についての視聴覚教材を用いて、いじめについて考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けについて学ぶ。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	進路指導の歴史及びキャリア教育の概念を学び、その発展の方向性を確認する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第12回	職業についての体験活動を中心に、進路指導・キャリア教育の意義を学ぶ。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第13回	中学校段階における進路指導・キャリア教育の考え方とポートフォリオ作成。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第１３回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。	第１３回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第15回	高校時代までに経験してきた生徒指導・進路指導と本授業を通して学んだ内容を比較検討し、改めて生徒指導・進路指導のあり方について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

無

参考書

『生徒指導提要』（令和４年）『小学校学習指導要領』（平成29年）
『中学校学習指導要領』（平成29年）
岩城孝次・森嶋昭伸『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房
適宜、資料を配付する。

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）
単位認定基準60点以上

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

講義コード	40680001
講義名	総合的な学習の時間の指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4302
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	櫻井 歓	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要と目標：「総合的な学習の時間」の概要や指導方法について扱う。探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付けることを到達目標とする。「学習指導要領」や具体的な教育実践例の研究などを通じて、今日的な教育課題を踏まえた創造的な教育実践を可能とする指導法の基礎を養う。
授業の方法：担当教員による講義と、アクティブ・ラーニングとしての小グループによる意見交換、指導計画の作成とグループ発表などを有機的に組み合わせ、効果的に授業を行う。授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。
準備学習の内容：本科目では、授業への参加は言うまでもなく、授業外での準備学習が重要となる。各回の授業の復習のほか、配布プリントの予習、さらにレポート作成の課題などについては、受講者各自による授業外での主体的な取り組みが求められる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

以下に掲げる本学アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーのもと培われるアート・デザイン分野の専門性と、教職課程で培われる教職の専門性をあわせ持ち、学生の個性・適性に応じて社会で活躍することのできる専門家・市民の育成を目指す。
【アート･デザイン学科】
1.「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
2. 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
3. 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

上記「授業の概要と教育目標」欄に記載した内容のうち、次のことが到達目標となる。「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学

習活動の評価に関する知識・技能を身に付けること」。このことを学生視点の到達目標として簡潔に表現すれば以下の通りである。
(1)「総合的な学習の時間」の意義・目標・内容について説明することができる。
(2)「総合的な学習の時間」の指導・評価に関するレポートを作成し、効果的なグループ発表とそのふり返りができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	櫻井歓	授業内容：開講にあたって（ガイダンス、受講者の「総合的な学習の時間」体験のふり返り） 方法：講義とアクティブラーニング 課題：本科目の授業について見通しをもつとともに、学生自身の「総合的な学習の時間」体験についてふり返る	小グループによる「総合的な学習の時間」体験のふり返り、小レポートの作成	復習：授業プリント・ノートの読み直し、時事的な教育問題の情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用）（予習・復習を含めて180分程度）
第2回	櫻井歓	授業内容：教育課程における総合的な学習の時間の意義と役割 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の意義と役割について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用） 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第3回	櫻井歓	授業内容：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間 方法：講義とアクティブラーニング 課題：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間に関する記述について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第4回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（１）主体的・対話的で深い学び 方法：講義とアクティブラーニング 課題：近年の教育改革のキーワードとされている「主体的・対話的で深い学び」について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成・提出準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）
第5回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（２）各教科などとの発展的な関連性 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間と各教科などとの関	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書（予習・復習を含めて180分程度）

		連性について知識を得る、(b)中間レポートを提出する		
第6回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（３）年間指導計画と単元計画 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の年間指導計画と単元計画について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 （予習・復習を含めて180分程度）
第7回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の指導（４）教育実践例の研究 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の教育実践例について知る、(b)中間レポートに基づく指導計画をグループで発表する	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック、グループワークによる指導計画の発表	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、指導計画の発表準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 （予習・復習を含めて180分程度）
第8回	櫻井歓	授業内容：総合的な学習の時間の評価、授業のまとめと筆記試験 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の評価について知識を得る、(b)最終回の授業時間の一部で筆記試験を受験する	小レポートのフィードバック、小グループでの感想交流	予習・復習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、これまでの授業内容を復習して筆記試験への準備を行う（予習・復習を含めて180分程度）

教科書

池田考司・杉浦真理・教育科学研究会[編著]『みんなでつくろう！ SDGs授業プラン』（旬報社、2022年）

参考書

「中学校学習指導要領」（文部科学省、平成29年3月）
「高等学校学習指導要領」（文部科学省、平成30年3月）
「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」（平成29年7月 文部科学省）
「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」（平成30年7月 文部科学省）
関川悦雄・今泉朝雄[編]『特別活動・総合的学習の理論と指導法』第2版（弘文堂、2025年）
高橋陽一[編]『総合学習とアート』（武蔵野美術大学出版局、2019年）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業への出席を前提条件として、中間レポート（40%）と筆記試験（60%）により評価する。なお、授業への積極的な取り組み（グループワークへの貢献度など）を加味する場合がある。

課題等に対するフィードバックの方法

(a) 授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。
(b) 各自で作成した中間レポートをもとにグループで総合的な学習の時間の指導計画を作成し、発表会を行う。担当教員より指導計画のグループ発表について講評を行う。

履修のポイント

専門職としての教職の資格取得のための科目であるため、単位認定は厳格に行う。学生諸君には教員免許状取得に向けての意欲と覚悟を持って受講していただきたい。
オフィス・アワー
授業終了後に教室にて質問・相談などを受け付ける。
科目区分
教職科目

講義コード	40690001
講義名	教育相談
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4303
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育センター教育相談部やスクールカウンセラーの経験を活かし、教育相談に臨むにあたって必要な姿勢や在り方を解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	大澤　靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

児童・生徒の発達の状況等一般的理解の意義と手法を学びながら、個々の心理的特質や教育的課題を捉える個別的理解について学習する。その際、教育相談の技術として、カウンセリングに関する基礎的事柄についても、体験的な学びを交えながら理解を深めていく。また、教育相談の組織的な取組や連携についても、職種や分掌を意識した校内体制の在り方を理解するとともに、保護者に対する教育相談や、必要に応じた地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義を理解していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学校教育やそれを囲む社会との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得る。さらに、ディプロマポリシーで重視する「環境」や「コミュニケーション」の側面から、人間を多面的に理解できるようにする。

到達目標

１）学校における教育相談の意義と理論を理解する。
２）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。
３）教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	大澤靖彦	オリエンテーション 日本における教育相談の歴史を踏まえ、教育相談とは何か（目的、開発的・予防的・治療的側面）について理解する。	教育相談がどのように行われているのかについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書を準備し、授業に備える。 復習90分：小テストに解答する。教科書p2～12と配布資料を熟読し、教育相談の意義と役割についてノートに整理する。
				予習90分：教科

第2回	大澤靖彦	教育相談の実際（教育相談と近接概念、教師の強みと限界） 教師の行う相談活動について、学校現場の様子を理解しながら、教師だからこそできる相談について考究する。	教師の強みとは何かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	書pp.176～185を読み、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。カウンセラーではなく、教師だからこそできる相談の長所・短所をノートに整理するとともにレポートに着手する。
第3回	大澤靖彦	アセスメント（情報収集の方法、援助シート、心理検査） 子どもの援助のためにはアセスメントは重要である。アセスメントの一部である心理テストについても理解する。	児童生徒の支援にはどのような情報が必要なのかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.90～100を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。さまざまなテストの特徴について覚え、過去問を解く。
第4回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢１（来談者中心療法） 教育相談における受容と共感がなぜ大切なのか、叱ることの意味について考究し、カウンセリングマインドとは何かについて理解する。	児童生徒が相談しやすくするために教師はどのような配慮が必要かについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.13～21を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。学校カウンセリングのベースとなるロジャーズの考え方をおさえたうえで、カウンセリングマインドについて理解する。
第5回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢２（精神分析、行動療法） 学習理論に基づく人間の行動の理解と行動変容の考え方を理解する。	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：1年時の「心理学」で学んだ「学習」についてポイントを整理しておく。 復習90分：小テストに解答する。日常生活の中にある学習した困ったことについてどのようなものがあるか考え、ノートに書き出す。
第6回	大澤靖彦	カウンセリングに学ぶ相談の基本姿勢３（認知行動療法、家族へのアプローチ、日本で生まれた心理療法）	児童生徒理解のために心理療法や理論の知恵をどう活かすかについてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。 復習90分：小テストに解答する。教科書pp.38～40（認知療法）を熟読し、重要箇所をノートにまとめる。
第7回	大澤靖彦	面接技法（受容、繰り返し、明確化、支持、沈黙、質問） 面接における基本的な技法を習得することを目指すが、日常の会話や授業でも使えるようにする。	児童生徒が安心して話ができるように教師が配慮すべきことについて、グループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：自分にとって、安心して話ができる場面とはどのような場面か考え、ノートにまとめてくる。 復習90分：小テストに解答する。面接の基本的技法を日常生活で使用して、改善点や感想を書き出す。
		ロールプレイ		予習90分：前回の授業のプリントを参考に面接のロールプレイができるように準備してくる。

第8回	大澤靖彦	基本的な応答を使ったロールプレイを行い、面接の基本を習得する。	ロールプレイを通して、面接の基本的技法を習得する。	復習90分：小テストに解答する。日常生活で学んだことを試してみて、自分の応答のクセや改善点について考える。
第9回	大澤靖彦	発達段階の理解（発達段階、発達課題、愛着との関連） 発達段階とその段階に特徴的にみられる問題について理解する。	発達加速現象により、子ども時代が短くなることによって、子ども発達にどのような影響があるのかについて意見交換する。	予習90分：教科書pp.57～68を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。1年時の「心理学」で学んだ「発達」についてポイントを押さえておく。 復習90分：小テストに解答する。発達にかかわるさまざまな問題についてノートにまとめる。
第10回	大澤靖彦	障害の理解（発達障害、不安障害等） 勉強についていけない子、友だちとうまくやれない子の背景について考えるとともに、その顕著な例としての発達障害について理解を深める。	学習障害の疑似体験を通して、児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書pp.69～78を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。発達障害の特徴について整理してノートにまとめる。
第11回	大澤靖彦	不登校の理解と対応 学校へ行けない子の背景について考えるとともに、不登校への対応について考える。	不登校という現象を通して児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書pp.112～124を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。不登校を予防するために教師はどのような配慮をすればよいのかについてノートにまとめる。
第12回	大澤靖彦	非行の理解と対応 非行にはしる子の背景について理解を深め、学校としてどのようなことができるかについて考える。さらに学級崩壊の背景を知ることで子ども理解を深める。	なぜ非行に走るのかについてグループで話し合い児童生徒理解を深める。	予習90分：教科書pp.126～148を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。新聞等で少年犯罪についてのトピックスを拾い出し、考究し、ノートにまとめる。
第13回	大澤靖彦	いじめの理解と対応　／　教育相談における保護者への支援 いじめのメカニズムを理解することで現代の子どもの理解を深めるとともにその対応について考究する。	いじめがおこる背景についてグループで話し合い自分の考えを深める。	予習90分：教科書pp.149～162を熟読し、重要箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：小テストに解答する。いじめを予防するためには教師はどのような配慮すればよいのかについてノートにまとめる。
第14回	大澤	被虐待児の理解と対応　／　チーム支援 被虐待児の特徴を理解し、点（一人の教師）ではなく面	なぜ虐待が起こるのかについてグループで話し合い自分の考えを深	予習90分：なぜ虐待が起こるのか自分なりに仮説を立ててみる。 復習90分：攻撃性のコント

	靖彦	（チーム）で支えることについて考究する。	める。	ロールができない被虐待児への対応について整理する。
第15回	大澤靖彦	まとめ　／　教師のメンタルヘルス		予習90分：14回までの小テストに目を通して確認テストの準備をする。 復習90分：教師のメンタルヘルスを維持し向上させるためには何が必要なのかについてノートに整理する。

教科書
石川正一郎・藤井泰　編　『エッセンス学校教育相談心理学』北大路書房　2010年
参考書
文部科学省『生徒指導提要』2010年
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 ・授業への積極的参加30%、 ・レポート課題30%、 ・確認テスト40%の割合で総合評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
レポートは返却するので学習の参考にすること。 小テストの答えは授業の始めに提示するので、必ず解答しておくこと。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
教職科目

講義コード	40700001
講義名	教職実践演習（中）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4401
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校で数年間にわたり、教員として働いた経験がある。その経験を生かして、生徒をまきこむ実践授業ができるよう、学生自身が主体的に企画した創作活動等を取り入れる。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	柏木 優希	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし
教 員	柳澤 顕	指定なし

授業の概要と教育目標

教職課程の履修を踏まえて、学校教育のさまざまな場面で、教育者として対応できる実践力を養う。美術科の教員としての指導力をはじめ、絵画の「鑑賞」授業の実践をまじえ、美術作品に親しむ姿勢も養う。キャリア教育など教科以外の指導の資質向上に関し議論する。履修カルテにより、教員としての実践的な能力を個別に把握し、個々の学生の教育指導力を高めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この演習では教育職という専門性の高い仕事について理解を深める。また美術科の教員になるため現場で即戦力となれる指導能力を養う。履修者全員が協力し、課題解決に努力し、他の学生と協調してレシピや作品づくりに取り組む。グループ内でアイデアを出し合い、それを発表できるまでのプロセスをたどる。

到達目標

実際の教育現場で、児童や生徒と向きあい、教科指導や生活指導、進路指導など多岐にわたる教員の仕事について理解する。自信をもって教壇にたつ心構えを持てるようにすることを目標とする。教職課程のいくつかの教科の中で総まとめの科目に相当するので、２年間にわたる教職課程の講義や実習を総合的に振り返り、小中学校における教育の理念や、各教科の教育方法について学んだことをまとめる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
	橋爪			

第1回	博幸小川智瑞恵	教職実践演習のガイダンスを実施する。演習内容を理解し、小・中学校における教育の理念について理解する。	「教職カルテ」を用意し、記入できるところは記入する。	復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第2回	柏木優希柳澤顕橋爪博幸小川智瑞恵	授業づくりに関する実践演習 ①「鑑賞」の授業を知る	美術科の授業で行われる「鑑賞」の授業について概要を知る。	配布プリントの見直しに90分、「鑑賞」の授業についての調査に90分を充てる。
第3回	柏木優希橋爪博幸小川智瑞恵柳澤顕	授業づくりに関する実践演習 ②生徒の関心をひきつける教材づくり	子どもたちの関心をひきつけ、飽きさせない授業はいかにすれば可能かを議論する。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第4回	柏木優希橋爪博幸小川智瑞恵柳澤顕	授業づくりに関する実践演習 ③「鑑賞」授業の演習	「鑑賞」の授業内容や諸注意について説明を聞く。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
	柏			

第5回	木優希橋爪博幸小川智瑞恵柳澤顕	授業づくりに関する実践演習 ④演習の振り返り、授業の準備	鑑賞の授業を行う小学校に行き、教室にて準備をする。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第6回	柏木優希柳澤顕橋爪博幸小川智瑞恵	近隣の小学校における「鑑賞」授業 ①小学校にて「鑑賞」授業を担当する	学生が描いた絵画などを前にし、子どもたちからの意見をもとに、学生が意見のとりまとめなどを行う。	予習に90分、復習に90分（レポート作成）。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第7回	柏木優希柳澤顕橋爪博幸小川智瑞恵	近隣の小学校における「鑑賞」授業 ②授業の振り返り、レポート作成	鑑賞の授業を振り返り、良かった点や改善点などを出し合い、まとめる。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第8回	橋爪博幸小川智瑞恵	オリジナルビジョンボード作成	個々の学生に模造紙を配布し、カラフルに未来像を描く。	予習に90分、復習に90分。次回の授業までに自身のビジョンボードを完成させて持参する。

第9回	橋爪博幸小川智瑞恵	学校における経済活動と金銭についての教育	小・中学校における金銭教育の現状を知り、貧困を回避し、経済面で自立した人材をいかにすれば育成できるかを議論する。	事前準備に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第10回	橋爪博幸小川智瑞恵	オリジナルビジョンボード発表	各自で作成したオリジナルビジョンボードを掲げて発表し、意見交換を行う。	オリジナルビジョンボードの発表準備（180分）。振り返りに90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第11回	橋爪博幸小川智瑞恵	小・中学校における「生き方」教育	外部講師をまねき、現在の中学校教育を振り返り、生徒の心に響く教育はいかにすれば可能かを考える。	配布資料や参考文献を熟読し、理解する（180分）。
第12回	橋爪博幸小川智瑞恵	「学校の危機管理―学校事故・自然災害への適正な対応―」学校づくりに関する実践演習	災害時における学校現場での対応について議論する。	現代の教育問題について事前に調査する（180分）。
第13回	橋爪博幸小川智瑞恵	映画「学校」の視聴①		映画『みんなの学校』について事前学習をしておく（120分）。特別支援教育の予習に60分、授業の復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第14回	橋爪博幸小川智瑞恵	映画「学校」視聴② 映画を通じて、さまざまな教育の場、あるいは学びの場があることを知る		予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
	橋爪			

第15回	博幸小川智瑞恵	求められる教師像と学校づくりの視点の整理、教職課程授業の振り返り	「履修カルテ」に入力し、実践演習で学んだことや、２年間の教職課程を振り返り、反省点や改善点等についてまとめる。	復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

授業内で、必要な時に提示する。

成績評価の方法・基準

100点満点で、60 点 以上で単位認定する。授業への取り組み状況（30%）、レポートの提出（70%）で評価する。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

提出されたレポートは確認後、補足説明やコメントを付して返却する。口頭発表やグループ討議の結果発表を行い、演習の中で随時、教員からコメント等を伝える。この返答をもってフィードバックとみなす。

履修のポイント

演習科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べること、他の学生たちと協力する姿勢で授業に臨むことが大切である。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みをオフィスアワーとします。９号館３階第６研究室に来てください。

科目区分

教職科目

講義コード	40710001
講義名	事前・事後指導（1年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4103
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校等で授業を担当した経験をもとに、実践的な授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

美術科の教員として必要な資質・能力として基礎となる美術科の知識や生徒指導の技能を習得する。生徒と接する際の注意点などを確認する。教育実習における学習指導案、指導用教材の作成技術、授業展開の技術を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、教育者としての知識や技能を習得する。学校現場における多様な業務を知り、教育者としての心構えを身につける。美術科教育だけでなく、特別活動や道徳の授業などにも積極的にかかわり、生徒の人格教育にもかかわり、学校現場におけるさまざまな問題を解決できる能力を養う。

到達目標

美術科の教育実習に対応できる資質・知識を身につける。教諭として生徒と平静にかかわることのできる態度等を身につける。学校の先生方や児童・生徒とのかかわり方を理解し、将来、取得した教員免許を生かせることをめざす。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸 小川智瑞恵	授業計画、成績評価 教育実習（目的、準備、心構え、教員服務基準の遵守） 実習校、日程等個別指導		予習（教育実習に向けて準備）に180分

第2回	橋爪博幸 小川智瑞恵	実習前の不安と期待の共有 教育実習ノートの記入方法 評価と指導の一体化		復習（授業の振り返り）に120分、予習（教育実習に向けて準備）に60分以上
第3回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教材研究の方法 基本技術（板書、話し方、発問、机間巡視の方法、ノート指導等）		予習（授業内容について理解しておく、ノートにまとめ）に180分以上
第4回	橋爪博幸 小川智瑞恵	模擬授業の練習 教材作り アクティブラーニング：学習指導案に関する個別指導等を実施する。		予習（学習指導案、教材準備等）に180分以上
第5回	橋爪博幸 小川智瑞恵	模擬授業の練習 教材作り 学習指導案に関する個別指導、礼状の書き方		予習（学習指導案、教材準備等）に180分以上
第6回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教育実習体験の発表準備 次回の合同報告会の準備	各自の教育実習報告を実施し、報告会にむけて準備する。	予習（教育実習体験の発表準備のため）に180分以上
第7回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教育実習体験の発表	各自の教育実習報告を実施する。	予習（教育実習体験の発表準備のため）に180分以上
	橋爪			

第8回	博幸 小川 智瑞恵	教育実習報告会		復習まとめ（教育実習ノート等の整理）に180分

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考書

中学校 学習指導要領の展開 明治図書

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上。レポート（５０%）、授業中の課題（５０%）等で評価する。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にする。

履修のポイント

おもに２年次に実施となります。予習・復習の積み重ね、授業への積極的な態度が 教育実習の実りある成果につながります。

オフィス・アワー

月曜日12：30～13：20（お昼休み）または、講義終了後 適宜受け付けます。９号館３階第６研究室に来てください。

科目区分

教職科目

講義コード	40710002
講義名	事前・事後指導（2年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4103
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	５時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校等で授業を担当した経験をもとに、実践的な授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

美術科の教員として必要な資質・能力として基礎となる美術科の知識や生徒指導の技能を習得する。生徒と接する際の注意点などを確認する。教育実習における学習指導案、指導用教材の作成技術、授業展開の技術を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、教育者としての知識や技能を習得する。学校現場における多様な業務を知り、教育者としての心構えを身につける。美術科教育だけでなく、特別活動や道徳の授業などにも積極的にかかわり、生徒の人格教育にもかかわり、学校現場におけるさまざまな問題を解決できる能力を養う。

到達目標

美術科の教育実習に対応できる資質・知識を身につける。教諭として生徒と平静にかかわることのできる態度等を身につける。学校の先生方や児童・生徒とのかかわり方を理解し、将来、取得した教員免許を生かせることをめざす。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸 小川智瑞恵	授業計画、成績評価 教育実習（目的、準備、心構え、教員服務基準の遵守） 実習校、日程等個別指導		予習（教育実習に向けて準備）に180分
第2回	橋爪博幸 小川智瑞恵	実習前の不安と期待の共有 教育実習ノートの記入方法 評価と指導の一体化		復習（授業の振り返り）に120分、予習（教育実習の準備）に60分以上

第3回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教材研究の方法 基本技術（板書、話し方、発問、机間巡視の方法、ノート指導等）		予習（授業内容について理解しておく、ノートにまとめ）に180分以上
第4回	橋爪博幸 小川智瑞恵	模擬授業の練習 教材作り アクティブラーニング：学習指導案に関する個別指導等を実施する。		予習（学習指導案、教材準備等）に180分以上
第5回	橋爪博幸 小川智瑞恵	模擬授業の練習 教材作り 学習指導案に関する個別指導、礼状の書き方		予習（学習指導案、教材準備等）に180分以上
第6回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教育実習体験の発表準備 次回の合同報告会の準備	各自の教育実習報告を実施し、報告会にむけて準備する。	予習（教育実習体験の発表準備のため）に180分以上
第7回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教育実習体験の発表	各自の教育実習報告を実施する。	予習（教育実習体験の発表準備のため）に180分以上
第8回	橋爪博幸 小川智瑞恵	教育実習報告会		復習まとめ（教育実習ノート等の整理）に180分

教科書

無。必要に応じて資料を配布する。

参考書

中学校 学習指導要領の展開 明治図書

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上。レポート（６０%）、発表課題（４０%）等で評価する。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にする。

履修のポイント

２年生の前期に多くの授業が開講されます。予習・復習の積み重ね、授業への積極的な取り組みが 教育実習の成果につながります。

オフィス・アワー

月曜日12：30～13：20（お昼休み）または、講義終了後 適宜受け付けます。 ９号館３階第６研究室に来てください。

科目区分

教職科目

講義コード	40720001
講義名	教育実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4304
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習の事前指導を踏まえ、３週間にわたる教育実習に取り組む。中学校という教育現場での活動全般を観察し、先生方の指導や生徒の反応の実際について学ぶ。美術科教員の役割について、学校現場において、子どもたちとの関わりや研究授業の実践を通じて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、「社会」「環境」「コミュニケーション」についての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの資質・能力を高めることに努める。

到達目標

美術科の教員であることを自覚したうえで、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員 ②幅広い視野と高い専門性（美術科）を有し、自信をもって授業を担当できる教員 ③社会人としての優れた識見を有する教員 という三つの観点で合格点を得ることを到達目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸 小川智瑞恵	実習校で校長先生ほか、多くの先生の指導のもとに、「主体的、対話的で深い学び」を得る。	授業参観、HRの活動観察、模擬授業などをみずから進んで行う。	教育実習に向けて準備に180分
第2回	橋爪博幸 小川	実習校で校長先生ほか、多くの先生の指導のもとに、「主体的、対話的で深い学	授業参観、HRの活動観察、模擬授業などをみずから進	教育実習に向けて準備

	智瑞恵	び」を得る。	んで行う。	に180分
第3回	橋爪博幸 小川智瑞恵	実習校で校長先生ほか、多くの先生の指導のもとに、「主体的、対話的で深い学び」を得る。	授業参観、HRの活動観察、模擬授業などをみずから進んで行う。	教育実習に向けて準備に180分
第4回	橋爪博幸 小川智瑞恵	実習校で校長先生ほか、多くの先生の指導のもとに、「主体的、対話的で深い学び」を得る。	授業参観、HRの活動観察、模擬授業などをみずから進んで行う。	教育実習に向けて準備に180分
第5回	橋爪博幸 小川智瑞恵	実習校で校長先生ほか、多くの先生の指導のもとに、「主体的、対話的で深い学び」を得る。	授業参観、HRの活動観察、模擬授業などをみずから進んで行う。	教育実習に向けて準備に180分

教科書

無。授業内で資料等を配布する。

参考書

必要時に提示する。

成績評価の方法・基準

単位認定 ６０点以上。レポート（６０%）、事後発表（４０%）で評価する。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

実習ノートを返却するので、それをもとに教育実習を振り返る。

履修のポイント

実習には無遅刻、無欠勤を目標にして臨む。

オフィス・アワー

毎週水曜日、昼休み12:30から13:20までをオフィス・アワーとする。９号館３階第６研究室に来てください。

科目区分

教職科目

講義コード	40730001
講義名	介護等体験実習（1年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4207
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解し「体験実習」に臨む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員 の三つの観点を到達目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる（１８０分）。
第2回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。

第3回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第4回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第5回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第6回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第7回	橋爪博幸 小川智瑞恵	数日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする、他の報告者の話を聞く（１８０分）。
第8回	橋爪博幸 小川智瑞恵	特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる（１８０分）。
第9回	橋爪博幸 小川智瑞恵	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第10回	橋爪博幸 小川智瑞恵	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第11回	橋爪博幸 小川智瑞恵	2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験実習をよく振り返ること（１８０分）。

教科書

授業時に、資料を配付する。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する フィードバックの方法
実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。
履修のポイント
自分から進んで声かけをし、コミュニケーションをとり、周囲の人たちとの良好な関係を築くことが求められる。
オフィス・アワー
水曜日12：30～13：20（昼休み）　9号館3階第6研究室
科目区分
教職科目

講義コード	40730002
講義名	介護等体験実習（2年生）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
代表ナンバリングコード	JDC4207
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	無
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	橋爪 博幸	指定なし
教員	小川 智瑞恵	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解し「体験実習」に臨む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員 の三つの観点を到達目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる（１８０分）。
第2回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。

第3回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第4回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第5回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第6回	橋爪博幸 小川智瑞恵	社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第7回	橋爪博幸 小川智瑞恵	数日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする、他の報告者の話を聞く（１８０分）。
第8回	橋爪博幸 小川智瑞恵	特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる（１８０分）。
第9回	橋爪博幸 小川智瑞恵	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第10回	橋爪博幸 小川智瑞恵	特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう（１８０分）。
第11回	橋爪博幸 小川智瑞恵	２日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験実習をよく振り返ること（１８０分）。

教科書

授業時に、資料を配付する。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する フィードバックの方法
実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。
履修のポイント
自分から進んで声かけをし、コミュニケーションをとり、周囲の人たちとの良好な関係を築くことが求められる。
オフィス・アワー
水曜日12：30～13：20（昼休み）　9号館3階第6研究室
科目区分
教職科目